

**第4次四街道市地域福祉計画策定に係る
市民アンケート調査報告書**

令和8年2月

四街道市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の概要	3
3. 調査対象となる団体一覧	4
4. 調査結果を見る上での注意事項	5
第2章 市民アンケート調査結果	7
1. あなた自身について	9
2. 「地域との関わり」について	13
3. 「地域での活動」について	18
4. 「福祉の考え方」について	26
5. 「地域における支え合い」について.....	31
6. 「福祉に関する情報・相談など」について.....	34
7. 「防災」について	50
8. 「福祉全般」について	53
第3章 団体アンケート調査結果	65
1. 団体が行っている福祉に関する活動について.....	67
2. 災害時などの地域連携について	70
3. 団体が活動する地域について	71
4. 四街道市の現状について	74
第4章 団体意見交換会まとめ	81
1. 地域福祉関連団体意見交換会（第1回分）	83
2. 地域福祉関連団体意見交換会（第2回分）	85
3. 地域福祉関連団体意見交換会（第3回分）	87
第5章 資料編	89

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、第4次四街道市地域福祉計画策定にあたり、市民や団体の方の状況やご意見などを広くお聞きし、計画策定のための基礎資料とするために実施しました。

2. 調査の概要

①市民アンケート調査

- ✦ 調査地域：四街道市全域
- ✦ 調査対象：18歳以上の市内在住者（2,000名を無作為抽出）
- ✦ 調査期間：令和7年6月3日～6月25日
- ✦ 調査方法：郵送による発送、郵送及びWEBによる回収
- ✦ 回収件数：1,049件（回収率52.5%）

②団体アンケート調査

- ✦ 調査対象：四街道市の地域福祉の中核を担う団体（31団体）
- ✦ 調査期間：令和7年6月3日～6月25日
- ✦ 調査方法：郵送による発送、郵送及びWEBによる回収
- ✦ 回収件数：30件（回収率96.8%）

③団体意見交換会

- ✦ 対象団体：四街道市の地域福祉の中核を担う団体（29団体）
- ✦ 開催場所：市役所2階会議室、4階会議室
- ✦ 開催日程：令和7年6月26日(木)（17団体参加）
令和7年6月30日(月)（6団体参加）
令和7年7月4日(金)（1団体参加）
- ✦ 開催結果：24団体参加（参加率82.8%）

3. 調査対象となる団体一覧

1	千代田中学校地区社会福祉協議会
2	四街道北中学校地区社会福祉協議会
3	四街道西中学校A地区社会福祉協議会
4	四街道西中学校B地区社会福祉協議会
5	四街道中学校地区社会福祉協議会
6	旭中学校地区社会福祉協議会
7	千代田中学校地区民生委員・児童委員協議会
8	北中学校地区民生委員・児童委員協議会
9	西中学校A地区民生委員・児童委員協議会
10	西中学校B地区民生委員・児童委員協議会
11	四街道中学校地区民生委員・児童委員協議会
12	旭中学校地区民生委員・児童委員協議会
13	四街道市シニアクラブ連合会
14	四街道市ボランティア連絡協議会
15	りんごの樹
16	NPO 法人 希望
17	みんなで地域づくりセンター
18	四街道市国際交流協会
19	四街道市聴覚障害者協会
20	四街道市社会福祉協議会
21	四街道市更生保護女性会
22	四街道市保護司会
23	四街道市赤十字奉仕団
24	四街道市保健推進員
25	NPO 法人 四街道こどもネットワーク
26	認定 NPO 法人 たすけあいの会ふきのとう
27	よつかいどう学生服リユース
28	NPO 法人 福祉ショップ こんぺいとう
29	NPO 法人 みのり福祉会 障がい者就労・生活さぽーとピース
30	社会福祉法人よつかいどう福祉会
31	NPO 法人 市民後見センターほっと

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ①本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ②百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ③複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、％の合計が100%を超える場合があります。
- ④本文、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ⑤設問に応じて見やすさを考慮し、表やグラフを適宜使い分けて掲載しています。
- ⑥回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。
- ⑦本文中では、調査結果の数値は「％」、比較によるパーセントの差は「ポイント」という単位で表記をしています。
- ⑧経年比較は平成27年度、令和2年度と行います。令和2年度以降に追加された設問については、その年度との比較を行います。
また、平成27年度、令和2年度に実施した設問については、今回の調査で選択肢の増加や削除、選択肢の表現の変更を行っている場合があります。
- ⑨本報告書における経年比較では、数値の増減を以下の基準に基づいて表現しています。

変化なし	変化率が±0%以上～±2%未満の場合
微増／微減	変化率が±2%以上～±4%未満の場合
増加／減少	変化率が±4%以上～±10%未満の場合
大幅な増加／大幅な減少	変化率が±10%以上の場合

第2章 市民アンケート調査結果

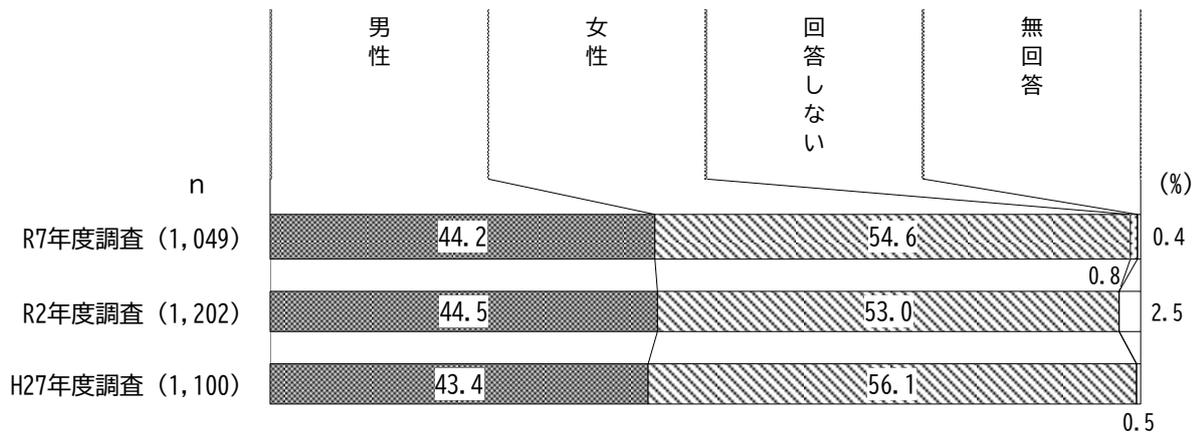
第2章 市民アンケート調査結果

1. あなた自身について

■調査票記入者

問1 あなたの性別を選んでください。(どちらかに○)

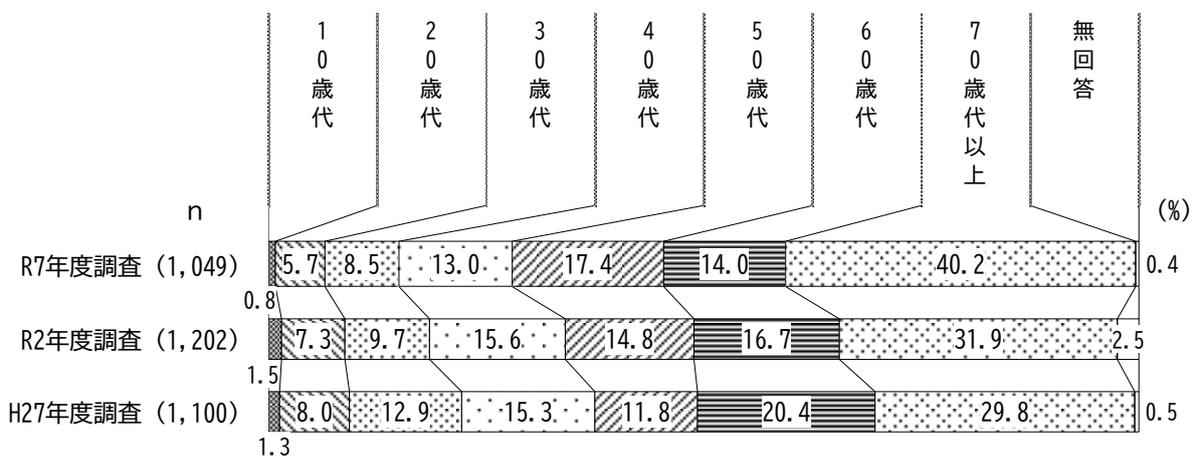
「男性」が44.2%、「女性」が54.6%となっています。
過去調査と比較すると、傾向に大きな変化はありません。



■年齢

問2 あなたの年齢を選んでください。(1つだけ○)

「70歳代以上」が40.2%と最も多く、次いで「50歳代」が17.4%、「60歳代」が14.0%となっています。
過去調査と比較すると、「70歳代以上」は8.3ポイント前回調査より多くなっています。

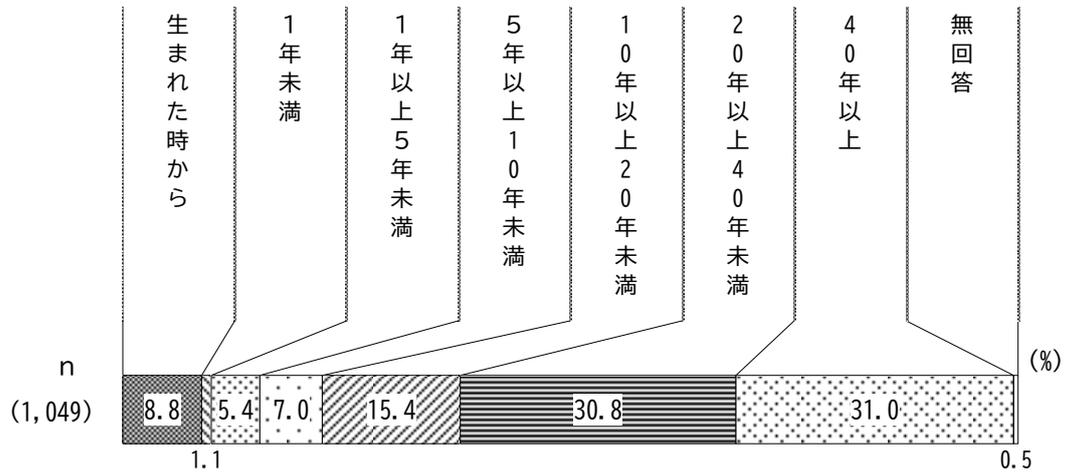


第2章 市民アンケート調査結果

■居住年数

問3 あなたは四街道市に何年住んでいますか。(1つだけ○)

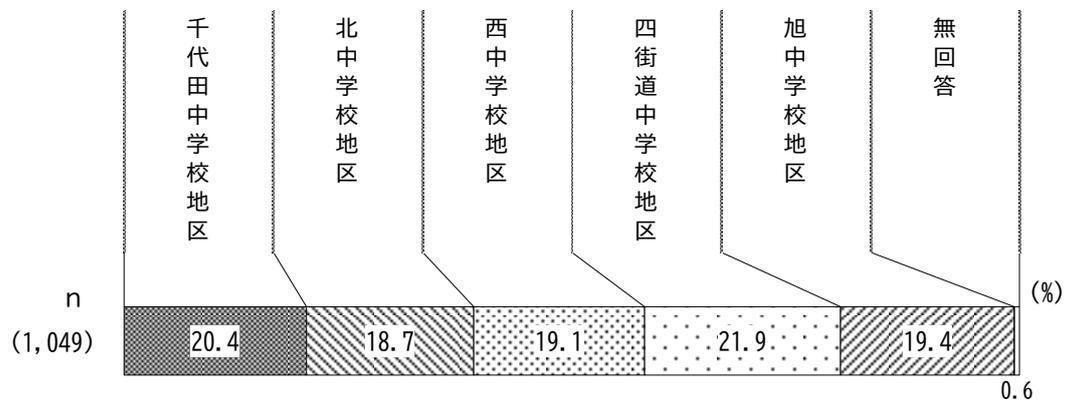
「40年以上」が31.0%と最も多く、次いで「20年以上40年未満」が30.8%、「10年以上20年未満」が15.4%となっています。



■居住地区

問4 お住まいの地区はどこですか。該当する番号に、○をつけてください。(1つだけ○)

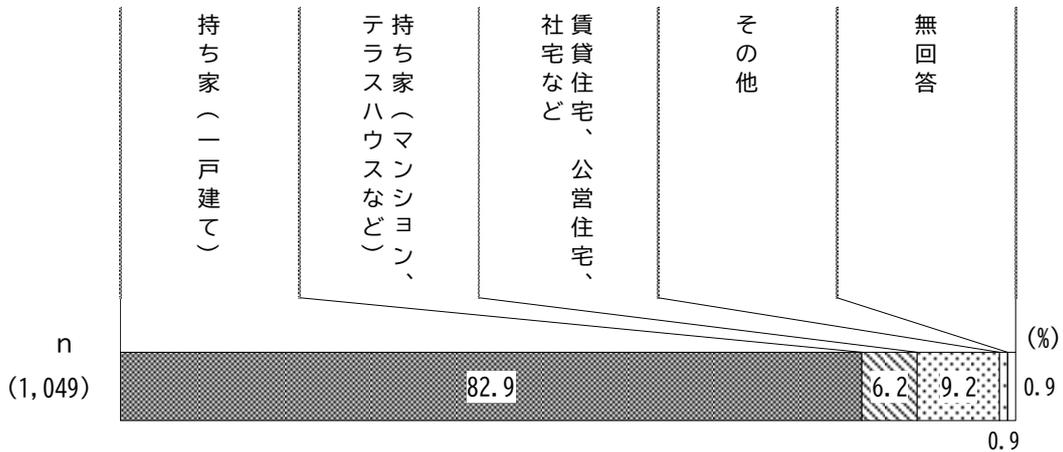
「四街道中学校地区」が21.9%と最も多く、次いで「千代田中学校地区」が20.4%となっています。



■居住形態

問5 あなたのお住まいの形態を次の中から選んでください。(1つだけ○)

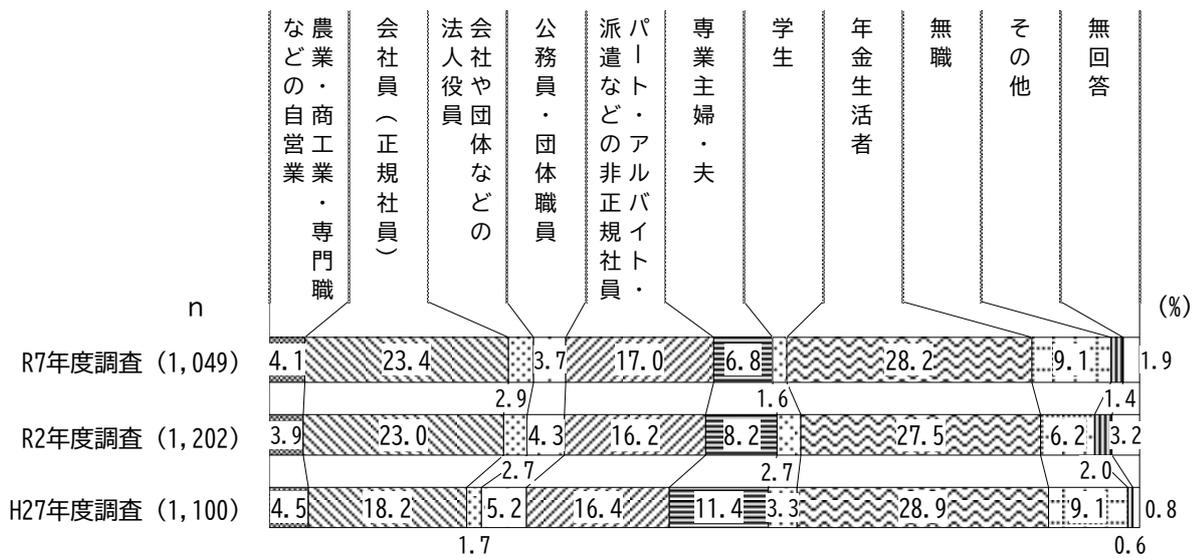
「持ち家（一戸建て）」が82.9%と最も多くなっています。



■職業

問6 あなたの主な職業は何ですか。(1つだけ○)

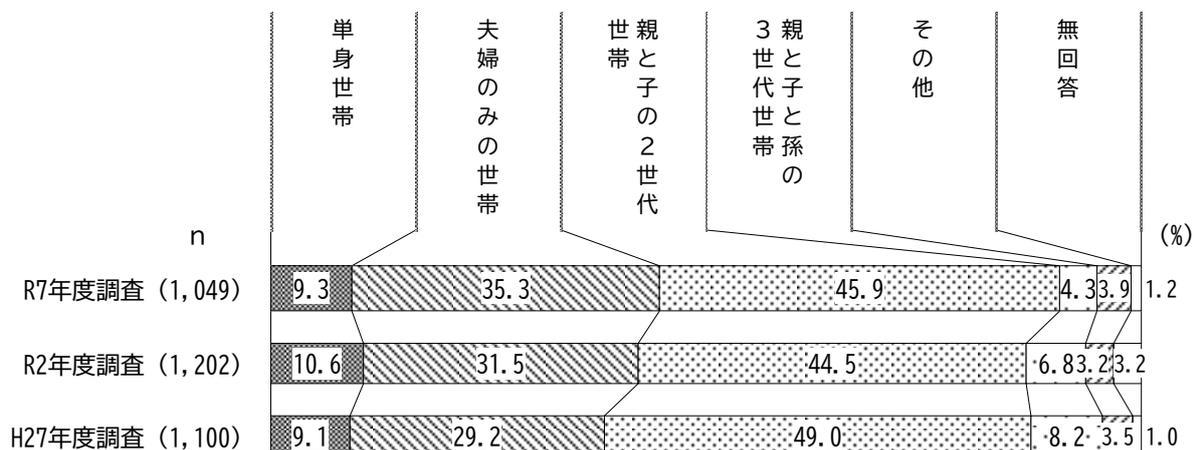
「年金生活者」が28.2%と最も多く、次いで「会社員（正規社員）」が23.4%となっています。過去調査と比較すると、「無職」が2.9ポイント前回調査より多くなっています。



■家族構成

問7 あなたの家族（世帯）構成はどのようになっていますか。（1つだけ○）

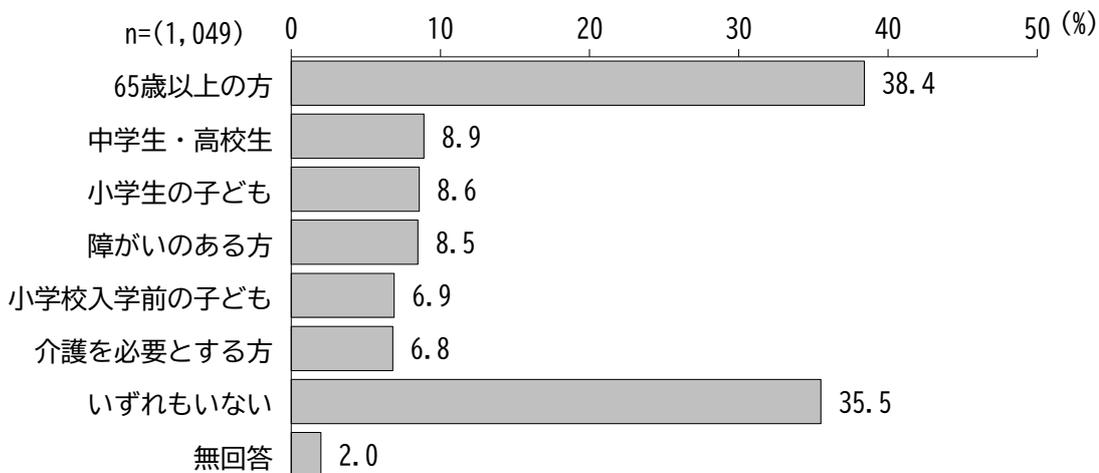
「親と子の2世代世帯」が45.9%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が35.3%となっています。過去調査と比較すると、「夫婦のみの世帯」は3.8ポイント前回調査より多くなっています。



■同居家族

問8 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

「65歳以上の方」が38.4%と最も多くなっています。一方、「いずれもいない」が35.5%と多くなっています。

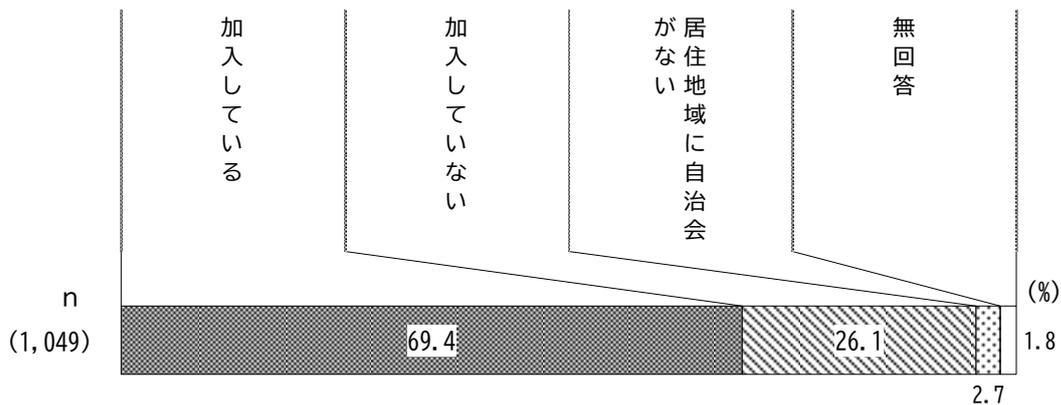


2. 「地域との関わり」について

■自治会加入の有無

問9 あなた、もしくはあなたの世帯は、自治会に加入していますか。(1つだけ○)

「加入している」が69.4%と最も多く、次いで「加入していない」が26.1%となっています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「加入している」が最も多くなっています。また、70歳代以上では「加入している」が、全体より9.5ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「加入している」が最も多くなっています。旭中学校地区では「居住地域に自治会がない」が、全体より3.2ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	加入している	加入していない	居住地域に自治会がない	無回答
(単位:%)						
全体		1,049	69.4	26.1	2.7	1.8
年代別	10歳代	8	75.0	25.0	-	-
	20歳代	60	50.0	41.7	8.3	-
	30歳代	89	44.9	44.9	9.0	1.1
	40歳代	136	57.4	40.4	2.2	-
	50歳代	183	71.0	26.2	1.6	1.1
	60歳代	147	74.1	20.4	1.4	4.1
	70歳代以上	422	78.9	17.5	1.7	1.9
地区別	千代田中学校地区	214	69.2	25.7	4.2	0.9
	北中学校地区	196	70.4	26.5	1.0	2.0
	西中学校地区	200	69.0	28.0	1.0	2.0
	四街道中学校地区	230	70.4	26.5	1.3	1.7
	旭中学校地区	203	68.5	24.1	5.9	1.5

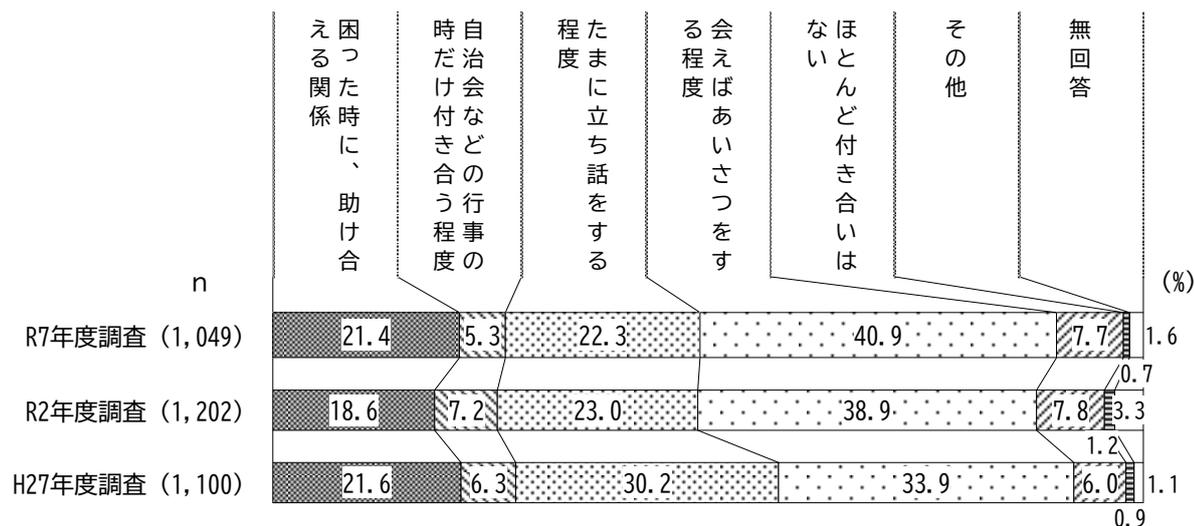
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■近所づきあいの現状

問 10 あなたは、現在、ご近所とどのようなお付き合いをされていますか。(1つだけ○)

「会えばあいさつをする程度」が40.9%と最も多く、次いで「たまに立ち話をする程度」が22.3%となっています。

過去調査と比較すると、「会えばあいさつをする程度」は平成27年度調査から令和2年度調査で増加し、令和2年度調査から令和7年度調査でも微増しています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「会えばあいさつをする程度」が最も多く、特に20歳代～30歳代では5割を超えて多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「会えばあいさつをする程度」が最も多くなっています。四街道中学校地区では「困った時に、助け合える関係」が全体より6.6ポイント少なくなっています。

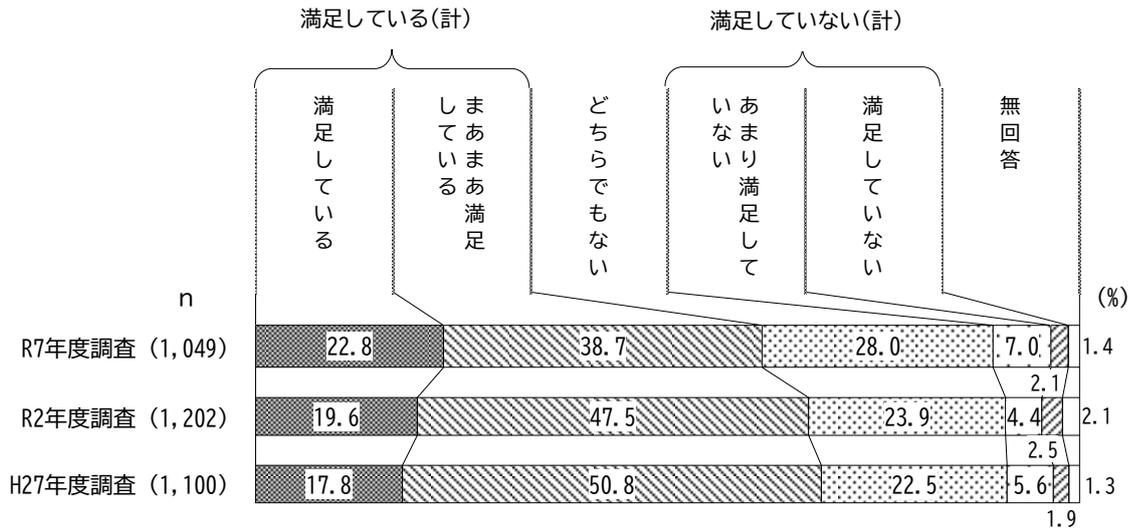
		回答数 (n)	困った時に、助け合える関係	自治会などの行事の時だけ付き合い程度の	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	ほとんど付き合いはない	その他	無回答
(単位:%)									
全体		1,049	21.4	5.3	22.3	40.9	7.7	0.7	1.6
年代別	10歳代	8	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5	-	-
	20歳代	60	11.7	-	13.3	58.3	16.7	-	-
	30歳代	89	14.6	4.5	15.7	50.6	13.5	-	1.1
	40歳代	136	16.2	3.7	21.3	47.1	10.3	0.7	0.7
	50歳代	183	15.3	4.4	26.8	44.3	8.7	-	0.5
	60歳代	147	19.0	8.8	21.8	42.9	4.8	-	2.7
	70歳代以上	422	29.4	5.9	23.5	32.7	5.0	1.4	2.1
地区別	千代田中学校地区	214	28.5	5.1	21.0	37.4	6.1	0.5	1.4
	北中学校地区	196	23.5	4.6	21.4	40.8	6.6	1.0	2.0
	西中学校地区	200	19.5	7.5	21.0	41.5	8.5	-	2.0
	四街道中学校地区	230	14.8	4.8	25.2	43.5	10.0	0.4	1.3
	旭中学校地区	203	21.7	4.9	22.7	41.4	6.9	1.5	1.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■地域との関わりに対する満足度

問 11 現在お住まいの地域との関わりについて、あなたは満足していますか。(1つだけ○)

「まあまあ満足している」が38.7%と最も多く、「満足している」(22.8%)を合わせた“満足している”は61.5%となっています。また「どちらでもない」は28.0%で、「あまり満足していない」(7.0%)と「満足していない」(2.1%)を合わせた“満足していない”は9.1%となっています。
過去調査と比較すると、「どちらでもない」は4.1ポイント前回調査より多く、“満足している”は5.6ポイント前回調査より少なくなっています。



●クロス集計

年代別をみると、30歳代では「どちらでもない」が、40歳代では「満足している」が、それ以外の年代では「まあまあ満足している」が最も多くなっています。

地区別をみると、西中学校地区では「どちらでもない」が、それ以外の地区では「まあまあ満足している」が最も多くなっています。また、千代田中学校地区では「満足している」が全体より4.3ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	満足している	まあまあ満足している	どちらでもない	あまり満足していない	満足していない	無回答
(単位: %)								
全 体		1,049	22.8	38.7	28.0	7.0	2.1	1.4
年 代 別	10歳代	8	50.0	37.5	12.5	-	-	-
	20歳代	60	23.3	41.7	30.0	5.0	-	-
	30歳代	89	28.1	31.5	33.7	2.2	3.4	1.1
	40歳代	136	33.1	30.1	28.7	4.4	3.7	-
	50歳代	183	16.4	37.7	36.6	8.2	0.5	0.5
	60歳代	147	18.4	36.7	29.9	10.2	2.0	2.7
	70歳代以上	422	22.0	43.8	22.5	7.6	2.1	1.9
地 区 別	千代田中学校地区	214	27.1	41.1	22.4	7.0	0.9	1.4
	北中学校地区	196	20.4	40.8	25.0	8.7	3.6	1.5
	西中学校地区	200	20.5	32.5	34.0	8.5	2.0	2.5
	四街道中学校地区	230	24.3	38.7	30.9	4.8	0.9	0.4
	旭中学校地区	203	20.7	41.4	27.6	6.4	3.0	1.0

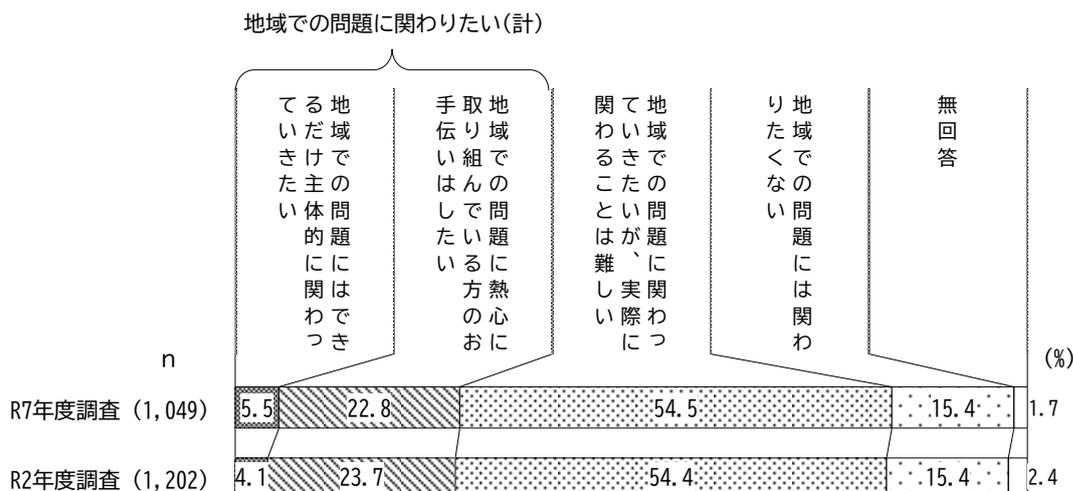
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■地域問題への関わり方

問 12 地域での問題とあなたの関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
(1つだけ○)

「地域での問題に関わっていききたいが、実際に関わることは難しい」が 54.5%と最も多くなっています。「地域での問題に熱心に取り組んでいる方のお手伝いはしたい」(22.8%)と「地域での問題にはできるだけ主体的に関わっていききたい」(5.5%)を合わせた“地域での問題に関わりたい”は 28.3%となっています。

前回調査と比較すると、傾向に大きな変化はありません。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「地域での問題に関わっていききたいが、実際に関わることは難しい」が最も多くなっています。特に 20 歳代では全体より 10.5 ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「地域での問題に関わっていききたいが、実際に関わることは難しい」が最も多くなっています。また、旭中学校地区では「地域での問題に熱心に取り組んでいる方のお手伝いはしたい」が全体より 4.8 ポイント多くなっています。

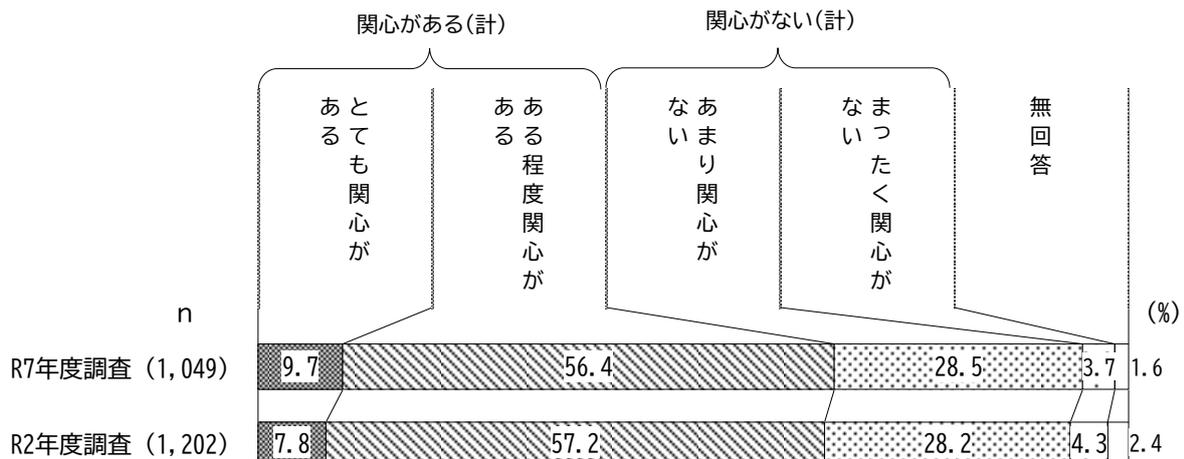
	回答数 (n)	地域での問題に関わりたい(計)				無回答	
		できるだけ主体的に関わっていききたい (%)	手取り地域は熱心に取り組んでほしい (%)	地域での問題は難しい (%)	地域での問題には関わりたくない (%)		
全体	1,049	5.5	22.8	54.5	15.4	1.7	
年代別	10歳代	8	25.0	37.5	25.0	12.5	-
	20歳代	60	6.7	15.0	65.0	13.3	-
	30歳代	89	5.6	19.1	56.2	16.9	2.2
	40歳代	136	2.9	21.3	54.4	21.3	-
	50歳代	183	3.3	16.9	58.5	21.3	-
	60歳代	147	2.7	29.3	49.7	15.6	2.7
	70歳代以上	422	7.6	25.4	53.3	11.1	2.6
地区別	千代田中学校地区	214	8.4	22.9	51.4	16.4	0.9
	北中学校地区	196	5.1	19.4	54.1	19.9	1.5
	西中学校地区	200	3.5	18.5	58.0	16.0	4.0
	四街道中学校地区	230	6.1	25.7	55.7	12.2	0.4
	旭中学校地区	203	3.9	27.6	53.7	13.3	1.5

※各年代別・地区別において、回答数(n)が 30 未満の項目は参考値とする。

■地域福祉への関心度

問 13 「地域福祉」とは、支援を必要としている人をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民が主役で進める取り組みの事です。あなたは「地域福祉」に関心をおもちですか。(1つだけ○)

「ある程度関心がある」が56.4%と最も多く、「とても関心がある」(9.7%)を合わせた“関心がある”は66.1%となっています。反対に、「あまり関心がない」(28.5%)と「まったく関心がない」(3.7%)を合わせた“関心がない”は32.2%となっています。
 前回調査と比較すると、傾向に大きな変化はありません。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「ある程度関心がある」が最も多くなっています。また、40歳代では「あまり関心がない」が全体より15.6ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「ある程度関心がある」が最も多く、特に千代田中学校地区では全体より4.3ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	とても関心がある (%)	ある程度関心がある (%)	あまり関心がない (%)	まったく関心がない (%)	無回答 (%)
(単位:%)							
全体		1,049	9.7	56.4	28.5	3.7	1.6
年代別	10歳代	8	12.5	37.5	50.0	-	-
	20歳代	60	8.3	48.3	35.0	8.3	-
	30歳代	89	6.7	55.1	28.1	9.0	1.1
	40歳代	136	4.4	44.9	44.1	6.6	-
	50歳代	183	7.7	53.0	34.4	4.9	-
	60歳代	147	9.5	61.9	25.9	0.7	2.0
	70歳代以上	422	12.8	61.8	20.9	1.7	2.8
地区別	千代田中学校地区	214	7.9	60.7	25.2	4.7	1.4
	北中学校地区	196	6.1	59.2	28.6	4.6	1.5
	西中学校地区	200	9.5	60.0	26.0	2.5	2.0
	四街道中学校地区	230	11.7	52.2	31.3	4.3	0.4
	旭中学校地区	203	12.3	51.2	32.0	2.0	2.5

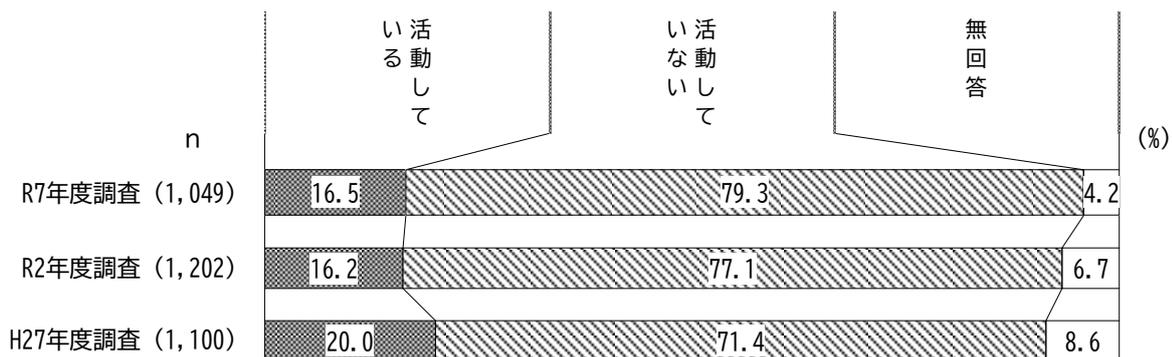
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

3. 「地域での活動」について

■地域活動の有無

問 14-1 あなたは現在、地域で活動していますか。(1つだけ○)

「活動していない」が79.3%、「活動している」が16.5%となっています。
過去調査と比較すると、「活動していない」は平成27年度調査から令和2年度調査で増加しています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「活動していない」が最も多く、特に20歳代～40歳代では9割台と多くなっています。70歳代以上では「活動している」が全体より9.8ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「活動していない」が最も多くなっています。千代田中学校地区では「活動している」が全体より4.5ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	活動している (%)	活動していない (%)	無回答 (%)
(単位:%)					
全 体		1,049	16.5	79.3	4.2
年 代 別	10歳代	8	12.5	87.5	-
	20歳代	60	3.3	95.0	1.7
	30歳代	89	4.5	94.4	1.1
	40歳代	136	7.4	90.4	2.2
	50歳代	183	10.4	89.1	0.5
	60歳代	147	17.7	78.9	3.4
	70歳代以上	422	26.3	66.6	7.1
地 区 別	千代田中学校地区	214	21.0	76.2	2.8
	北中学校地区	196	12.2	82.1	5.6
	西中学校地区	200	18.5	75.5	6.0
	四街道中学校地区	230	15.2	82.6	2.2
	旭中学校地区	203	15.8	80.8	3.4

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■地域活動の内容

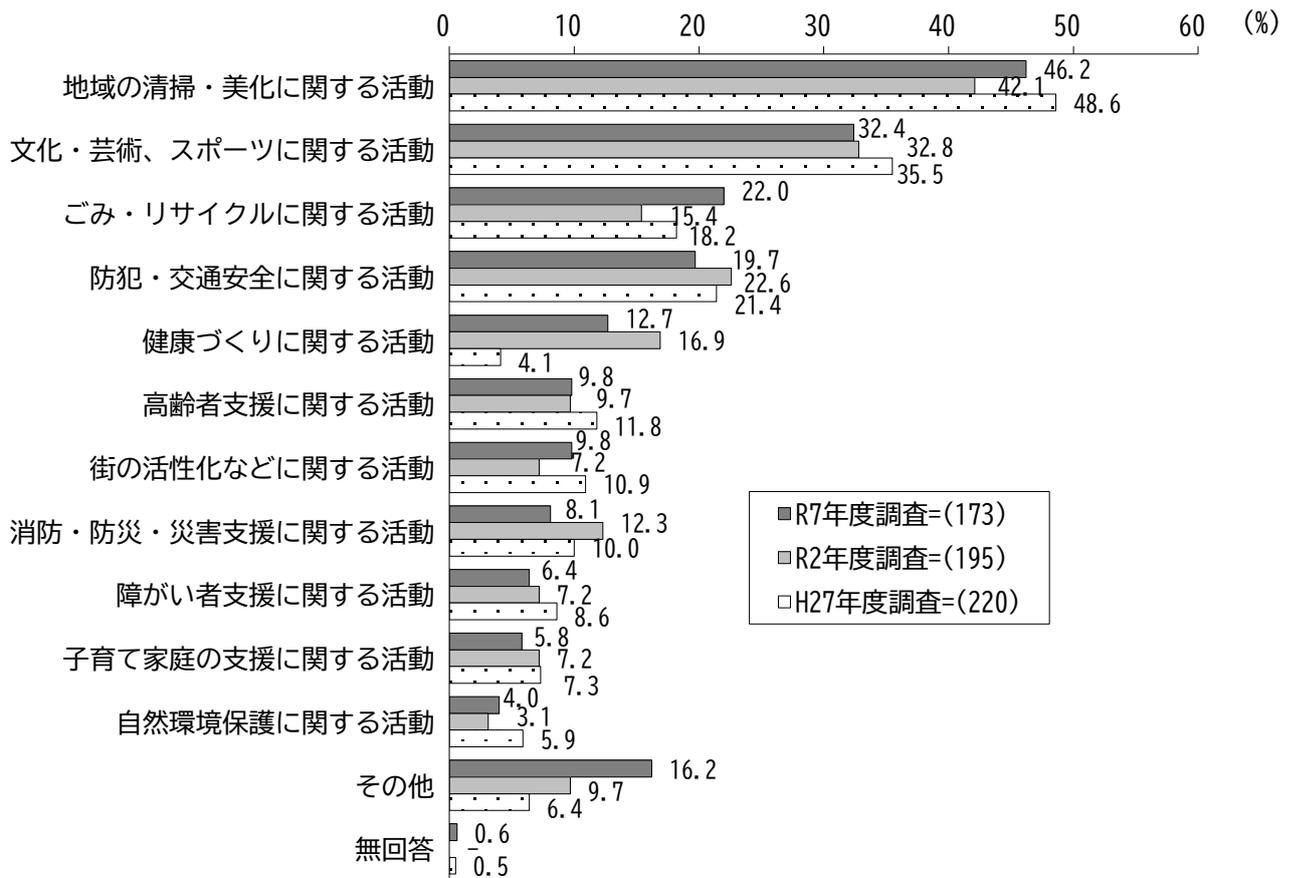
問 14-1 で「1.活動している」を選んだ人におたずねします。

問 14-2 あなたは地域で、どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)



「地域の清掃・美化に関する活動」が46.2%と最も多く、次いで「文化・芸術、スポーツに関する活動」が32.4%となっています。

過去調査と比較すると、「ゴミ・リサイクルに関する活動」は6.6ポイント前回調査より多く、「健康づくりに関する活動」は4.2ポイント前回調査より少なくなっています。



第2章 市民アンケート調査結果

●クロス集計

年代別をみると、70歳代以上では「地域の清掃・美化に関する活動」が最も多くなっています。地区別をみると、いずれの地域も「地域の清掃・美化に関する活動」が最も多くなっています。旭中学校地区では「防犯・交通安全に関する活動」が、全体より8.4ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	地域の清掃・美化に関する活動	文化・芸術、スポーツに関する活動	ごみ・リサイクルに関する活動	防犯・交通安全に関する活動	健康づくりに関する活動	高齢者支援に関する活動	街の活性化などに関する活動	消防・防災・災害支援に関する活動
(単位:%)										
全体		173	46.2	32.4	22.0	19.7	12.7	9.8	9.8	8.1
年代別	10歳代	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
	20歳代	2	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	30歳代	4	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-
	40歳代	10	30.0	40.0	30.0	20.0	20.0	30.0	30.0	10.0
	50歳代	19	36.8	36.8	15.8	5.3	-	5.3	15.8	15.8
	60歳代	26	50.0	30.8	15.4	11.5	-	3.8	23.1	11.5
	70歳代以上	111	49.5	32.4	25.2	24.3	18.0	9.9	2.7	6.3
地区別	千代田中学校地区	45	46.7	37.8	17.8	17.8	11.1	4.4	8.9	4.4
	北中学校地区	24	45.8	29.2	29.2	20.8	8.3	12.5	12.5	12.5
	西中学校地区	37	45.9	32.4	27.0	21.6	13.5	10.8	10.8	5.4
	四街道中学校地区	35	42.9	31.4	20.0	11.4	17.1	17.1	8.6	11.4
	旭中学校地区	32	50.0	28.1	18.8	28.1	12.5	6.3	9.4	9.4

		回答数 (n)	障がい者支援に関する活動	子育て家庭の支援に関する活動	自然環境保護に関する活動	その他	無回答
(単位:%)							
全体		173	6.4	5.8	4.0	16.2	0.6
年代別	10歳代	1	-	-	-	100.0	-
	20歳代	2	-	50.0	-	-	-
	30歳代	4	-	25.0	-	25.0	-
	40歳代	10	20.0	10.0	10.0	10.0	-
	50歳代	19	5.3	5.3	5.3	21.1	-
	60歳代	26	3.8	3.8	3.8	19.2	-
	70歳代以上	111	6.3	4.5	3.6	14.4	0.9
地区別	千代田中学校地区	45	8.9	6.7	-	17.8	2.2
	北中学校地区	24	8.3	-	12.5	4.2	-
	西中学校地区	37	2.7	8.1	2.7	16.2	-
	四街道中学校地区	35	8.6	5.7	5.7	22.9	-
	旭中学校地区	32	3.1	6.3	3.1	15.6	-

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■活動に参加している理由

問 14-1 で「1.活動している」を選んだ人におたずねします。

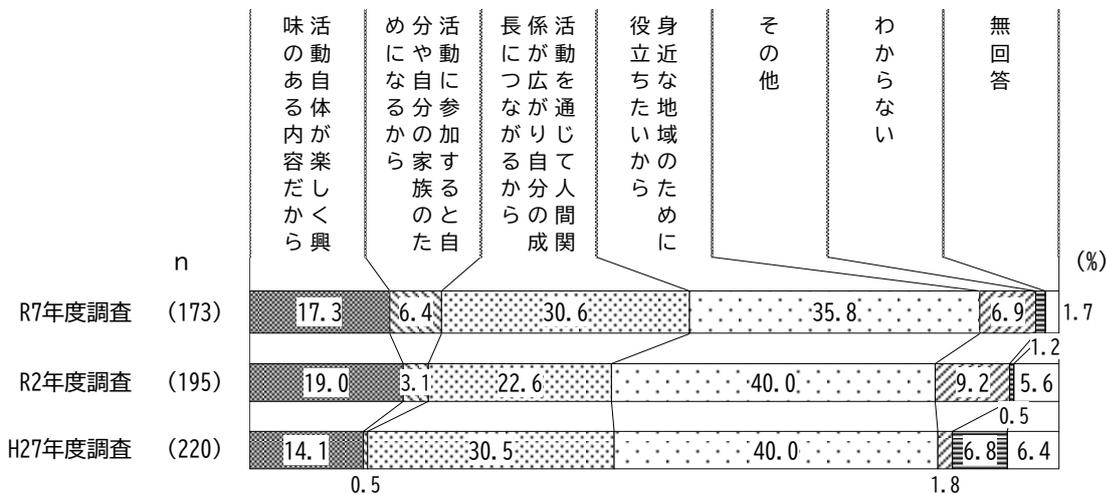
問 14-3 活動に参加している理由として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

(1つだけ○)



「身近な地域のために役立ちたいから」が35.8%と最も多く、次いで「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」が30.6%となっています。

過去調査と比較すると、「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」は8.0ポイント前回調査より多く、「身近な地域のために役立ちたいから」は4.2ポイント前回調査より少なくなっています。



●クロス集計

年代別をみると、70歳代以上では「身近な地域のために役立ちたいから」が最も多くなっています。地区別をみると、いずれの地域も「身近な地域のために役立ちたいから」が最も多くなっています。西中学校地区では「活動自体が楽しく興味のある内容だから」が全体より9.7ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	活動自体が楽しく興味のある内容だから	めみや活動になる自分から参加するのと自分	活動が広がるから自分から成長	活動を通じて人間関係が広がるから	身近な地域のために役立ちたいから	その他	わからない	無回答
		(単位:%)								
全体		173	17.3	6.4	30.6	35.8	6.9	1.2	1.7	
年代別	10歳代	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
	20歳代	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-	
	30歳代	4	-	25.0	50.0	-	25.0	-	-	
	40歳代	10	30.0	10.0	20.0	30.0	10.0	-	-	
	50歳代	19	10.5	10.5	47.4	21.1	10.5	-	-	
	60歳代	26	23.1	7.7	26.9	26.9	7.7	3.8	3.8	
	70歳代以上	111	17.1	4.5	28.8	42.3	5.4	-	1.8	
地区別	千代田中学校地区	45	11.1	11.1	35.6	33.3	4.4	2.2	2.2	
	北中学校地区	24	8.3	8.3	33.3	50.0	-	-	-	
	西中学校地区	37	27.0	2.7	21.6	35.1	8.1	-	5.4	
	四街道中学校地区	35	20.0	8.6	28.6	28.6	14.3	-	-	
	旭中学校地区	32	18.8	-	34.4	37.5	6.3	3.1	-	

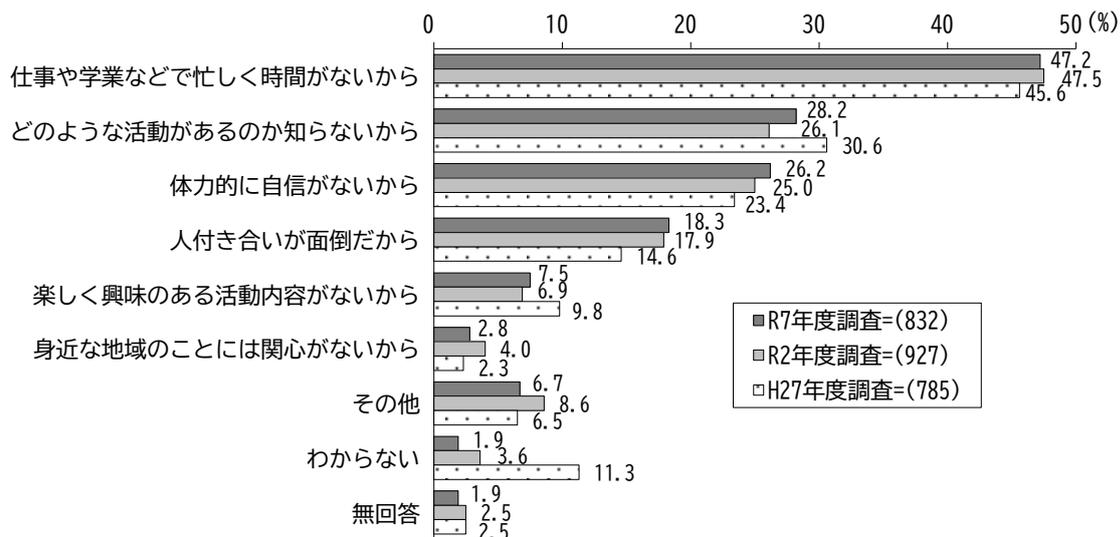
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■活動に参加していない理由

問 14-1 で「2. 活動していない」を選んだ人におたずねします。

問 14-4 あなたが現在活動に参加していない主な理由として、あてはまるものはどれですか。
(主なもの2つまでに○)

「仕事や学業などで忙しく時間がないから」が 47.2%と最も多く、次いで「どのような活動があるのか知らないから」が 28.2%、「体力的に自信がないから」が 26.2%となっています。
過去調査と比較すると、傾向に大きな変化はありません。



●クロス集計

年代別をみると、20歳代～60歳代では「仕事や学業などで忙しく時間がないから」が、70歳代以上では「体力的に自信がないから」が最も多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「仕事や学業などで忙しく時間がないから」が最も多くなっています。西中学校地区では「体力的に自信がないから」が全体より5.6ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	仕事や学業などで忙しく時間がないから	どのような活動があるのか知らないから	体力的に自信がないから	人付き合いが面倒だから	楽しく興味のある活動内容がないから	身近な地域のことに興味がないから	その他	わからない	無回答
全体		832	47.2	28.2	26.2	18.3	7.5	2.8	6.7	1.9	1.9
年代別	10歳代	7	57.1	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	-
	20歳代	57	73.7	38.6	12.3	12.3	3.5	3.5	1.8	5.3	1.8
	30歳代	84	70.2	38.1	7.1	14.3	4.8	4.8	2.4	-	2.4
	40歳代	123	70.7	29.3	8.1	17.9	7.3	3.3	4.9	1.6	1.6
	50歳代	163	60.1	30.1	13.5	22.7	6.7	1.8	4.9	1.8	1.2
	60歳代	116	49.1	23.3	24.1	14.7	6.9	2.6	7.8	2.6	0.9
	70歳代以上	281	16.4	23.8	51.2	19.6	9.6	2.1	10.3	1.8	2.8
地区別	千代田中学校地区	163	44.8	28.2	25.2	23.9	5.5	3.1	8.6	2.5	1.2
	北中学校地区	161	48.4	28.0	29.2	16.1	6.8	2.5	5.6	0.6	3.1
	西中学校地区	151	43.0	28.5	31.8	15.9	5.3	2.0	4.6	2.0	2.6
	四街道中学校地区	190	50.5	32.1	25.3	17.9	7.4	3.7	7.9	0.5	1.6
	旭中学校地区	164	48.8	24.4	19.5	17.7	12.2	2.4	6.7	3.7	1.2

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

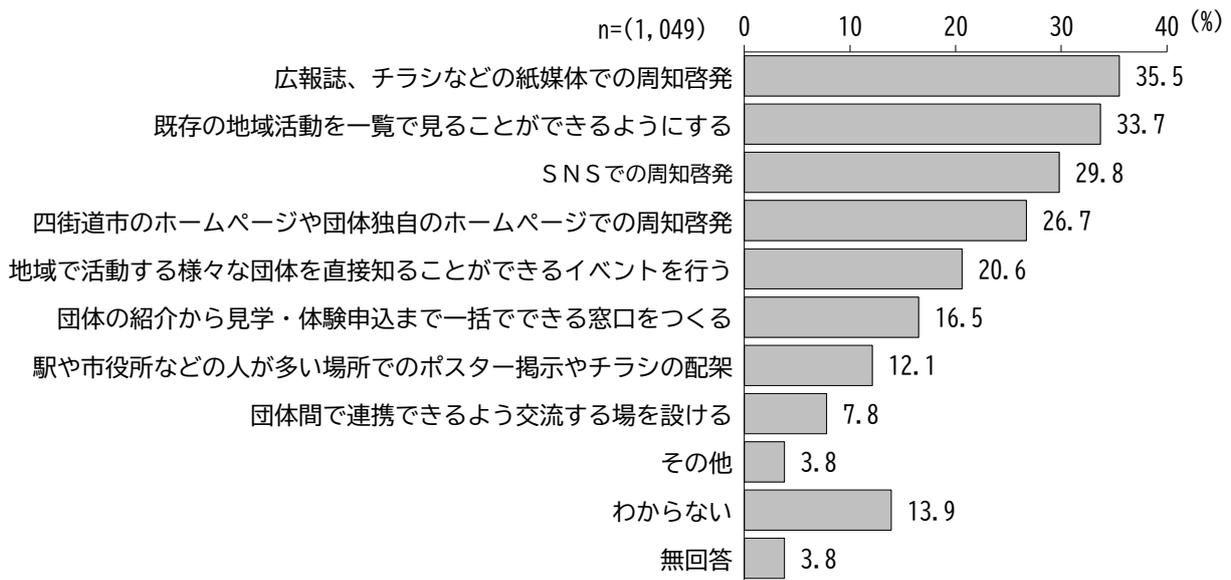
■地域活動が活性化するために必要なこと

問 15 今後、地域での活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。

(主なもの3つまでに○)

「広報誌、チラシなどの紙媒体での周知啓発」が 35.5%と最も多く、次いで「既存の地域活動を一覧で見ることができるようにする」が 33.7%、SNS※¹ (X、Facebook、Instagram、LINE、TikTok など)での周知啓発が 29.8%となっています。

※1 SNS：Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略称で、登録者同士が交流できるインターネットの会員制サービス。代表的なサービスは、X、Facebook、Instagram、LINE、TikTokなどが挙げられる。



●クロス集計

年代別をみると、20歳代～50歳代では「SNS (X、Facebook、Instagram、LINE、TikTok など)での周知啓発」が、60歳代以上では「広報誌、チラシなどの紙媒体での周知啓発」が最も多くなっています。

地区別をみると、西中学校地区と四街道中学校地区では「広報誌、チラシなどの紙媒体での周知啓発」が、それ以外の地域では「既存の地域活動を一覧で見ることができるようになる」が最も多くなっています。西中学校地区では、「SNS (X、Facebook、Instagram、LINE、TikTok など)での周知啓発」が全体より5.2ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	広報誌、 チラシなどの紙媒体での周 知啓発	既存の地域活動を一覧で見ることが できるようにする	SNSでの周知啓発	四街道市のホームページや団体独自の ホームページでの周知啓発	地域で活動するさまざまな団体を直 接知ることができるとイベントを行う	団体の紹介から見学・体験申込まで 一括でできる窓口をつくる	駅や市役所などの人が多い場所での ポスター掲示やチラシの配架	団体間で連携できるように交流する場 を設ける
(単位:%)										
全体		1,049	35.5	33.7	29.8	26.7	20.6	16.5	12.1	7.8
年代別	10歳代	8	50.0	12.5	50.0	25.0	50.0	12.5	25.0	12.5
	20歳代	60	16.7	28.3	58.3	21.7	20.0	13.3	16.7	6.7
	30歳代	89	29.2	24.7	57.3	23.6	23.6	14.6	15.7	5.6
	40歳代	136	27.2	31.6	58.1	28.7	21.3	15.4	11.8	5.9
	50歳代	183	27.9	33.3	35.5	26.2	16.9	15.8	13.7	6.0
	60歳代	147	38.8	38.8	23.1	34.0	19.7	18.4	6.8	8.2
	70歳代以上	422	44.3	35.8	10.7	25.4	21.1	17.3	11.8	9.7
地区別	千代田中学校地区	214	36.9	37.4	25.2	29.0	16.4	15.9	12.6	9.8
	北中学校地区	196	31.1	33.7	30.1	30.6	24.0	17.9	10.7	7.1
	西中学校地区	200	37.5	27.0	35.0	25.0	23.0	16.5	14.5	5.0
	四街道中学校地区	230	36.1	32.6	27.8	25.7	17.8	15.2	13.9	8.7
	旭中学校地区	203	36.5	38.4	32.0	23.6	22.2	17.2	8.9	8.4

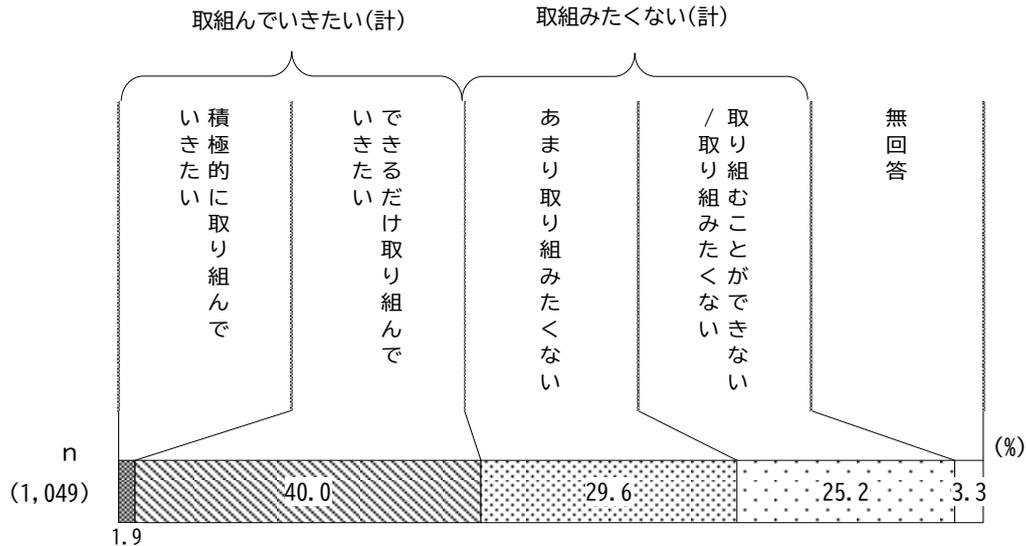
		回答数 (n)	その他	わからない	無回答
(単位:%)					
全体		1,049	3.8	13.9	3.8
年代別	10歳代	8	-	12.5	-
	20歳代	60	5.0	8.3	1.7
	30歳代	89	4.5	10.1	-
	40歳代	136	1.5	11.0	2.2
	50歳代	183	4.9	18.0	3.8
	60歳代	147	4.8	12.9	1.4
	70歳代以上	422	3.3	14.9	6.2
地区別	千代田中学校地区	214	6.1	14.5	4.7
	北中学校地区	196	2.0	13.3	5.1
	西中学校地区	200	1.5	12.5	3.0
	四街道中学校地区	230	6.5	14.8	4.3
	旭中学校地区	203	2.5	13.8	1.5

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■地域・ボランティア活動への参加意向

問 16 あなたは、今後、地域での活動やボランティア活動に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(1つだけ○)

「できるだけ取り組んでいきたい」が40.0%と最も多く、「積極的に取り組んでいきたい」(1.9%)を合わせた“取り組んでいきたい”は41.9%となっています。反対に、「あまり取り組むたくない」(29.6%)と「取り組むことができない／取り組むたくない」(25.2%)を合わせた“取り組むたくない”は54.8%となっています。



●クロス集計

年代別をみると、50歳代では「あまり取り組むたくない」が、それ以外の年代で「できるだけ取り組んでいきたい」が多くなっています。特に60歳代では、全体より12.4ポイント多くなっています。地区別をみると、いずれの地域も「できるだけ取り組んでいきたい」が最も多くなっています。

		回答数 (n)	積極的に取り組んでいきたい (%)	できるだけ取り組んでいきたい (%)	あまり取り組むたくない (%)	／取り組むことができない (%)	無回答 (%)
全体		1,049	1.9	40.0	29.6	25.2	3.3
年代別	10歳代	8	12.5	37.5	12.5	37.5	-
	20歳代	60	1.7	46.7	28.3	23.3	-
	30歳代	89	4.5	39.3	29.2	27.0	-
	40歳代	136	0.7	36.0	36.0	25.7	1.5
	50歳代	183	2.7	33.9	39.9	20.2	3.3
	60歳代	147	0.7	52.4	27.9	18.4	0.7
	70歳代以上	422	1.7	38.9	24.2	29.4	5.9
地区別	千代田中学校地区	214	1.9	42.5	26.6	24.8	4.2
	北中学校地区	196	1.0	36.7	31.6	27.0	3.6
	西中学校地区	200	2.5	39.5	29.0	24.5	4.5
	四街道中学校地区	230	1.7	40.9	29.6	25.7	2.2
	旭中学校地区	203	2.5	39.9	31.5	24.1	2.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

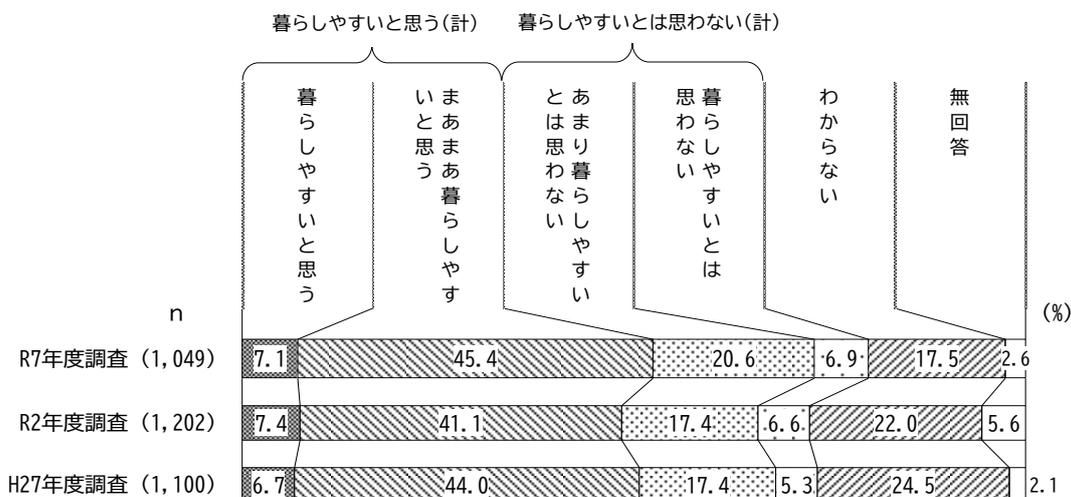
4. 「福祉の考え方」について

■四街道市の暮らしやすさ

問 17-1 四街道市は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(1つだけ○)

「まあまあ暮らしやすいと思う」が45.4%と最も多く、「暮らしやすいと思う」(7.1%)を合わせた“暮らしやすいと思う”は52.5%となっています。反対に、「あまり暮らしやすいとは思わない」(20.6%)と「暮らしやすいとは思わない」(6.9%)を合わせた“暮らしやすいとは思わない”は27.5%となっています。

過去調査と比較すると、“暮らしやすいと思う”は4.0ポイント前回調査より多くなっています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「まあまあ暮らしやすいと思う」が最も多くなっています。特に20歳代では全体より16.3ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「まあまあ暮らしやすいと思う」が最も多くなっています。特に西中学校地区では全体より7.6ポイント多くなっています。

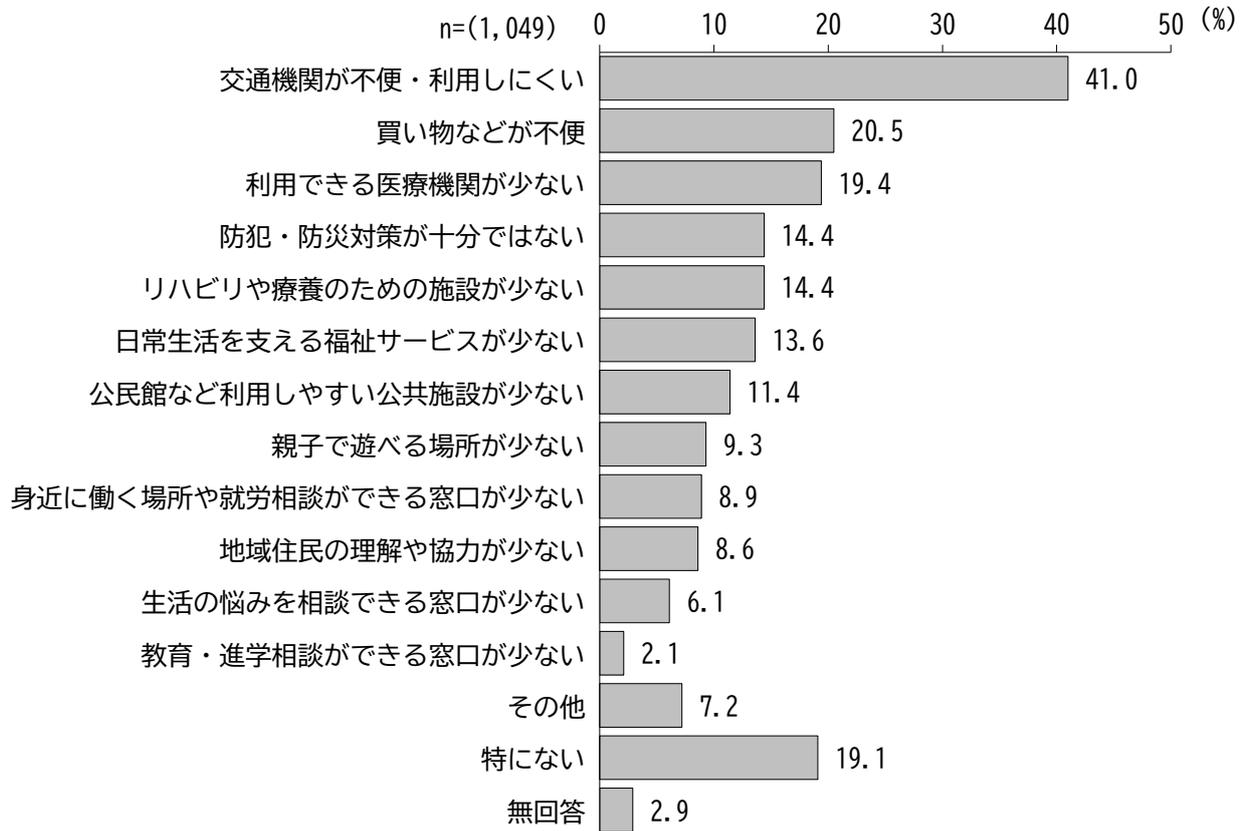
	回答数 (n)	暮らしやすさに関する考え方 (%)					わからない (%)	無回答 (%)
		暮らしやすいと思う	まあまあ暮らしやすいと思う	あまり暮らしやすいとは思わない	暮らしやすいとは思わない	わからない		
全体	1,049	7.1	45.4	20.6	6.9	17.5	2.6	
年代別	10歳代	8	25.0	50.0	25.0	-	-	-
	20歳代	60	10.0	61.7	11.7	3.3	13.3	-
	30歳代	89	12.4	46.1	22.5	4.5	13.5	1.1
	40歳代	136	12.5	43.4	17.6	8.8	17.6	-
	50歳代	183	2.7	37.2	25.1	9.3	23.0	2.7
	60歳代	147	2.7	39.5	23.8	6.1	26.5	1.4
	70歳代以上	422	6.9	49.1	19.2	6.6	14.0	4.3
地区別	千代田中学校地区	214	6.1	45.8	23.8	4.7	15.9	3.7
	北中学校地区	196	6.6	44.4	19.4	10.2	15.8	3.6
	西中学校地区	200	7.0	53.0	16.5	3.0	18.0	2.5
	四街道中学校地区	230	8.7	47.0	17.8	5.7	19.1	1.7
	旭中学校地区	203	6.9	36.5	25.1	11.3	19.2	1.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■暮らしにくいと感じる点

問 17-2 四街道市において暮らしにくいと感じる点がありますか。(主なもの3つまでに○)

「交通機関が不便・利用しにくい」が41.0%と最も多く、次いで「買い物などが不便」が20.5%、「利用できる医療機関が少ない」が19.4%となっています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「交通機関が不便・利用しにくい」が最も多くなっています。30歳代では「親子で遊べる場所が少ない」が全体より19.9ポイント多くなっています。地区別をみると、いずれの地域も「交通機関が不便・利用しにくい」が最も多くなっています。旭中学校地区では「買い物などが不便」が全体より11.5ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	交通機関が不便・利用しにくい	買い物などが不便	利用できる医療機関が少ない	防犯・防災対策が十分でない	めりハビリティや療養のための施設が少ない	日常生活を支える福祉サービスが少ない	公民館など利用しやすい公共施設が少ない	親子で遊べる場所が少ない
(単位:%)										
全体		1,049	41.0	20.5	19.4	14.4	14.4	13.6	11.4	9.3
年代別	10歳代	8	50.0	37.5	-	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5
	20歳代	60	40.0	23.3	6.7	8.3	8.3	5.0	10.0	16.7
	30歳代	89	44.9	23.6	18.0	12.4	4.5	9.0	19.1	29.2
	40歳代	136	38.2	16.2	16.2	18.4	5.9	9.6	11.0	19.9
	50歳代	183	45.4	21.9	20.2	10.9	9.8	14.8	8.2	5.5
	60歳代	147	37.4	16.3	25.9	14.3	14.3	12.2	11.6	4.8
	70歳代以上	422	40.5	21.3	20.4	16.1	21.8	17.1	11.1	4.0
地区別	千代田中学校地区	214	51.4	24.3	21.0	13.1	20.1	15.0	11.7	9.3
	北中学校地区	196	40.3	19.9	24.0	15.8	14.8	14.8	10.2	8.7
	西中学校地区	200	31.0	9.0	20.5	15.0	12.0	13.5	10.5	13.0
	四街道中学校地区	230	30.4	17.4	14.8	14.8	13.5	9.1	10.9	10.9
	旭中学校地区	203	52.7	32.0	17.7	13.8	10.3	15.8	14.3	4.9

		回答数 (n)	身近に働く場所や就労が少ない	地域住民の理解や協力が少ない	生活の悩みを相談できる窓口が少ない	教育・進学相談ができる窓口が少ない	その他	特になし	無回答
(単位:%)									
全体		1,049	8.9	8.6	6.1	2.1	7.2	19.1	2.9
年代別	10歳代	8	12.5	-	-	-	-	-	-
	20歳代	60	11.7	3.3	5.0	3.3	6.7	25.0	-
	30歳代	89	12.4	3.4	1.1	5.6	10.1	18.0	-
	40歳代	136	11.0	9.6	6.6	5.9	8.1	19.1	1.5
	50歳代	183	11.5	6.0	8.2	2.7	10.4	18.0	2.7
	60歳代	147	10.2	10.9	5.4	-	8.2	25.2	1.4
	70歳代以上	422	5.5	10.7	6.4	0.5	5.0	17.3	4.7
地区別	千代田中学校地区	214	7.0	5.1	5.1	0.5	8.9	17.3	1.4
	北中学校地区	196	10.2	7.1	5.1	3.1	6.6	20.9	2.0
	西中学校地区	200	13.5	13.0	5.5	1.0	5.5	20.5	2.5
	四街道中学校地区	230	7.8	9.6	6.5	3.5	7.8	21.7	4.3
	旭中学校地区	203	5.9	8.4	7.4	2.5	7.4	14.8	3.4

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

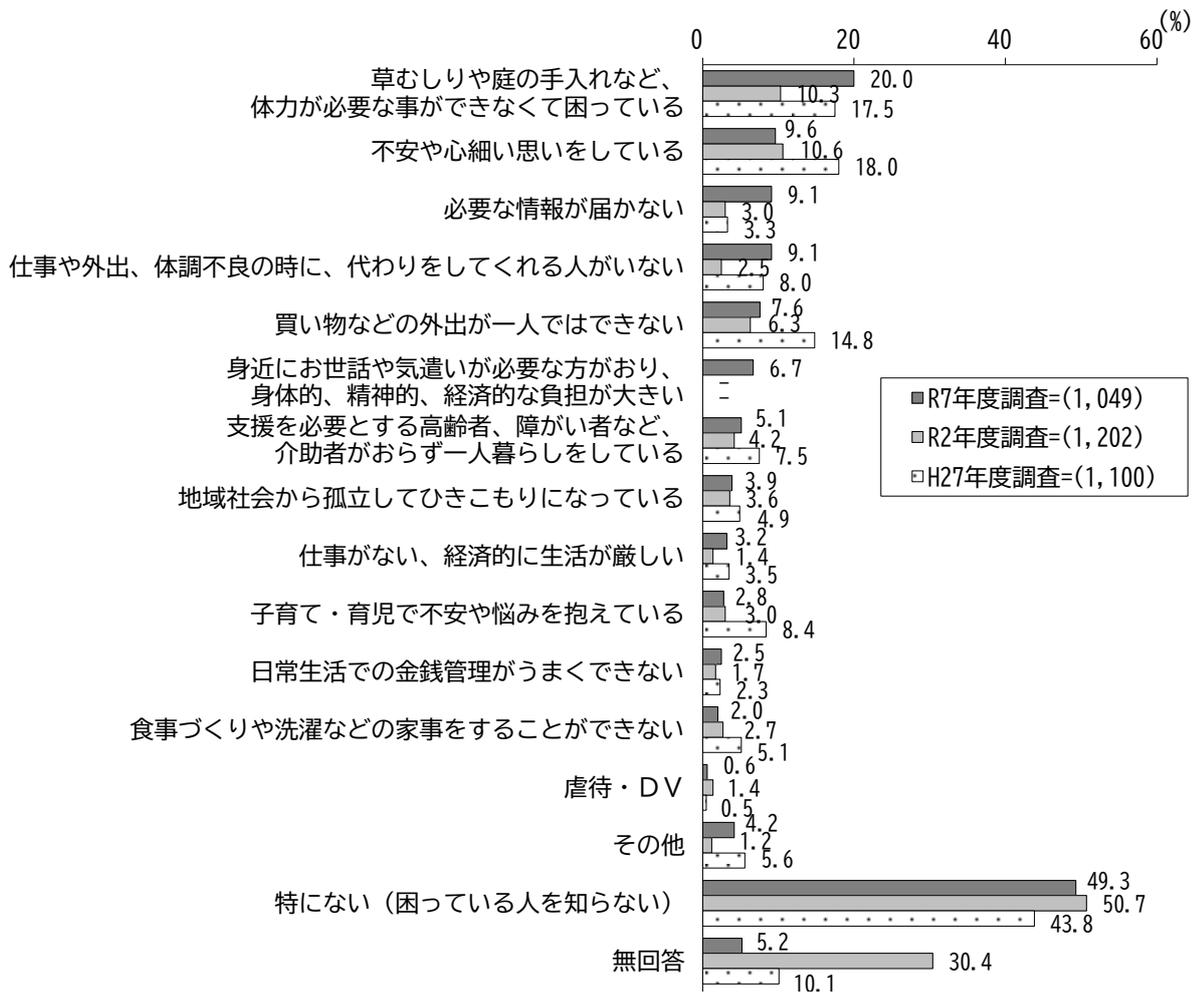
■現在の困りごと

問 18 現在、あなたご自身やご家族、地域の方で次のようなことでお困りの方はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている」が 20.0%と最も多く、次いで「不安や心細い思いをしている」が 9.6%、「必要な情報が届かない」が 9.1%となっています。

過去調査と比較すると、「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている」は 9.7ポイント、「仕事や外出、体調不良の時に、代わりにしてくれる人がいない」は 6.6ポイント前回調査より多くなっています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれも「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている」が多くなっています。50歳代では「身近にお世話や気遣いが必要な方がおり、身体的、精神的、経済的な負担が大きい」が全体より5.3ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている」が多く、特に千代田中学校地区では全体より8.5ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている	不安や心細い思いをしている	必要な情報が届かない	仕事や外出、体調不良の時に、代わりをしてくれる人がいない	買い物などの外出が一人ではできない	身近にお世話や気遣いが必要な方がおり、身体的、精神的、経済的な負担が大きい	支援を必要とする高齢者、障がい者など、介助者がおらず一人暮らしをしている	地域社会から孤立してひきこもりになっている
(単位:%)										
全体		1,049	20.0	9.6	9.1	9.1	7.6	6.7	5.1	3.9
年代別	10歳代	8	-	12.5	-	-	-	12.5	-	-
	20歳代	60	10.0	10.0	5.0	6.7	10.0	5.0	5.0	1.7
	30歳代	89	9.0	7.9	9.0	4.5	4.5	1.1	-	1.1
	40歳代	136	15.4	6.6	6.6	11.0	2.9	8.8	5.9	1.5
	50歳代	183	22.4	12.0	9.3	9.8	10.4	12.0	7.1	6.6
	60歳代	147	17.7	7.5	10.9	6.8	10.9	7.5	6.1	4.8
	70歳代以上	422	25.4	10.4	10.0	10.4	7.3	4.5	4.7	4.3
地区別	千代田中学校地区	214	28.5	11.2	11.7	12.1	10.7	7.9	5.6	6.5
	北中学校地区	196	19.9	11.2	11.7	10.7	10.7	6.6	7.1	3.6
	西中学校地区	200	14.5	6.5	7.0	7.5	2.5	6.5	4.0	3.5
	四街道中学校地区	230	17.8	8.3	6.1	7.0	3.0	6.1	3.5	3.5
	旭中学校地区	203	19.2	10.3	8.9	7.9	11.8	5.9	5.4	2.5

		回答数 (n)	仕事がない、経済的に生活が厳しい	子育て・育児で不安や悩みを抱えている	日常生活での金銭管理がうまくできない	食事づくりや洗濯などの家事をすることができない	虐待・DV	その他	特にない(困っている人を知らない)	無回答
(単位:%)										
全体		1,049	3.2	2.8	2.5	2.0	0.6	4.2	49.3	5.2
年代別	10歳代	8	-	-	-	-	-	-	75.0	-
	20歳代	60	5.0	5.0	6.7	3.3	-	3.3	58.3	-
	30歳代	89	5.6	7.9	6.7	2.2	1.1	4.5	60.7	1.1
	40歳代	136	3.7	7.4	1.5	2.2	0.7	3.7	54.4	0.7
	50歳代	183	6.0	2.7	2.2	2.2	0.5	4.4	44.8	4.9
	60歳代	147	3.4	0.7	2.7	1.4	0.7	3.4	53.7	3.4
	70歳代以上	422	1.2	0.7	0.9	1.9	0.5	4.7	44.1	9.0
地区別	千代田中学校地区	214	4.2	5.1	2.3	1.4	0.9	4.7	44.9	3.7
	北中学校地区	196	3.1	1.5	1.5	3.1	-	3.1	44.4	6.1
	西中学校地区	200	3.0	1.5	3.0	2.0	-	4	52.0	6.0
	四街道中学校地区	230	3.5	2.6	3.0	1.7	1.3	4.8	57.0	4.3
	旭中学校地区	203	2.5	3.0	1.5	2.0	0.5	4.4	48.3	5.9

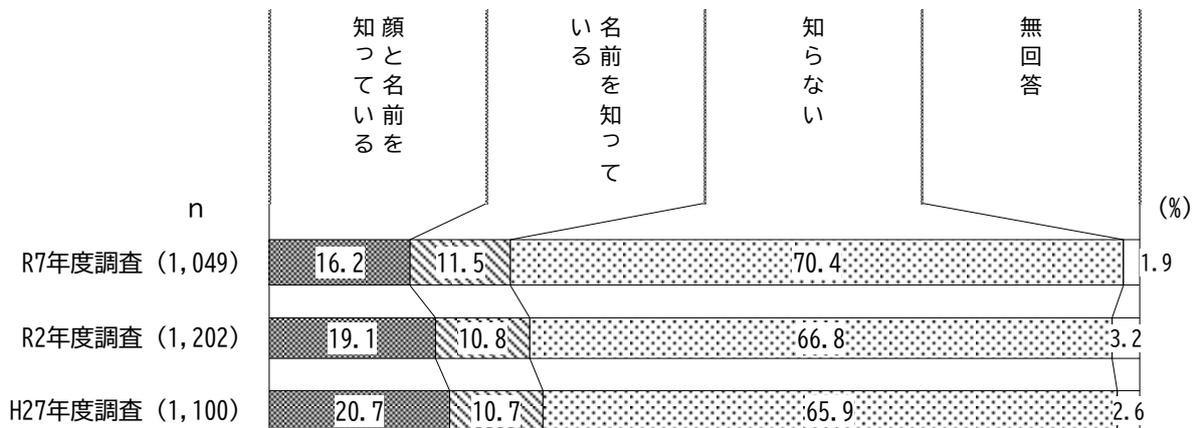
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

5. 「地域における支え合い」について

■民生委員・児童委員の認知度

問 19 民生委員・児童委員は社会福祉の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指して、さまざまな活動を行っています。あなたはお住まいの地区の担当民生委員・児童委員を知っていますか。(1つだけ○)

「知らない」が70.4%と最も多く、次いで「顔と名前を知っている」が16.2%となっています。過去調査と比較すると、「知らない」は3.6ポイント前回調査より多くなっています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「知らない」が最も多くなっています。70歳代以上では「顔と名前を知っている」が全体より8.7ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「知らない」が最も多くなっています。

		回答数 (n)	顔と 名前を 知る	名前 を知 る	知 ら な い	無 回 答
(単位:%)						
全 体		1,049	16.2	11.5	70.4	1.9
年 代 別	10歳代	8	12.5	12.5	75.0	-
	20歳代	60	3.3	6.7	90.0	-
	30歳代	89	2.2	5.6	92.1	-
	40歳代	136	11.0	11.0	77.2	0.7
	50歳代	183	11.5	5.5	80.9	2.2
	60歳代	147	16.3	10.9	72.1	0.7
	70歳代以上	422	24.9	16.4	55.7	3.1
地 区 別	千代田中学校地区	214	19.6	12.1	66.4	1.9
	北中学校地区	196	13.3	10.7	75.0	1.0
	西中学校地区	200	18.5	6.5	72.5	2.5
	四街道中学校地区	230	13.0	11.3	73.5	2.2
	旭中学校地区	203	16.7	16.7	65.0	1.5

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

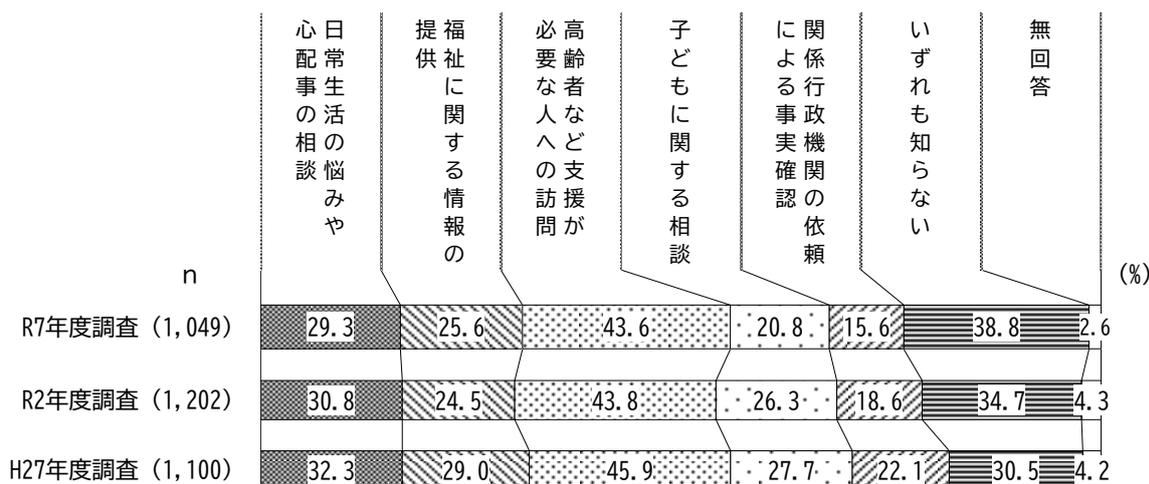
■民生委員・児童委員の活動に関する認知

問 20 民生委員・児童委員が行う活動として、知っているものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

「高齢者など支援が必要な人への訪問」が43.6%と最も多く、「日常生活の悩みや心配事の相談」が29.3%となっています。一方、「いずれも知らない」は38.8%と多くなっています。

過去調査と比較すると、「いずれも知らない」は4.1ポイント前回調査より多く、「子どもに関する相談」は5.3ポイント前回調査より少なくなっています。



●クロス集計

年代別をみると、20歳代～40歳代では「いずれも知らない」が、50歳代以上では「高齢者など支援が必要な人への訪問」が最も多くなっています。特に20歳代では「いずれも知らない」が全体より39.5ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「高齢者など支援が必要な人への訪問」が最も多くなっています。旭中学校地区では「福祉に関する情報の提供」が5.9ポイント多くなっています。

	回答数 (n)	高齢者など支援が必要な人への訪問	日常生活の悩みや心配事の相談	福祉に関する情報の提供	子どもに関する相談	関係行政機関の依頼による事実確認	いずれも知らない	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	1,049	43.6	29.3	25.6	20.8	15.6	38.8	2.6	
年代別	10歳代	8	-	12.5	-	25.0	-	62.5	-
	20歳代	60	11.7	11.7	8.3	10.0	5.0	78.3	-
	30歳代	89	18.0	13.5	11.2	16.9	6.7	70.8	1.1
	40歳代	136	33.1	27.2	17.6	25.7	13.2	44.9	-
	50歳代	183	44.3	25.1	21.3	19.1	12.0	43.2	2.2
	60歳代	147	46.9	29.3	30.6	23.8	15.6	38.1	-
	70歳代以上	422	56.4	38.2	34.6	21.3	21.8	22.3	5.0
地区別	千代田中学校地区	214	44.9	29.4	25.2	22.0	14.5	35.0	2.8
	北中学校地区	196	42.9	26.5	20.4	16.8	14.8	40.8	2.6
	西中学校地区	200	39.5	33.5	25.0	22.5	15.0	37.5	3.0
	四街道中学校地区	230	45.7	23.5	26.5	21.3	16.1	42.2	2.2
	旭中学校地区	203	44.8	34.5	31.5	21.7	17.7	38.4	2.0

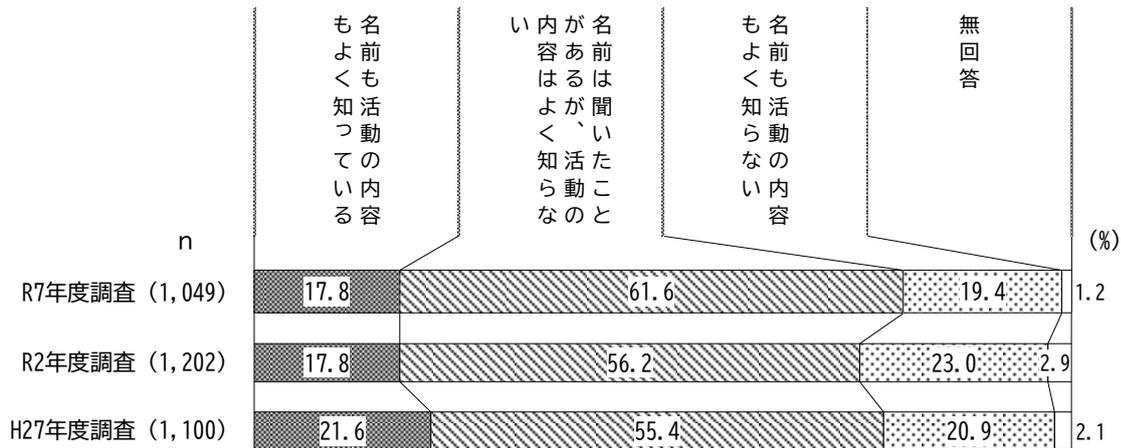
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■社会福祉協議会の認知度

問 21 あなたは社会福祉協議会を知っていますか。(1つだけ○)

「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」が61.6%と最も多く、次いで「名前も活動の内容もよく知らない」が19.4%となっています。

過去調査と比較すると、「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」は5.4ポイント前回調査より多く、「名前も活動の内容もよく知らない」は3.6ポイント前回調査より少なくなっています。



●クロス集計

年代別をみると、20歳代～30歳代では「名前も活動の内容もよく知らない」が、それ以外の年代では「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」が最も多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」が最も多く、特に北中学校地区では全体より10.3ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	名前も活動の内容もよく知らない (%)	名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない (%)	名前も活動の内容もよく知っている (%)	無回答 (%)
全体		1,049	17.8	61.6	19.4	1.2
年代別	10歳代	8	12.5	37.5	50.0	-
	20歳代	60	8.3	43.3	48.3	-
	30歳代	89	9.0	43.8	47.2	-
	40歳代	136	12.5	61.8	25.7	-
	50歳代	183	9.8	67.2	20.8	2.2
	60歳代	147	19.0	64.6	16.3	-
	70歳代以上	422	25.8	64.9	7.3	1.9
地区別	千代田中学校地区	214	19.2	62.6	17.3	0.9
	北中学校地区	196	13.8	71.9	13.3	1.0
	西中学校地区	200	19.0	59.5	20.5	1.0
	四街道中学校地区	230	16.5	60.0	22.2	1.3
	旭中学校地区	203	20.7	54.7	23.2	1.5

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

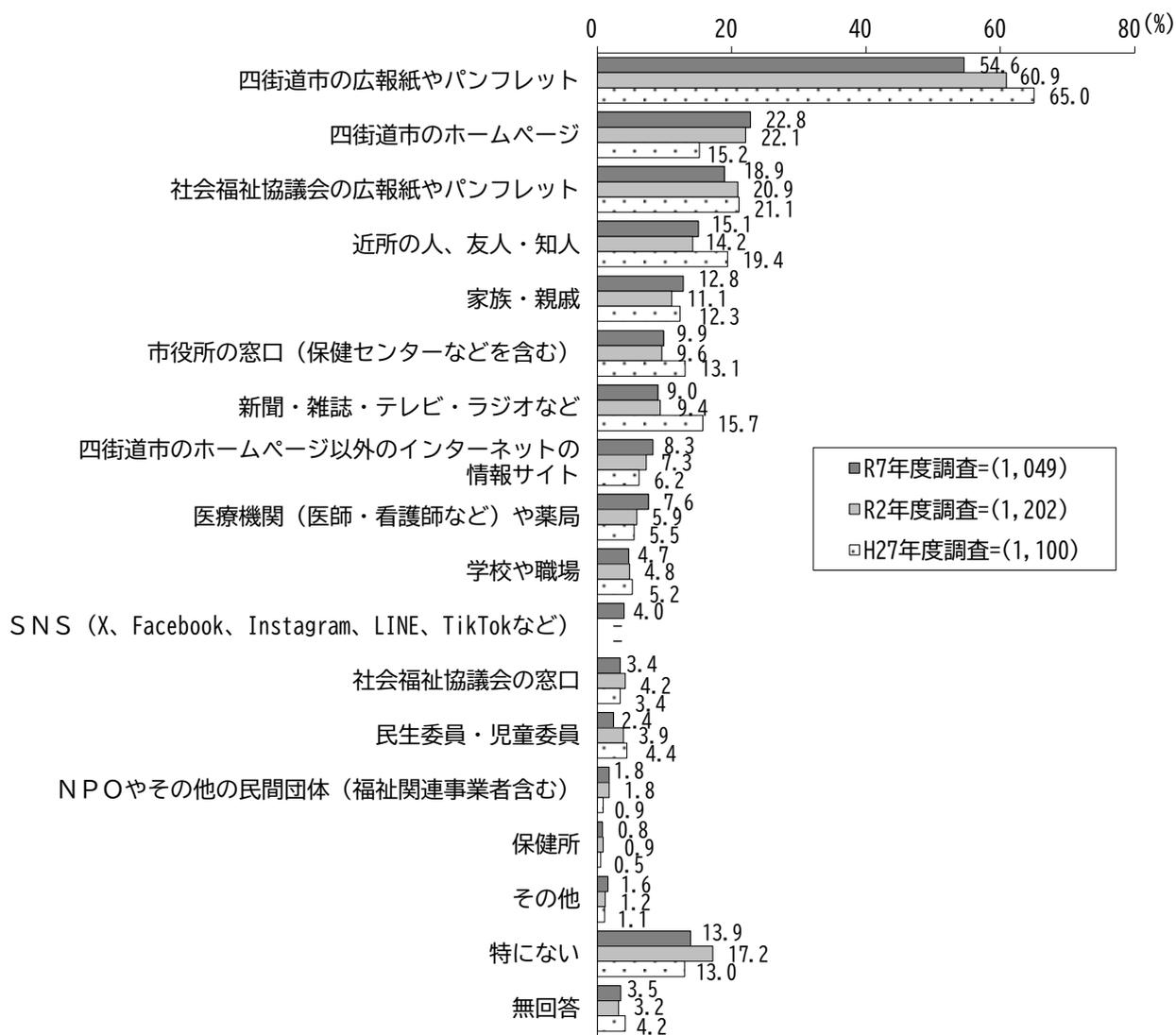
6. 「福祉に関する情報・相談など」について

■福祉サービスに関する情報の入手先

問 22 福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

「四街道市の広報紙やパンフレット」が54.6%と最も多く、次いで「四街道市のホームページ」が22.8%、「社会福祉協議会の広報紙やパンフレット」が18.9%となっています。
過去調査と比較すると、「四街道市の広報紙やパンフレット」が6.3ポイント前回調査より少なくなっています。

※2 NPO：民間の非営利組織のことで、政府・自治体や企業には含まれず、利益追求のためではなく、さまざまな社会問題の解決を目指して自立的に活動する組織・団体。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「四街道市の広報紙やパンフレット」が最も多く、特に70歳代以上では全体より13.2ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「四街道市の広報紙やパンフレット」が最も多くなっています。千代田中学校地区では「近所の人、友人・知人」が全体より6.4ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	四街道市の広報紙やパンフレット	四街道市のホームページ	社会福祉協議会の広報紙やパンフレット	近所の人、友人・知人	家族・親戚	市役所の窓口（保健センターなどを含む）	新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど	四街道市のホームページ以外のインターネットの情報サイト	医療機関（医師・看護師など）や薬局
(単位:%)											
全体		1,049	54.6	22.8	18.9	15.1	12.8	9.9	9.0	8.3	7.6
年代別	10歳代	8	12.5	-	-	12.5	37.5	25.0	12.5	-	25.0
	20歳代	60	35.0	16.7	6.7	6.7	31.7	8.3	3.3	8.3	5.0
	30歳代	89	42.7	25.8	10.1	10.1	14.6	4.5	1.1	7.9	3.4
	40歳代	136	44.9	32.4	7.4	11.0	14.7	8.1	4.4	12.5	8.8
	50歳代	183	48.6	31.1	10.9	12.6	12.0	7.7	4.9	12.6	6.6
	60歳代	147	51.7	28.6	16.3	14.3	12.2	11.6	6.8	9.5	8.8
	70歳代以上	422	67.8	14.9	31.0	20.1	9.0	12.1	15.4	4.7	8.3
地区別	千代田中学校地区	214	59.3	23.4	20.1	21.5	14.0	9.3	9.8	7.9	6.5
	北中学校地区	196	51.5	23.0	16.3	19.4	13.3	10.2	9.7	10.7	8.2
	西中学校地区	200	54.5	20.5	18.5	11.5	12.5	8.5	9.5	4.5	6.0
	四街道中学校地区	230	52.6	22.6	19.6	9.1	13.0	11.3	5.7	12.6	8.3
	旭中学校地区	203	56.2	25.1	20.2	14.8	10.8	10.3	10.8	5.4	9.4

		回答数 (n)	学校や職場	SNS	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	NPOやその他の民間団体（福祉関連事業者含む）	保健所	その他	特にない	無回答
(単位:%)											
全体		1,049	4.7	4.0	3.4	2.4	1.8	0.8	1.6	13.9	3.5
年代別	10歳代	8	25.0	-	12.5	-	-	-	-	37.5	-
	20歳代	60	10.0	10.0	1.7	-	1.7	-	-	26.7	-
	30歳代	89	10.1	9.0	2.2	-	3.4	3.4	-	22.5	-
	40歳代	136	9.6	8.8	1.5	0.7	2.2	-	-	16.9	1.5
	50歳代	183	7.1	3.8	2.7	-	2.2	0.5	2.2	19.1	1.6
	60歳代	147	1.4	2.0	5.4	-	2.7	0.7	2.0	12.2	2.0
	70歳代以上	422	0.9	1.4	4.0	5.7	0.9	0.7	2.4	7.3	6.4
地区別	千代田中学校地区	214	6.5	3.3	4.2	2.3	2.3	0.9	0.9	13.6	1.9
	北中学校地区	196	3.6	4.6	4.6	2.0	2.6	0.5	1.5	10.7	3.6
	西中学校地区	200	4.0	4.5	2.5	1.5	3.0	1	-	15.5	7.0
	四街道中学校地区	230	4.3	4.3	3.0	3.9	0.4	0.4	2.2	17.0	1.7
	旭中学校地区	203	4.9	3.4	3.0	2.0	1.0	1	3.4	12.3	2.5

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■成年後見制度の認知度

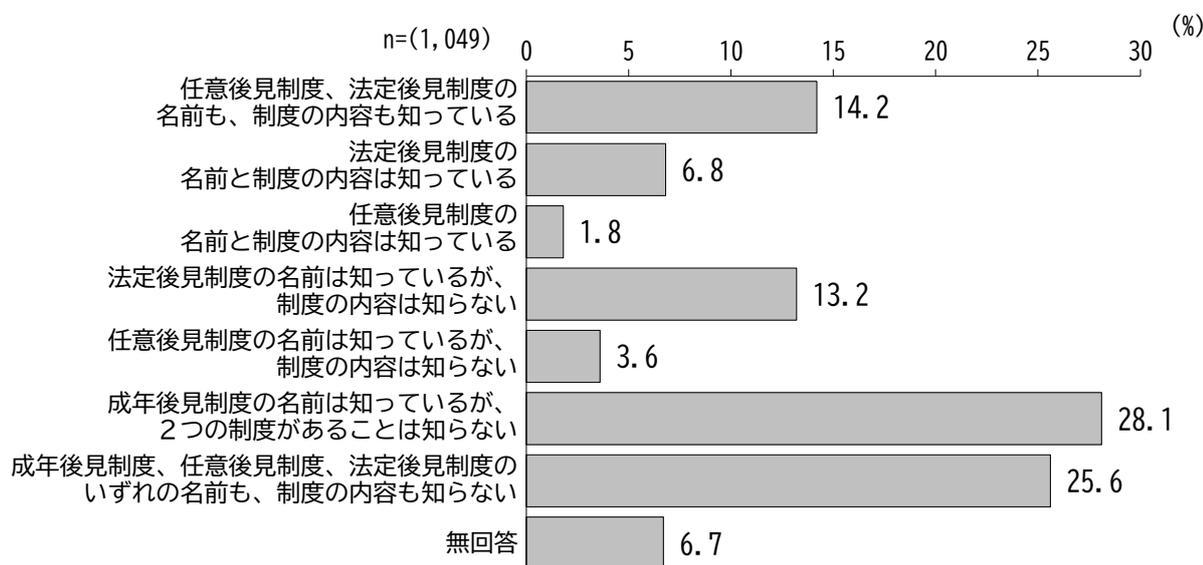
問 23 成年後見制度とは、認知症の高齢者や障がいのある方など、判断能力が不十分な方が不利益を被らないように法的に保護、支援する制度です。あなたは、「成年後見制度（法定後見制度^{※3}、任意後見制度^{※4}）」を知っていますか。（1つだけ○）

※3 法定後見制度：家庭裁判所によって、成年後見人などが選ばれる（選任される）制度。ご本人の不安に応じて「補助」「保佐」「後見」の3つの種類（類型）がある。

※4 任意後見制度：あらかじめご本人自らが選んだ人（任意後見人）に、ひとりで決めることが心配になったとき、代わりにしてもらいたいことを契約（任意後見契約）で決めておく制度。



「成年後見制度の名前は知っているが、2つの制度があることは知らない」が28.1%と最も多く、次いで「成年後見制度、任意後見制度、法定後見制度のいずれの名前も、制度の内容も知らない」が25.6%、「任意後見制度、法定後見制度の名前も、制度の内容も知っている」が14.2%となっています。



●クロス集計

年代別をみると、20歳代～40歳代では「成年後見制度、任意後見制度、法定後見制度のいずれの名前も、制度の内容も知らない」が、50歳代以上では「成年後見制度の名前は知っているが、2つの制度があることは知らない」が最も多くなっています。特に20歳代では「成年後見制度、任意後見制度、法定後見制度のいずれの名前も、制度の内容も知らない」が全体より26.1ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、千代田中学校地区、西中学校地区では「成年後見制度の名前は知っているが、2つの制度があることは知らない」が最も多くなっています。

		回答数(n)	知っている名前も、制度の内容も知らない	任意後見制度、法定後見制度の内容は知っている	法定後見制度の名前と制度の内容は知っている	任意後見制度の名前と制度の内容は知っている	知らないが、制度の内容は知っている	知らないが、制度の内容は知らない	任意後見制度の名前は知っているが、2つの制度があることは知らない	成年後見制度の名前は知っているが、2つの制度があることは知らない	成年後見制度、任意後見制度、法定後見制度の内容も知らない	無回答
(単位:%)												
全体		1,049	14.2	6.8	1.8	13.2	3.6	28.1	25.6	6.7		
年代別	10歳代	8	-	-	-	12.5	-	37.5	50.0	-		
	20歳代	60	11.7	8.3	-	11.7	3.3	13.3	51.7	-		
	30歳代	89	18.0	4.5	3.4	5.6	2.2	24.7	39.3	2.2		
	40歳代	136	12.5	5.9	1.5	14.0	2.2	29.4	31.6	2.9		
	50歳代	183	13.7	6.0	1.1	16.4	0.5	32.2	27.3	2.7		
	60歳代	147	17.7	6.8	2.0	13.6	4.1	35.4	18.4	2.0		
	70歳代以上	422	13.5	7.8	2.1	13.3	5.7	26.1	18.7	12.8		
地区別	千代田中学校地区	214	12.6	6.1	0.9	12.1	3.7	33.6	23.8	7.0		
	北中学校地区	196	10.7	11.2	1.5	16.3	5.6	24.5	24.5	5.6		
	西中学校地区	200	12.5	5.5	2.0	13.5	3.0	30.0	25.0	8.5		
	四街道中学校地区	230	16.1	6.5	2.2	13.9	2.6	26.5	27.4	4.8		
	旭中学校地区	203	18.7	4.9	2.5	10.3	3.4	26.1	27.6	6.4		

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■再犯防止活動内容の認知度

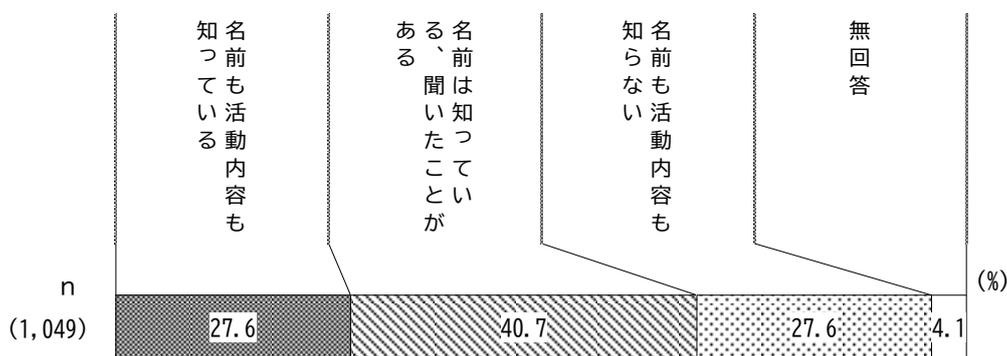
問 24 罪を犯した人に対して社会の中での立ち直りを支援し、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ活動を行っている人々があります。あなたは活動内容などについて知っていますか。

(ア～エの項目ごとに1つだけ○)

【ア 保護司※5】

「名前は知っている、聞いたことがある」が40.7%と最も多く、次いで「名前も活動内容も知っている」と「名前も活動内容も知らない」が27.6%となっています。

※5 保護司：生活上の助言や就労の援助、釈放後の住居や就業先などの調整をするなど、立ち直りを支える民間ボランティア。



●クロス集計

年代別をみると、20歳代～30歳代では「名前も活動内容も知らない」が、40歳代以上では「名前は知っている、聞いたことがある」が最も多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「名前は知っている、聞いたことがある」が最も多くなっています。

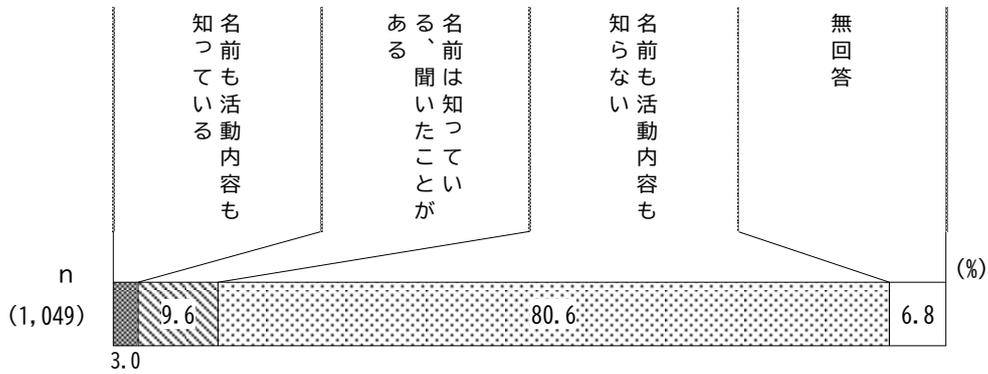
		回答数 (n)	名前も活動内容も知っている	名前は知っている、聞いたことがある	名前も活動内容も知らない	無回答
		(単位:%)				
全体		1,049	27.6	40.7	27.6	4.1
年代別	10歳代	8	-	37.5	62.5	-
	20歳代	60	18.3	23.3	58.3	-
	30歳代	89	13.5	34.8	50.6	1.1
	40歳代	136	22.1	39.7	36.8	1.5
	50歳代	183	26.8	41.0	30.6	1.6
	60歳代	147	31.3	47.6	19.0	2.0
	70歳代以上	422	33.4	42.4	16.6	7.6
地区別	千代田中学校地区	214	27.6	43.9	25.7	2.8
	北中学校地区	196	27.6	39.3	27.6	5.6
	西中学校地区	200	26.5	40.5	27.0	6.0
	四街道中学校地区	230	30.4	40.0	26.5	3.0
	旭中学校地区	203	26.1	40.4	31.5	2.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

【イ 更生保護女性会※6】

「名前も活動内容も知らない」が80.6%と最も多く、次いで「名前は知っている、聞いたことがある」が9.6%、「名前も活動内容も知っている」が3.0%となっています。

※6 更生保護女性会：犯罪予防活動や青少年の健全育成活動、子育て支援活動、更生保護施設への支援などを行うボランティア団体。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「名前も活動内容も知らない」が最も多く、特に20歳代では全体より9.4ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「名前も活動内容も知らない」が最も多くなっています。

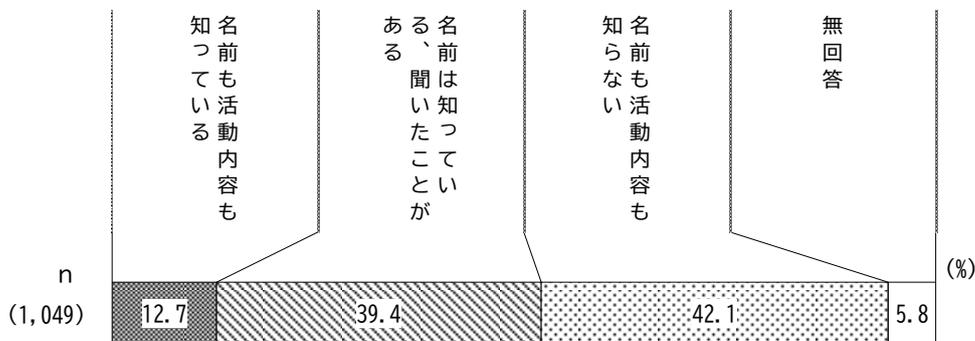
		回答数 (n)	名前も活動内容も知っている	名前は知っている、聞いたことがある	名前も活動内容も知らない	無回答
(単位:%)						
全体		1,049	3.0	9.6	80.6	6.8
年代別	10歳代	8	-	12.5	87.5	-
	20歳代	60	3.3	6.7	90.0	-
	30歳代	89	1.1	7.9	89.9	1.1
	40歳代	136	2.2	9.6	86.8	1.5
	50歳代	183	2.7	6.0	89.1	2.2
	60歳代	147	5.4	5.4	86.4	2.7
	70歳代以上	422	2.8	13.3	70.1	13.7
地区別	千代田中学校地区	214	3.3	10.7	79.9	6.1
	北中学校地区	196	2.0	7.1	82.1	8.7
	西中学校地区	200	2.5	9.0	78.0	10.5
	四街道中学校地区	230	4.3	9.6	81.7	4.3
	旭中学校地区	203	2.5	11.8	82.3	3.4

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

【ウ 更生保護施設など※7】

「名前も活動内容も知らない」が42.1%と最も多く、次いで「名前は知っている、聞いたことがある」が39.4%、「名前も活動内容も知っている」が12.7%となっています。

※7 更生保護施設など：宿泊場所の提供や、就職指導、生活指導を行うなど、社会復帰に向けた支援などを行う民間施設。



●クロス集計

年代別をみると、40歳代では「名前は知っている、聞いたことがある」が、それ以外の年齢層では「名前も活動内容も知らない」が最も多くなっています。

地区別をみると、四街道中学校地区では「名前は知っている、聞いたことがある」が最も多くなっています。旭中学校地区では「名前も活動内容も知らない」が全体より8.1ポイント多くなっています。

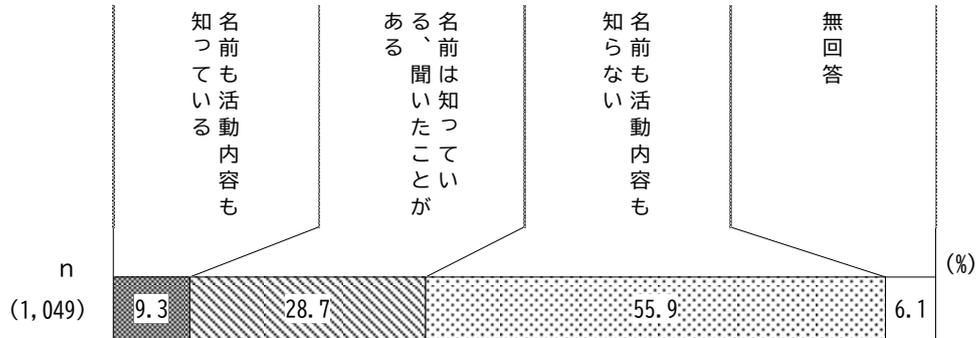
		回答数 (n)	名前も活動内容も知っている	名前は知っている、聞いたことがある	名前も活動内容も知らない	無回答
(単位:%)						
全体		1,049	12.7	39.4	42.1	5.8
年代別	10歳代	8	12.5	37.5	50.0	-
	20歳代	60	21.7	36.7	41.7	-
	30歳代	89	12.4	42.7	43.8	1.1
	40歳代	136	12.5	47.1	39.0	1.5
	50歳代	183	14.8	41.0	42.1	2.2
	60歳代	147	13.6	40.8	43.5	2.0
	70歳代以上	422	10.4	35.3	42.7	11.6
地区別	千代田中学校地区	214	13.6	39.3	42.1	5.1
	北中学校地区	196	11.2	39.3	41.8	7.7
	西中学校地区	200	16.0	37.5	37.5	9.0
	四街道中学校地区	230	13.0	43.9	39.6	3.5
	旭中学校地区	203	9.9	36.9	50.2	3.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

【工 協力雇用主※8】

「名前も活動内容も知らない」が55.9%と最も多く、次いで「名前は知っている、聞いたことがある」が28.7%、「名前も活動内容も知っている」が9.3%となっています。

※8 協力雇用主：社会復帰を支援するため、刑務所出所者などを雇用する民間の事業主。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「名前も活動内容も知らない」が最も多く、特に20歳代では全体より19.1ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「名前も活動内容も知らない」が最も多くなっています。

		回答数 (n)	名前も活動内容も知っている	名前は知っている、聞いたことがある	名前も活動内容も知らない	無回答
(単位:%)						
全体		1,049	9.3	28.7	55.9	6.1
年代別	10歳代	8	-	25.0	75.0	-
	20歳代	60	11.7	13.3	75.0	-
	30歳代	89	7.9	21.3	69.7	1.1
	40歳代	136	8.1	25.7	64.7	1.5
	50歳代	183	11.5	29.5	56.8	2.2
	60歳代	147	12.9	33.3	51.7	2.0
	70歳代以上	422	7.8	31.3	48.6	12.3
地区別	千代田中学校地区	214	7.5	32.2	55.1	5.1
	北中学校地区	196	8.2	26.0	57.7	8.2
	西中学校地区	200	9.5	28.0	53.0	9.5
	四街道中学校地区	230	12.6	26.1	57.4	3.9
	旭中学校地区	203	8.9	31.5	56.7	3.0

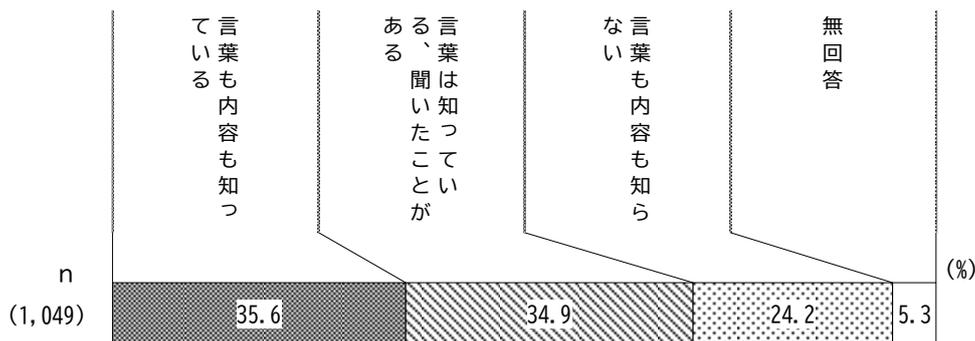
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■ケアラーについての認知度

問 25 高齢や障がい、疾病などにより援助が必要な親族、友人、その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する方を「ケアラー」といいます。次の言葉を知っていますか。(ア～エの項目ごとに1つだけ○)

【ア ケアラー】

「言葉も内容も知っている」が35.6%と最も多く、次いで「言葉は知っている、聞いたことがある」が34.9%、「言葉も内容も知らない」が24.2%となっています。



●クロス集計

年代別をみると、70歳代以上では「言葉は知っている、聞いたことがある」が、それ以外の年代で「言葉も内容も知っている」が最も多く、特に20歳代では全体より11.1ポイント多くなっています。

地区別をみると、千代田中学校地区、西中学校地区では「言葉は知っている、聞いたことがある」が、それ以外の地区では「言葉も内容も知っている」が最も多くなっています。

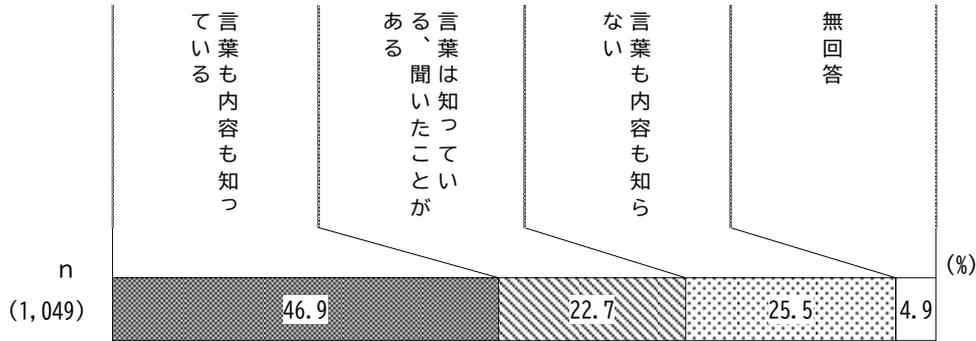
		回答数 (n)	言葉も内容も知っている	言葉は知っている、聞いたことがある	言葉も内容も知らない	無回答
(単位:%)						
全体		1,049	35.6	34.9	24.2	5.3
年代別	10歳代	8	12.5	62.5	12.5	12.5
	20歳代	60	46.7	30.0	23.3	-
	30歳代	89	38.2	33.7	27.0	1.1
	40歳代	136	39.0	33.8	25.0	2.2
	50歳代	183	37.7	31.1	28.4	2.7
	60歳代	147	36.7	34.7	26.5	2.0
	70歳代以上	422	31.5	37.4	21.3	9.7
地区別	千代田中学校地区	214	31.8	35.0	28.5	4.7
	北中学校地区	196	37.2	34.7	20.9	7.1
	西中学校地区	200	34.5	37.5	20.5	7.5
	四街道中学校地区	230	38.7	33.5	25.2	2.6
	旭中学校地区	203	36.0	35.0	25.1	3.9

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

【イ ヤングケアラー※9】

「言葉も内容も知っている」が46.9%と最も多く、次いで「言葉も内容も知らない」が25.5%、「言葉は知っている、聞いたことがある」が22.7%となっています。

※9 ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているケアラーのうち、おおむね18歳未満の方（高校生を含む）。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「言葉も内容も知っている」が最も多く、特に20歳代が全体より14.8ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「言葉も内容も知っている」が最も多くなっています。

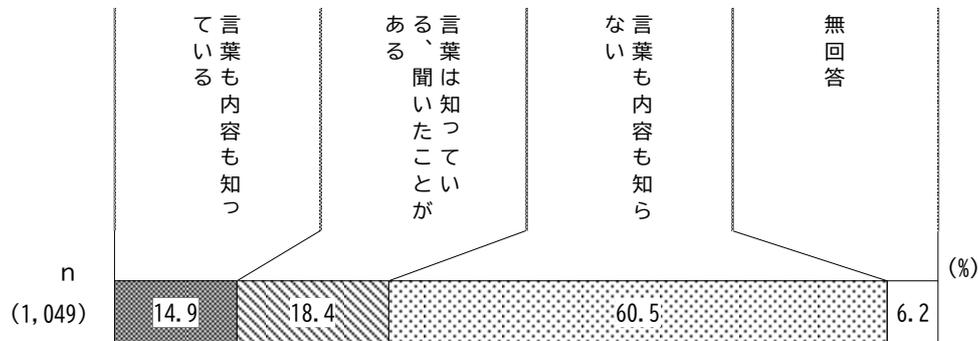
		回答数 (n)	知っている言葉も内容も	聞いたことがあ、言葉は知っている、	知らない言葉も内容も	無回答
		(単位:%)				
全体		1,049	46.9	22.7	25.5	4.9
年代別	10歳代	8	62.5	37.5	-	-
	20歳代	60	61.7	20.0	18.3	-
	30歳代	89	53.9	22.5	22.5	1.1
	40歳代	136	55.1	22.8	19.9	2.2
	50歳代	183	53.0	19.7	25.7	1.6
	60歳代	147	44.2	23.8	29.9	2.0
	70歳代以上	422	38.9	23.7	28.2	9.2
地区別	千代田中学校地区	214	42.5	23.4	29.9	4.2
	北中学校地区	196	48.0	25.0	21.4	5.6
	西中学校地区	200	46.5	23.0	22.5	8.0
	四街道中学校地区	230	50.4	21.7	24.3	3.5
	旭中学校地区	203	47.8	21.2	29.1	2.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

【ウ 若者ケアラー※10】

「言葉も活動内容も知らない」が60.5%と最も多く、次いで「言葉は知っている、聞いたことがある」が18.4%、「言葉も内容も知っている」が14.9%となっています。

※10 若者ケアラー：ケアラーのうち、18歳からおおむね40歳未満の方。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「言葉も内容も知らない」が最も多くなっています。20歳代では「言葉も内容も知っている」が全体より13.4ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「言葉も内容も知らない」が最も多くなっています。

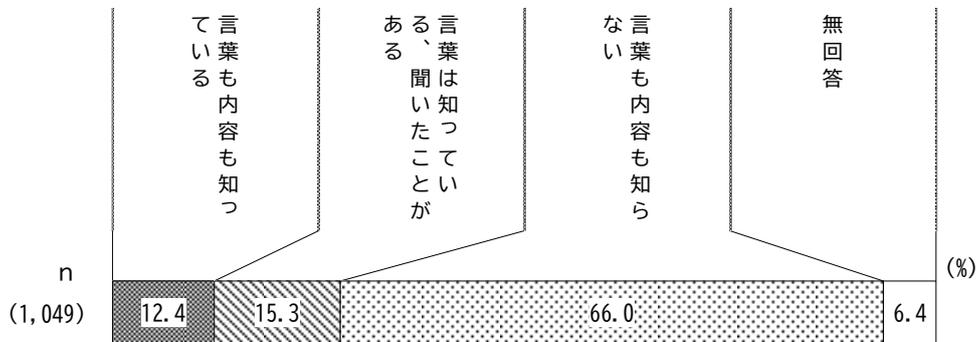
		回答数 (n)	言葉も内容も知っている	言葉は知っている、聞いたことがある	言葉も内容も知らない	無回答
(単位:%)						
全体		1,049	14.9	18.4	60.5	6.2
年代別	10歳代	8	-	12.5	75.0	12.5
	20歳代	60	28.3	16.7	55.0	-
	30歳代	89	21.3	19.1	58.4	1.1
	40歳代	136	19.1	15.4	63.2	2.2
	50歳代	183	17.5	15.3	65.6	1.6
	60歳代	147	12.9	23.8	61.2	2.0
	70歳代以上	422	10.2	19.0	58.5	12.3
地区別	千代田中学校地区	214	16.8	16.8	59.8	6.5
	北中学校地区	196	13.8	20.4	58.7	7.1
	西中学校地区	200	16.5	18.0	56.0	9.5
	四街道中学校地区	230	13.0	20.4	62.6	3.9
	旭中学校地区	203	14.8	16.7	65.5	3.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

【エ ビジネスケアラー※11】

「言葉も内容も知らない」が66.0%と最も多く、次いで「言葉は知っている、聞いたことがある」が15.3%、「言葉も内容も知っている」が12.4%となっています。

※11 ビジネスケアラー：仕事をしながら家族の介護など援助を提供する方。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「言葉も内容も知らない」が最も多く、特に50歳代が全体より5.0ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「言葉も内容も知らない」が最も多くなっています。

		回答数 (n)	言葉も内容も知っている	言葉は知っている、聞いたことがある	言葉も内容も知らない	無回答
(単位:%)						
全体		1,049	12.4	15.3	66.0	6.4
年代別	10歳代	8	-	12.5	75.0	12.5
	20歳代	60	20.0	16.7	63.3	-
	30歳代	89	15.7	20.2	62.9	1.1
	40歳代	136	16.2	12.5	69.1	2.2
	50歳代	183	13.7	13.1	71.0	2.2
	60歳代	147	11.6	19.0	67.3	2.0
	70歳代以上	422	9.5	14.5	63.5	12.6
地区別	千代田中学校地区	214	14.0	15.9	63.6	6.5
	北中学校地区	196	9.7	16.8	66.3	7.1
	西中学校地区	200	13.5	15.0	62.0	9.5
	四街道中学校地区	230	12.2	15.7	68.3	3.9
	旭中学校地区	203	12.8	13.3	70.0	3.9

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

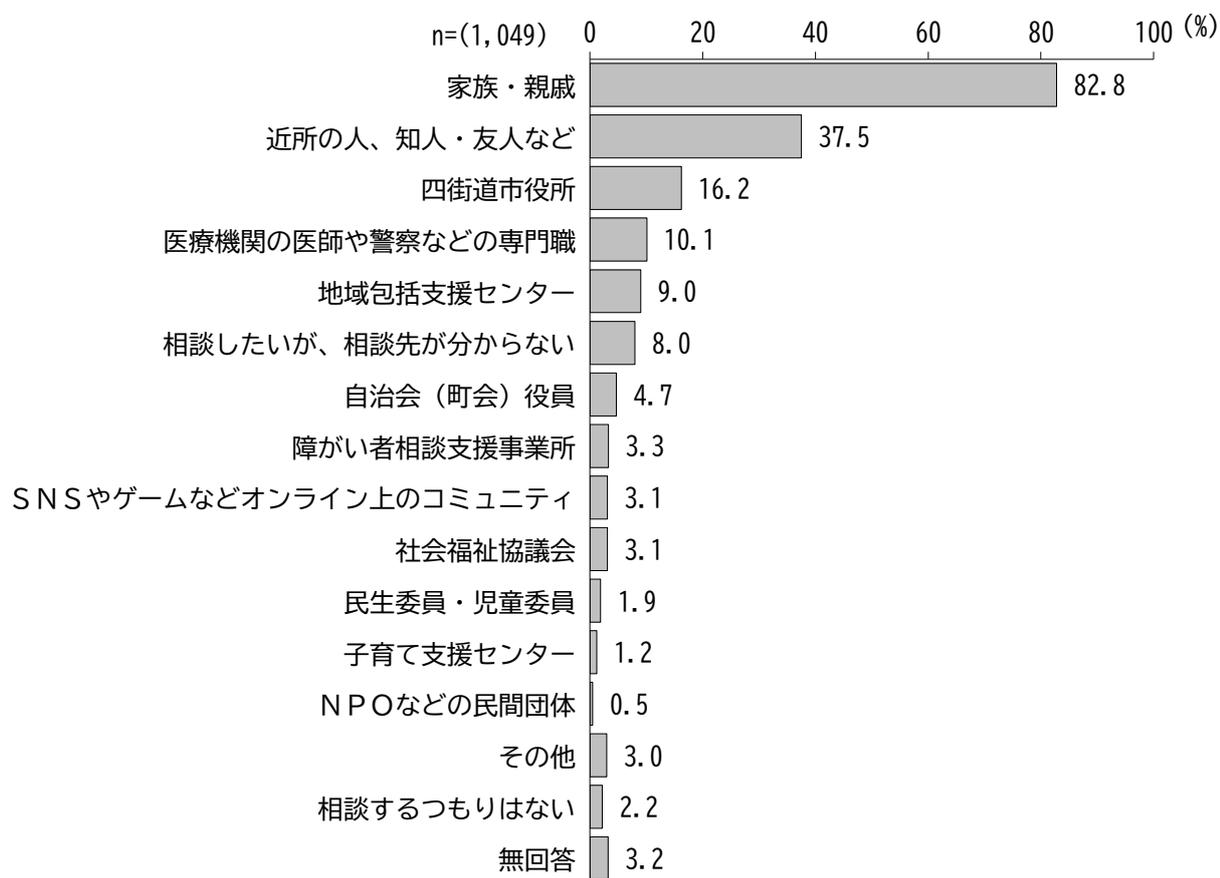
第2章 市民アンケート調査結果

■相談や助けが必要なときの相談先

問 26 あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

「家族・親戚」が82.8%と最も多く、次いで「近所の人・知人・友人など」が37.5%、「四街道市役所」が16.2%となっています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「家族・親戚」が最も多くなっています。20歳代では「近所の人、知人・友人など」が全体より14.2ポイント多いほか、「SNSやゲームなどオンライン上のコミュニティ」も全体より13.6ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「家族・親戚」が最も多くなっています。千代田中学校地区では「近所の人、知人・友人など」が全体より6.4ポイント多くなっています。

		回答数(n)	家族・親戚	近所の人、知人・友人など	四街道市役所	医療機関の医師や警察などの専門職	地域包括支援センター	自治会(町会)役員	障がい者相談支援事業所	SNSやゲームなどオンライン上のコミュニティ
(単位:%)										
全体		1,049	82.8	37.5	16.3	10.1	9.0	4.7	3.4	3.1
年代別	10歳代	8	87.5	62.5	-	12.5	12.5	-	12.5	-
	20歳代	60	90.0	51.7	6.7	3.3	1.7	-	3.3	16.7
	30歳代	89	87.6	41.6	9.1	5.6	-	1.1	4.5	4.5
	40歳代	136	86.0	50.7	10.5	8.8	1.5	0.7	2.3	7.4
	50歳代	183	81.4	40.4	13.9	8.7	7.2	3.3	3.3	2.7
	60歳代	147	80.3	29.3	20.4	10.9	11.6	3.4	4.1	1.4
	70歳代以上	422	81.8	31.8	20.8	12.8	14.1	8.5	3.1	0.2
地区別	千代田中学校地区	214	84.1	43.9	15.1	11.7	13.2	3.3	3.3	2.3
	北中学校地区	196	82.1	39.3	13.9	9.7	7.2	3.6	3.6	4.1
	西中学校地区	200	82.5	35.0	17.3	5.5	5.6	4.5	4.6	3.5
	四街道中学校地区	230	84.3	33.9	17.9	12.6	11.4	6.1	2.6	3.0
	旭中学校地区	203	82.8	36.5	16.9	10.8	7.0	5.9	3.0	2.5

		回答数(n)	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	子育て支援センター	NPOなどの民間団体	相談したいが、相談先が分からない	相談するつもりはない	その他	無回答
(単位:%)										
全体		1,049	3.1	1.9	1.2	0.5	8.0	3.0	2.2	3.2
年代別	10歳代	8	-	-	-	-	-	-	12.5	-
	20歳代	60	-	-	1.7	-	5.0	1.7	1.7	-
	30歳代	89	1.1	-	6.7	-	6.7	-	4.5	1.1
	40歳代	136	1.5	0.7	3.7	0.7	7.4	3.7	2.2	1.5
	50歳代	183	2.7	1.1	-	0.5	12.6	2.7	2.2	1.6
	60歳代	147	4.1	-	-	0.7	8.2	2.0	4.1	2.0
	70歳代以上	422	4.0	4.0	0.2	0.5	7.1	4.0	0.9	5.5
地区別	千代田中学校地区	214	5.1	2.3	2.3	0.5	6.5	2.8	3.3	2.3
	北中学校地区	196	2.0	2.0	1.5	-	8.7	0.5	2.0	3.6
	西中学校地区	200	3.5	2.5	0.5	0.5	9.5	1.5	1.5	6.0
	四街道中学校地区	230	2.6	2.2	0.4	0.9	7.8	3.9	0.9	1.7
	旭中学校地区	203	1.5	0.5	1.5	0.5	7.4	5.9	3.0	1.5

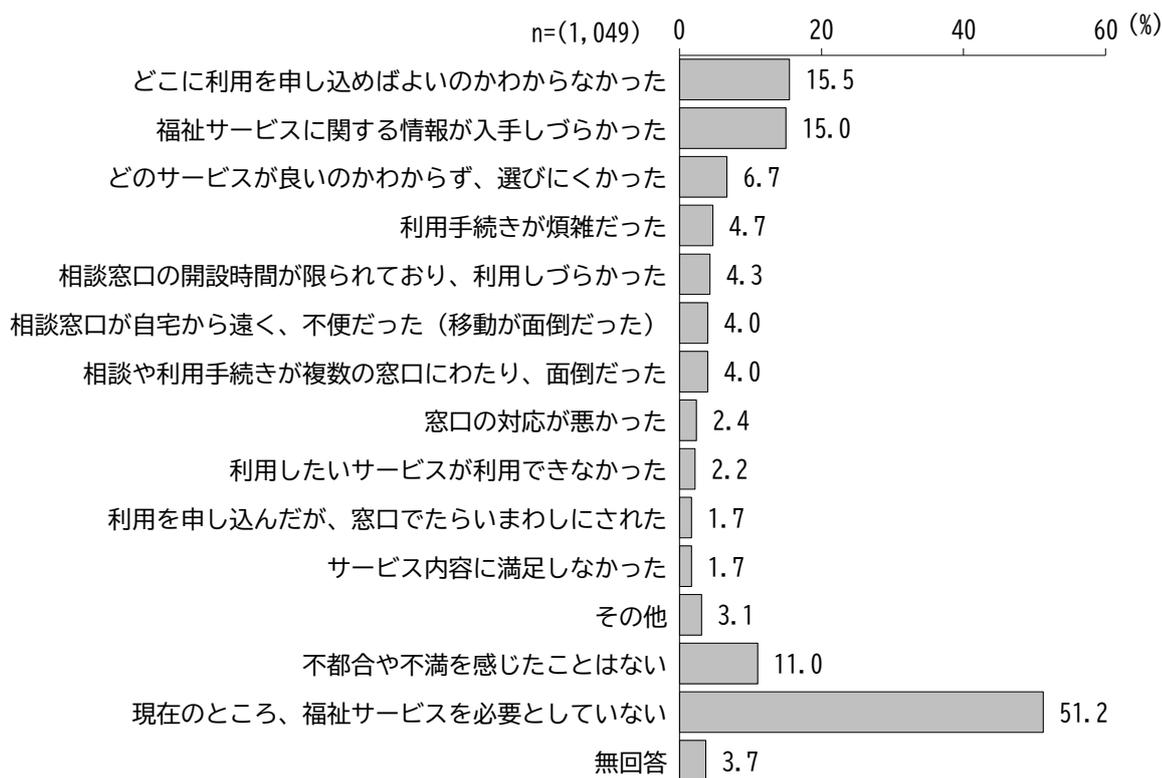
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■福祉サービスについて感じた不都合や課題

問 27 あなたやご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり、不満に思ったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が 15.5%、「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が 15.0%と多くなっています。一方、「現在のところ、福祉サービスを必要としていない」は 51.2%と最も多くなっています。



●クロス集計

年代別をみると、20歳代～30歳代では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が、40歳代～60歳代では「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が最も多くなっています。20歳代では「相談窓口の開設時間が限られており、利用しづらかった」が全体より5.7ポイント多くなっています。

地区別をみると、千代田中学校地区と旭中学校地区では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が最も多くなっています。旭中学校地区では「相談窓口が自宅から遠く、不便だった（移動が面倒だった）」が全体より5.4ポイント多くなっています。

	回答数 (n)	かどこから利用を申し込めばよいの	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった	サービスの良のかわからず、選びにくかった	利用手続きが煩雑だった	相談窓口の開設時間が限られており、利用しづらかった	相談窓口が自宅から遠く、不便だった（移動が面倒だった）	相談や利用手続きが複数の窓口	窓口の対応が悪かった	
		(単位:%)								
全体	1,049	15.5	15.0	6.6	4.7	4.3	4.0	4.0	2.4	
年代別	10歳代	8	12.5	12.5	-	-	-	-	-	
	20歳代	60	15.0	16.7	10.0	5.0	10.0	8.3	3.3	1.7
	30歳代	89	14.6	16.9	8.0	5.6	6.7	9.0	6.7	2.2
	40歳代	136	19.1	15.4	5.3	5.9	5.1	2.2	3.7	3.7
	50歳代	183	18.0	17.5	5.6	5.5	4.4	4.4	7.1	4.9
	60歳代	147	19.0	17.7	6.8	5.4	5.4	3.4	2.0	2.7
	70歳代以上	422	12.3	12.3	6.9	3.6	2.4	3.1	3.1	0.9
地区別	千代田中学校地区	214	15.0	15.9	7.1	3.7	3.3	3.3	4.7	3.3
	北中学校地区	196	20.4	17.3	5.7	4.1	3.1	3.1	3.6	3.1
	西中学校地区	200	16.0	14.5	9.2	5.0	2.5	1.0	3.5	1.0
	四街道中学校地区	230	10.4	10.4	3.5	5.2	7.4	3.5	3.5	2.6
	旭中学校地区	203	16.7	17.2	8.0	5.4	4.9	9.4	4.9	2.0

	回答数 (n)	な利用したいサービスが利用でき	ら利用を申し込んだが、窓口でた	サービス内容に満足しなかった	その他	い不都合や不満を感じたことはない	現在のところ、福祉サービスを必要としていない	無回答	
		(単位:%)							
全体	1,049	2.2	1.7	1.6	3.1	11.0	51.2	3.7	
年代別	10歳代	8	-	-	-	12.5	62.5	-	
	20歳代	60	5.0	-	-	13.3	50.0	-	
	30歳代	89	1.1	3.4	3.4	2.2	7.9	51.7	1.1
	40歳代	136	3.0	2.2	1.5	3.7	11.0	49.3	1.5
	50歳代	183	2.2	3.3	2.2	2.2	7.1	54.1	2.2
	60歳代	147	3.4	2.0	2.0	6.1	10.9	46.3	0.7
	70歳代以上	422	1.4	0.7	1.2	3.1	13.0	52.6	6.6
地区別	千代田中学校地区	214	1.4	2.3	1.4	3.7	11.2	50.9	4.2
	北中学校地区	196	2.1	2.0	1.0	1.5	12.8	48.5	3.1
	西中学校地区	200	2.6	1.0	1.0	3.5	11.5	49.5	6.0
	四街道中学校地区	230	3.1	1.3	2.6	3.5	10.4	55.7	2.2
	旭中学校地区	203	2.0	1.5	2.0	3.4	8.9	52.2	2.0

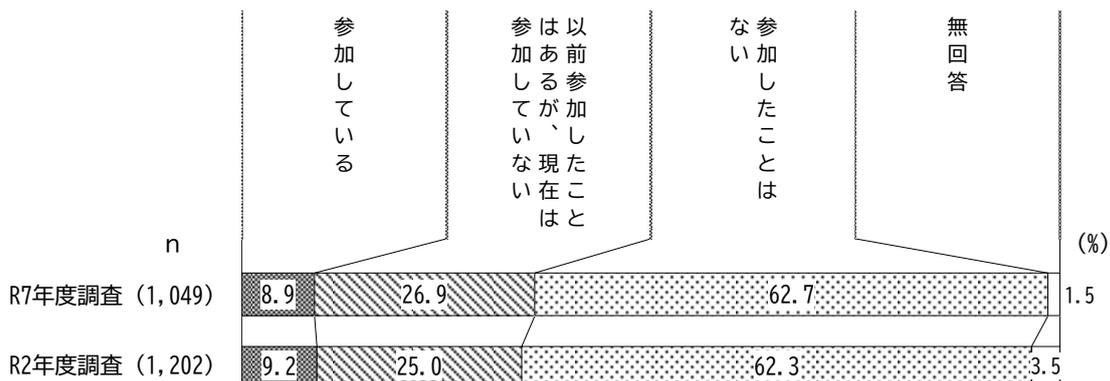
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

7. 「防災」について

■防災訓練の参加状況

問 28 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(1つだけ○)

「参加したことはない」が 62.7%と最も多く、次いで「以前参加したことはあるが、現在は参加していない」が 26.9%、「参加している」が 8.9%となっています。
 前回調査と比較すると、傾向に大きな変化はありません。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「参加したことはない」が最も多く、特に 20～50 歳代では全体より 10 ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「参加したことはない」が最も多く、特に旭中学校地区では全体より 5.3 ポイント多くなっています。北中学校地区では「参加している」が全体より 5.4 ポイント多くなっています。

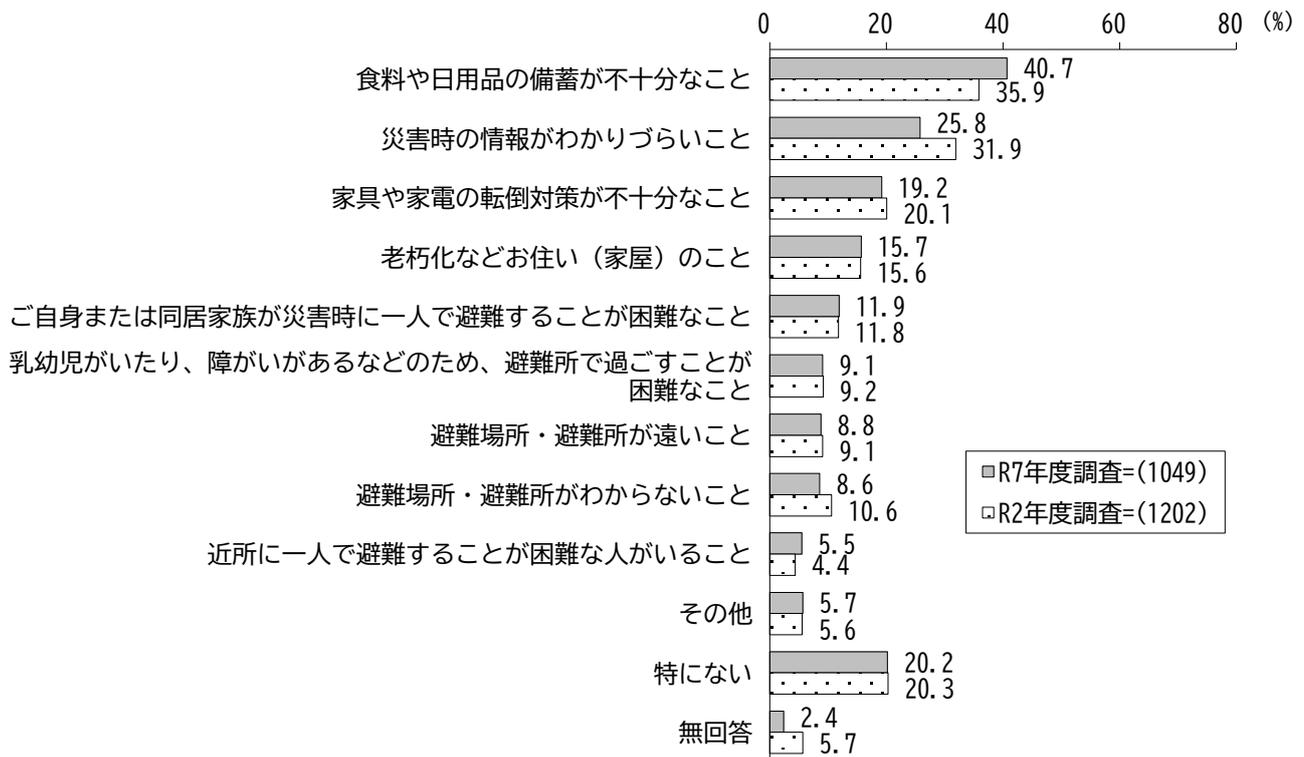
		回答数 (n)	参加している (%)	以前参加したことはあるが、現在は参加していない (%)	参加したことはない (%)	無回答 (%)
(単位:%)						
全 体		1,049	8.9	26.9	62.7	1.5
年 代 別	10歳代	8	-	50.0	50.0	-
	20歳代	60	-	20.0	80.0	-
	30歳代	89	7.9	9.0	82.0	1.1
	40歳代	136	3.7	12.5	83.1	0.7
	50歳代	183	4.9	19.7	75.4	-
	60歳代	147	11.6	27.9	59.9	0.7
	70歳代以上	422	12.8	38.6	46.0	2.6
地 区 別	千代田中学校地区	214	6.1	30.4	60.7	2.8
	北中学校地区	196	14.3	20.4	65.3	-
	西中学校地区	200	6.5	27.5	64.0	2.0
	四街道中学校地区	230	12.2	29.6	57.4	0.9
	旭中学校地区	203	5.4	25.6	68.0	1.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■災害時についての不安や心配事

問 29 災害時についての不安や心配事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」が40.7%と最も多く、次いで「災害時の情報がわかりづらいこと」が25.8%、「家具や家電の転倒対策が不十分なこと」が19.2%となっています。
 前回調査と比較すると、「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」が4.8ポイント多くなっています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」が最も多く、特に30～40歳代では全体より10ポイント以上多くなっています。30歳代では「乳幼児がいたり、障がいがあるなどのため、避難所で過ごすことが困難なこと」が全体より19.0ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」が最も多くなっています。また、北中学校地区では「ご自身または同居家族が災害時に一人で避難することが困難なこと」が全体より3.9ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	食料や日用品の備蓄が不十分なこと	災害時の情報がわかりづらいこと	家具や家電の転倒対策が不十分なこと	老朽化などお住い(家屋)のこと	ご自身または同居家族が災害時に一人で避難することが困難なこと	乳幼児がいたり、障がいがあるなどのため、避難所で過ごすことが困難なこと	避難場所・避難所が遠いこと	避難場所・避難所がわからないこと
(単位:%)										
全体		1,049	40.7	25.8	19.2	15.8	11.9	9.1	8.8	8.6
年代別	10歳代	8	25.0	-	12.5	-	12.5	12.5	12.5	12.5
	20歳代	60	40.0	21.7	21.7	3.3	6.7	13.3	1.7	18.3
	30歳代	89	50.6	22.5	14.6	10.2	16.9	28.1	6.7	12.4
	40歳代	136	52.2	25.7	23.5	11.3	10.3	11.8	2.2	12.5
	50歳代	183	46.4	27.3	21.3	11.1	13.1	6.6	8.2	5.5
	60歳代	147	38.8	27.9	17.0	14.3	9.5	6.8	8.2	10.9
	70歳代以上	422	33.4	26.5	18.5	23.2	12.3	5.5	12.8	5.7
地区別	千代田中学校地区	214	37.9	24.3	21.0	17	14.0	9.8	8.4	7.9
	北中学校地区	196	39.8	26.5	18.4	16.5	15.8	9.7	9.7	13.3
	西中学校地区	200	38.5	25.5	20.5	17.9	10.0	9.5	12.5	10.0
	四街道中学校地区	230	42.2	27.0	17.8	16.2	9.6	6.5	8.7	6.1
	旭中学校地区	203	44.8	26.1	18.7	11.9	9.9	9.9	4.4	5.9

		回答数 (n)	近所に一人で避難することが困難なこと	その他	特にない	無回答
(単位:%)						
全体		1,049	5.5	5.7	20.2	2.4
年代別	10歳代	8	-	-	50.0	-
	20歳代	60	-	10.0	23.3	-
	30歳代	89	2.2	6.7	18.0	1.1
	40歳代	136	2.2	8.8	15.4	-
	50歳代	183	6.0	8.7	22.4	1.1
	60歳代	147	4.8	4.1	18.4	-
	70歳代以上	422	8.3	3.1	21.1	4.7
地区別	千代田中学校地区	214	6.1	6.1	20.1	2.8
	北中学校地区	196	5.6	4.6	17.3	2.0
	西中学校地区	200	7.0	4.0	21.5	3.5
	四街道中学校地区	230	3.9	8.3	22.2	0.9
	旭中学校地区	203	5.4	5.4	19.7	2.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

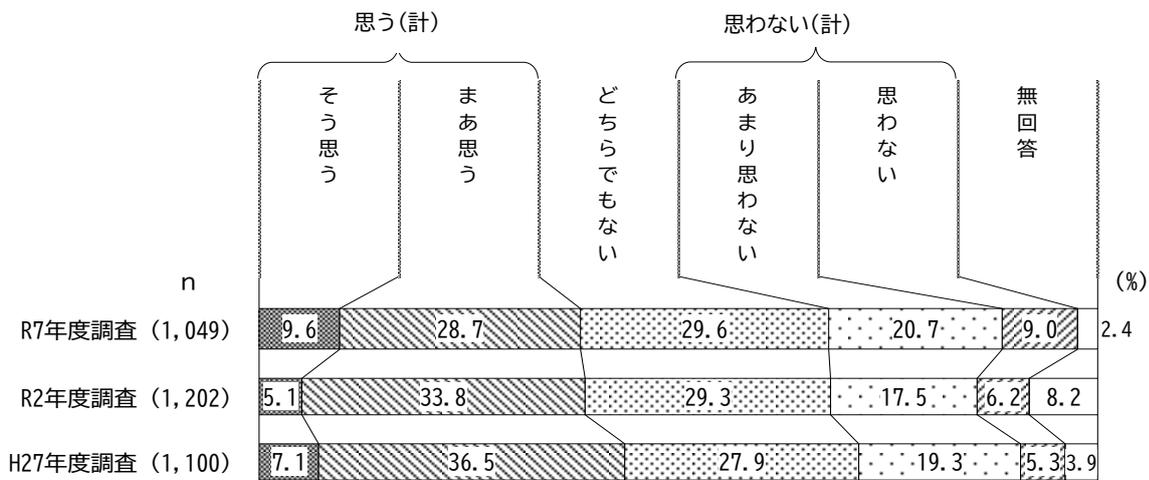
8. 「福祉全般」について

■地域での支え合いの現状

問 30 地域での支え合いの現状についてどう思いますか。(ア～エの項目ごとに1つだけ○)

【ア 住民同士のつながり・支え合いがある】

「まあ思う」が28.7%と最も多く、「そう思う」(9.6%)を合わせた“つながり・支え合いがあると思う”は38.3%となっています。また、「どちらでもない」は29.6%で、「あまり思わない」(20.7%)と「思わない」(9.0%)を合わせた“つながり・支え合いがあると思わない”は29.7%となっています。過去調査と比較すると、“つながり・支え合いがあると思わない”は6.0ポイント前回調査より多くなっています。



●クロス集計

年代別をみると、40歳代と70歳代以上では「まあ思う」が、それ以外の年代では「どちらでもない」が最も多くなっています。20歳代では「どちらでもない」が、全体より10.4ポイント多くなっています。

地区別をみると、西中学校地区と四街道中学校地区では「どちらでもない」が、それ以外の地区では「まあ思う」が最も多くなっています。

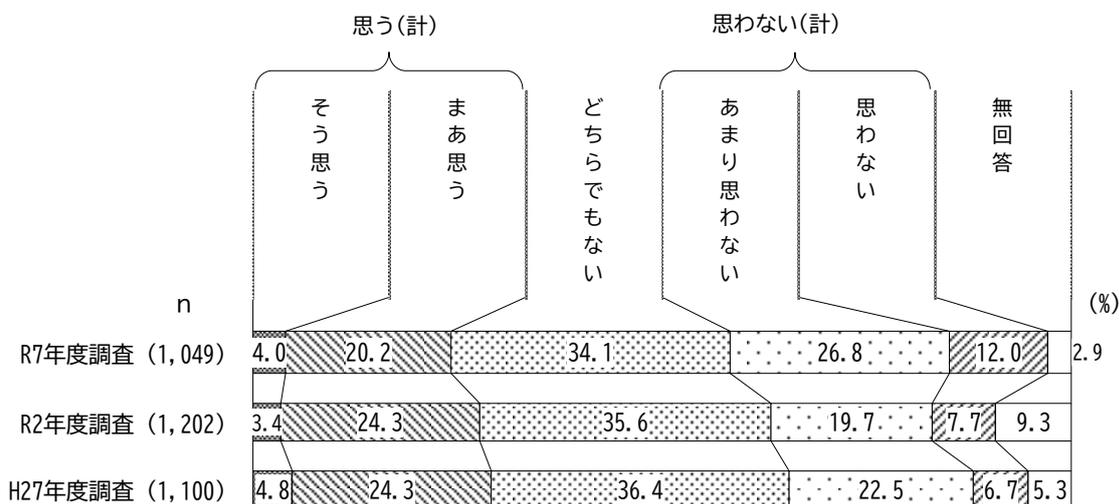
		回答数 (n)	そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	無回答
		(単位:%)						
全体		1,049	9.6	28.7	29.6	20.7	9.0	2.4
年代別	10歳代	8	25.0	50.0	12.5	12.5	-	-
	20歳代	60	11.7	26.7	40.0	13.3	8.3	-
	30歳代	89	5.6	19.1	34.8	21.3	18.0	1.1
	40歳代	136	5.1	29.4	26.5	29.4	9.6	-
	50歳代	183	5.5	25.1	36.1	25.1	8.2	-
	60歳代	147	8.8	32.0	34.0	16.3	8.2	0.7
	70歳代以上	422	13.3	30.8	24.2	18.7	7.8	5.2
地区別	千代田中学校地区	214	11.7	37.4	20.1	22.4	6.1	2.3
	北中学校地区	196	5.6	31.6	31.1	17.9	12.2	1.5
	西中学校地区	200	11.0	22.0	36.5	18.5	8.5	3.5
	四街道中学校地区	230	9.1	22.6	31.3	27.0	8.7	1.3
	旭中学校地区	203	10.3	31.0	29.6	17.2	8.9	3.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

【イ 地域で暮らしやすくなるよう、いろいろ取り組んでいる人が多い】

「どちらでもない」が34.1%と最も多く、「そう思う」(4.0%)と「まあ思う」(20.2%)を合わせた“取り組んでいる人が多いと思う”は24.2%となっています。また、「あまり思わない」(26.8%)と「思わない」(12.0%)を合わせた“取り組んでいる人が多いと思わない”は38.8%となっています。

過去調査と比較すると、“取り組んでいる人が多いと思わない”は11.4ポイント前回調査より多くなっています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「どちらでもない」が最も多く、特に20歳代では全体より9.2ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「どちらでもない」が最も多く、特に西中学校地区では全体より8.9ポイント多くなっています。

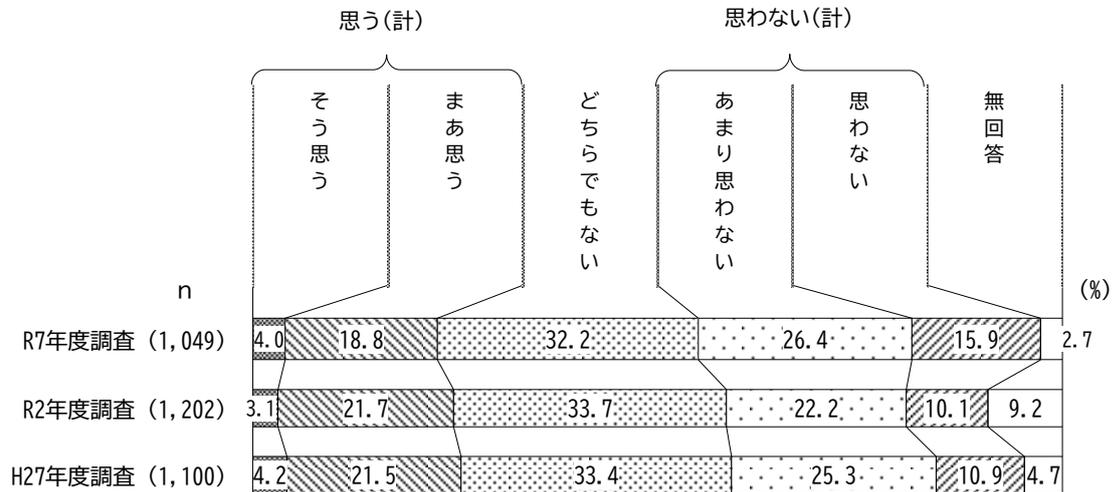
		回答数 (n)	そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	無回答
(単位:%)								
全体		1,049	4.0	20.2	34.1	26.8	12.0	2.9
年代別	10歳代	8	12.5	37.5	37.5	-	12.5	-
	20歳代	60	3.3	21.7	43.3	23.3	8.3	-
	30歳代	89	2.2	20.2	34.8	24.7	16.9	1.1
	40歳代	136	2.9	15.4	39.0	30.1	12.5	-
	50歳代	183	1.6	16.9	36.6	35.0	9.8	-
	60歳代	147	4.1	23.1	35.4	26.5	10.2	0.7
	70歳代以上	422	5.5	21.8	29.4	23.9	13.0	6.4
地区別	千代田中学校地区	214	4.7	21.0	32.2	31.3	7.9	2.8
	北中学校地区	196	3.1	18.4	30.6	28.1	17.9	2.0
	西中学校地区	200	2.5	15.5	43.0	24.0	11.0	4.0
	四街道中学校地区	230	4.3	19.1	37.0	25.2	12.6	1.7
	旭中学校地区	203	4.9	27.1	28.1	26.1	10.3	3.4

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

【ウ 困ったときには解決できるよう相談できる/助けてもらえる安心感がある】

「どちらでもない」が32.2%と最も多く、「そう思う」(4.0%)と「まあ思う」(18.8%)を合わせた“安心感があると思う”は22.8%となっています。また、「あまり思わない」(26.4%)と「思わない」(15.9%)を合わせた“安心感があると思わない”は42.3%となっています。

過去調査と比較すると、「安心感があると思わない」は10.0ポイント前回調査より多くなっています。



●クロス集計

年代別をみると、70歳代以上で「あまり思わない」が最も多く、それ以外の年代では「どちらでもない」が多く、特に20歳代では全体より9.5ポイント多くなっています。50歳代では「あまり思わない」が全体より6.4ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「どちらでもない」が最も多く、特に西中学校地区では全体より3.8ポイント多くなっています。

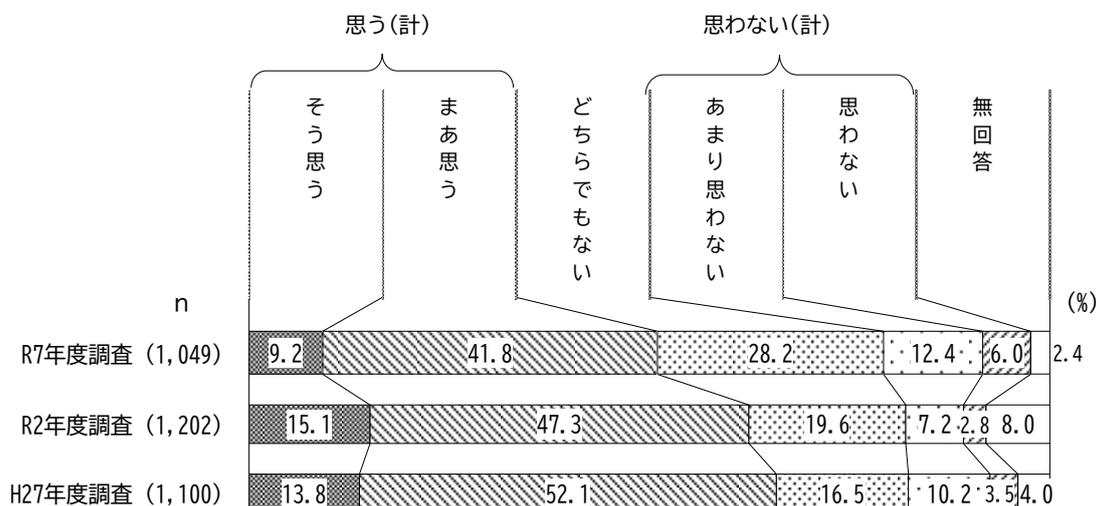
		回答数 (n)	そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	無回答
(単位:%)								
全体		1,049	4.0	18.8	32.2	26.4	15.9	2.7
年代別	10歳代	8	-	37.5	25.0	25.0	12.5	-
	20歳代	60	6.7	20.0	41.7	13.3	18.3	-
	30歳代	89	2.2	12.4	36.0	28.1	20.2	1.1
	40歳代	136	5.1	14.7	33.1	28.7	18.4	-
	50歳代	183	2.2	12.6	36.6	32.8	15.8	-
	60歳代	147	2.7	16.3	41.5	23.8	15.0	0.7
	70歳代以上	422	4.7	24.6	24.9	25.6	14.2	5.9
地区別	千代田中学校地区	214	4.2	22.0	31.8	26.6	12.6	2.8
	北中学校地区	196	2.6	21.4	28.1	25.0	20.9	2.0
	西中学校地区	200	4.0	15.0	36.0	26.5	15.0	3.5
	四街道中学校地区	230	3.0	17.0	34.8	29.6	13.9	1.7
	旭中学校地区	203	5.9	19.2	30.5	24.6	16.7	3.0

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

【工 暮らしている地域は安心・安全であると感じる】

「まあ思う」が41.8%と最も多く、「そう思う」(9.2%)を合わせた“安心・安全であると思う”は51.0%となっています。また、「どちらでもない」は28.2%で、「あまり思わない」(12.4%)と「思わない」(6.0%)を合わせた“安心・安全であると思わない”は18.4%となっています。

過去調査と比較すると、“安心・安全であると思う”は11.4ポイント前回調査より少なくなっています。



●クロス集計

年代別をみると、いずれの年齢層も「まあ思う」が最も多くなっています。50歳代では「どちらでもない」が全体より10.1ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「まあ思う」が最も多く、特に四街道中学校地区では全体より4.7ポイント多くなっています。西中学校地区では「どちらでもない」が全体より5.8ポイント多くなっています。

		回答数 (n)	そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	無回答
(単位:%)								
全体		1,049	9.2	41.8	28.2	12.4	6.0	2.4
年代別	10歳代	8	12.5	75.0	-	12.5	-	-
	20歳代	60	13.3	40.0	31.7	6.7	6.7	1.7
	30歳代	89	7.9	36.0	31.5	18.0	5.6	1.1
	40歳代	136	8.1	40.4	32.4	12.5	6.6	-
	50歳代	183	5.5	39.3	38.3	11.5	4.9	0.5
	60歳代	147	6.8	42.9	30.6	10.9	8.2	0.7
	70歳代以上	422	11.6	43.8	21.3	13.0	5.5	4.7
地区別	千代田中学校地区	214	11.2	46.7	22.4	14.0	3.3	2.3
	北中学校地区	196	7.7	34.7	30.1	15.3	10.2	2.0
	西中学校地区	200	9.0	38.0	34.0	10.5	5.0	3.5
	四街道中学校地区	230	8.3	46.5	27.8	9.6	6.5	1.3
	旭中学校地区	203	9.9	42.9	27.6	13.3	3.9	2.5

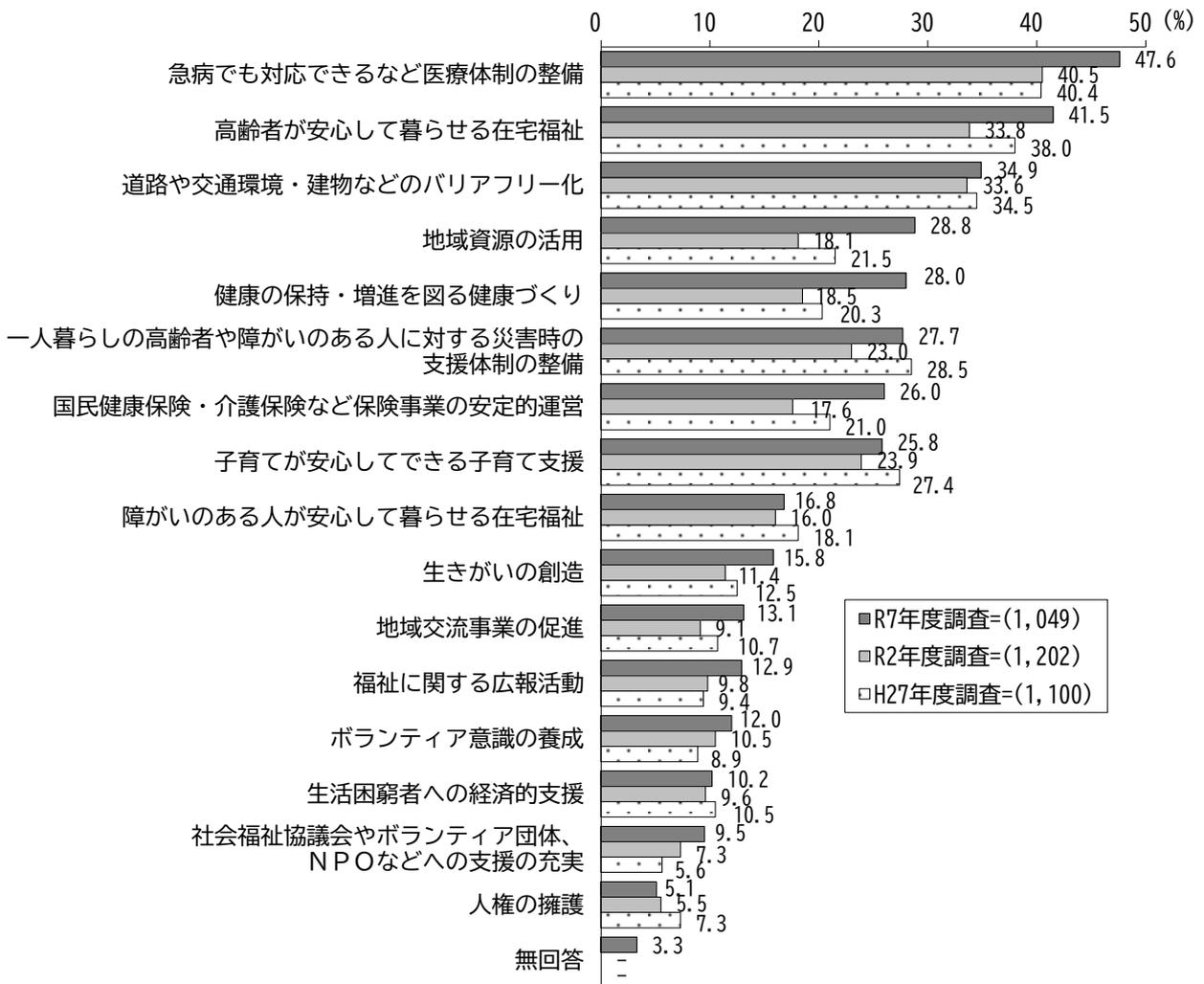
※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■福祉分野において力を入れるべき取り組み

問 31 福祉分野において、今後どのような取り組みに力を入れるべきと思いますか。
(主なものを5つまでに○)

「急病でも対応できるなど医療体制の整備」が47.6%と最も多く、次いで「高齢者が安心して暮らせる在宅福祉」が41.5%、「道路や交通環境・建物などのバリアフリー化」が34.9%となっています。

過去調査と比較すると、「地域資源の活用」は10.7ポイント、「健康の保持・増進を図る健康づくり」は9.5ポイント前回調査より多くなっています。



●クロス集計

年代別をみると、20歳代から40歳代では「子育てが安心してできる子育て支援」が、50歳代から60歳代では「急病でも対応できるなど医療体制の整備」が、70歳代以上では「高齢者が安心して暮らせる在宅福祉」が最も多く、特に20歳代から40歳代の「子育てが安心してできる子育て支援」では全体より20ポイント以上多くなっています。30歳代では「道路や交通環境・建物などのバリアフリー化」が全体より11.2ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれの地域も「急病でも対応できるなど医療体制の整備」と「高齢者が安心して暮らせる在宅福祉」が高い傾向となっています。

	回答数 (n)	急病でも対応できるなど医療体制の整備	高齢者が安心して暮らせる在宅福祉	道路や交通環境・建物などのバリアフリー化	地域資源の活用	健康の保持・増進を図る健康づくり	一人暮らしの高齢者や障がいのある人に対する災害時の支援体制の整備	国民健康保険・介護保険など保険事業の安定的運営	子育てが安心してできる子育て支援	障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉	
		(単位:%)									
全体	1,049	47.7	41.5	34.9	28.8	28.0	27.7	26.2	25.8	16.8	
年代別	10歳代	8	62.5	12.5	37.5	62.5	-	50.0	12.5	12.5	25.0
	20歳代	60	41.7	15.0	40.0	35.0	8.3	15.0	16.7	55.0	11.7
	30歳代	89	40.9	16.9	46.1	39.3	22.5	13.5	17.0	62.5	11.4
	40歳代	136	42.1	26.5	39.7	24.3	21.3	20.6	15.0	46.6	15.0
	50歳代	183	47.2	44.3	41.5	20.2	23.0	27.9	23.3	23.3	24.4
	60歳代	147	48.3	46.3	33.3	31.3	26.5	29.9	27.9	18.4	17.7
	70歳代以上	422	51.2	52.8	28.2	29.6	37.2	33.9	34.0	11.2	15.3
地区別	千代田中学校地区	214	51.4	45.3	37.9	27.6	28.0	26.2	25.9	25.0	16.0
	北中学校地区	196	43.8	43.9	32.7	29.1	26.5	32.7	26.8	25.8	18.0
	西中学校地区	200	48.5	38.0	32.5	23.5	30.0	26.5	28.1	23.5	15.8
	四街道中学校地区	230	50.2	37.0	32.2	32.2	27.0	25.7	26.6	29.3	15.7
	旭中学校地区	203	43.3	43.3	39.9	32.0	29.1	29.1	23.9	25.9	17.9

	回答数 (n)	生きがいの創造	地域交流事業の促進	福祉に関する広報活動	ボランティア意識の養成	生活困窮者への経済的支援	社会福祉協議会やボランティアなどへの支援の実体	人権の擁護	無回答
		(単位:%)							
全体	1,049	15.8	13.1	12.8	12.0	10.3	9.5	5.1	3.3
年代別	10歳代	8	12.5	12.5	-	12.5	-	25.0	-
	20歳代	60	20.0	15.0	10.0	8.3	6.7	3.3	10.0
	30歳代	89	10.1	13.5	6.8	9.0	10.2	5.6	2.3
	40歳代	136	14.7	14.7	6.8	12.5	9.8	5.9	6.8
	50歳代	183	12.0	8.2	9.4	12.6	12.8	10.4	2.8
	60歳代	147	19.7	14.3	17.7	18.4	12.2	7.5	5.4
	70歳代以上	422	17.1	13.5	16.5	10.4	9.6	13.0	5.0
地区別	千代田中学校地区	214	15.0	9.8	12.3	12.6	10.8	11.2	5.7
	北中学校地区	196	18.4	12.8	13.4	13.8	9.8	11.2	4.6
	西中学校地区	200	15.5	10.5	14.8	8.5	12.2	10.0	5.6
	四街道中学校地区	230	13.0	16.1	14.0	15.7	9.2	8.3	5.2
	旭中学校地区	203	16.7	15.8	10.0	9.4	9.5	7.4	4.5

※各年代別・地区別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

■自由意見

問 32 市民の皆さんが助け合い・支え合いながら、安心して暮らしていくためのまちづくりについて、ご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、ご自由にお書きください。



今後、安心して暮らしていくためのまちづくりについてのご意見やご要望、アイデアなどを自由に記述していただいたところ、272名から延べ353件のご意見をいただきました。

いただいたご意見を分類し、代表的なご意見を抜粋して以下に記載しました。

※意見は誤字・脱字、句読点等の修正のほか、意味が通じにくい部分は意見の趣旨を損なわない形で修正している場合がある。

◆行政・サービス等に関するご意見（58件）

- ・「地域福祉」は重要な事であると認識しております。しかし、行政や団体との連携が必要ですが、窓口が平日のみの運営ではとても不便です。市民のために役所が存在しているはずなのに、市民は仕事を休んで手続き等を行ななければなりません。土・日曜日の業務を望みます。
- ・交通網に関して不便には感じますが、福祉関係を含め、対策するための資金はかかると思います。その資金のために、税金等を上げられると正直厳しいとってしまいます。予算を抑えながらも実現出来る事を考えて頂けるとありがたいです。また、隣の市（千葉市等）との連携をもう少しとって頂けると暮らしやすくなる様に思います。
- ・自治会やご近所との繋がりは安心感を生むと思いますが、会費や仕事の負担感から脱会する方も増え、周りとの繋がりの希薄化を感じます。一方、外国籍の方も増加し、コミュニティが大きくなり過ぎて、他県、他市で起きている事が四街道市でもいずれ起きるのではと心配です。治安の問題は何事にも代えがたい、生活に直結する大切な基盤だと思っています。市民サービスもちろん、市役所としても治安の維持にも重きをおいて欲しいと思っています。
- ・困った事などを相談する窓口を一つにして、市民全員が利用できるよう電話番号などを知らせて欲しいです。ペーパーレスのためとはいえ、スマホやパソコン等の利用を出来て当たり前の様に高齢者に要求するのは困ります。

◆道路・交通環境に関するご意見（45件）

- ・駅の北口に比べて、南口の道路が歩行者も自転車も通行しづらいです。何十年も手を付けていないと感じます。改善を希望します。
- ・高齢になり、車の運転に不安を覚えますが、買い物、医者通いには車は必要です。バスは段々本数も減り、不便になってきています。交通事故のリスクを減らすためにも、小回りのきく交通手段を考えて欲しいです。
- ・道路や施設のバリアフリー化が進む事を願っています。
- ・お年寄りの危ない運転が多く困っています。自分も高齢になった場合、ここは徒歩圏内に店も無いし引っ越しを考えています。お年寄りが運転しないで駅や買い物に行けるように、本数が多い循環バスを運行して欲しいです。例えば、駅に車で行く用事がある人がアプリで同乗希望者を募ったり出来るといいと思います。
- ・安心して運転免許証を返納出来る公共交通機関の充実をお願いします。
- ・四街道市は地域が広いので大変と思いますが、私の住まいの地域も高齢者が多くなって来ているので、公共の交通機関が増えると良いと思います。健診も保険センターまでに行くのが不便です。

◆生活環境に関するご意見（43件）

- ・市内の夜間帯、街灯が暗く感じます。高齢者の人口が増えており、交通事故に遭遇しないためにも、ご検討ください。
- ・駐輪場や施設など、もっと多くの防犯カメラをつけてほしいです。
- ・高齢者が増えているので、停留所やお店のあるところに休める椅子を設置してもらえると大変助かります。歩く人は安心して出掛けやすくなります。
- ・最近、四街道市では空き巣や強盗があったり近所では不審者を見かけたりします。また公園で禁止行為をするルールを守らない外国人も見受けられます。ゴミのポイ捨ても見受けられます。基本中の基本である治安が良くなければ安心して暮らすことができません。治安が悪化しないように定期的な巡回や注意喚起があった方が良いでしょう。
- ・公園の整備があまりされていないところがあるように感じます。安全に利用するためにも定期的な草刈り等をしてほしいです。

◆地域でのふれあい・交流に関するご意見（35件）

- ・サークル活動を増やし、人々が集まれる様に、場所や道具を提供して欲しいです。
- ・高齢者や要介護の方々が増えていく中で、若い方達と日常的に楽しく関われる場所や集まれるイベント等、施設とは別の暮らしの中で、一緒に町で過ごせる様な「何か」があったらと思います。認知症などの方も増えてくるとと思いますが、そういう方々とも分け隔てない社会があったら良いと思います。
- ・ご近所の一人暮らしのお年寄りや若い世代などへの声掛け。まずはご近所さんとの繋がりが第一だと思います。
- ・コロナがあったために、皆で集まる機会がなくなり、人間関係が希薄になりました。若者や高齢者が外出しやすい環境づくりを市として積極的に活動や支援をして欲しいです。無料バスを四街道市全体にうまく運用して欲しいです。サークル活動に参加しやすい場所の提供や無料化。無料にすると参加する人が多くなると思います。
- ・友人やご近所の方々との交流の場として飲食店、カフェ等をもっと充実させて欲しいです。

◆地域での支え合いに関するご意見（33件）

- ・若い世帯が増え、町内会の活動がうまく回らなくなってきています（町内会を抜ける、定期的な活動への不参加）。助け合い、支え合い、安心して暮らせることから、どんどんかけ離れていく様な気がします。もっと積極的に活動してもらえる環境づくりが必要だと思います。
- ・地域での助け合い・支え合いの基盤は自治会活動が重要な位置を占めていると思います。自治会の活動内容の縮小、参加者の減少、退会者の増加、入会者の減少などが懸念されます。魅力的な活動を工夫されている自治会の様子を市の広報紙やホームページ等で積極的に紹介して欲しいと思います。
- ・災害の多い昨今、町内会の組織も崩れ始めたように思われます。もっと細かい単位での情報が必要だと思います。年に1～2回でもご近所に集まって細かい情報を共有しておく事は、災害時の救助にとっても役立つと思います。家族構成、家電、携帯電話、血液型、常用している薬、かかりつけの病院、寝ている部屋（1階又は2階（戸建の場合））、連絡すべき親族など。もちろん個人情報など問題もあると思いますが、信頼できる方に情報を提供しておくことも一案かと思えます。
- ・自治会の重要性、メリットが分かりません。そのため、入るご家庭が少ないと思います。

◆公共施設等に関するご意見（20件）

- ・子どもが急病（発熱等）で休日に病院にかかりたい時、四街道市の救急診療所（急病対応窓口）は開いておらず、印旛市郡急病診療所にかかりました。遠く、不便なため、四街道市で対応できる様にすべきだと思います。
- ・「わろうべの里」の様な施設を大日方面に作ってくれたら嬉しいです。市役所隣の児童センターと「わろうべの里」では、色々な面において差があり過ぎだと思います。
- ・四街道市は消防や警察署などの施設、医療機関、公共交通が不便すぎです。基本となる環境が整っていないので、助け合い、支え合いの前にそういうハード面をまず整備して欲しいです。
- ・子育て支援センターが古く、狭い所が多いと感じます。もっと広くして、綺麗なセンターを建設して欲しいです。また、予約をしないと行けなかったり、小学生以上じゃないと遊べないおもちゃばかりだったり制限が多いと感じます。

◆外国人移住者に関するご意見（18件）

- ・外国人の方が増えてきているので、相互理解を高める場を設けて欲しいです。イベント形式の様なもので、文化や食（料理）を体験してみたいです。
- ・最近、海外からの移住者が近所に多く、生活習慣の違い、規則を守れず困っています。移住者へ市から指導して頂きたいです。
- ・最近引っ越して来た方や外国の方が増えてきているように思うのですが、その新しい方々が自治会に入会しない様に見受けられます。以前の様に自治会活動を通して、お互い顔見知りになり、そこから安心安全なまちづくりや楽しさがあったのに、最近は何もこの人か分からず、挨拶もなし。また、外国の人とどの様に接すれば良いのか、どこの国の人なのかとても不安に思います。

◆情報提供に関するご意見（15件）

- ・四街道市のキャラクター達がT i k T o k等SNSで情報を発信するのはいかがでしょうか。
- ・広報や情報などLINEで送ってくれると見やすく、若い世代にも興味をもってもらえるかと思っています。
- ・スマホ等を持っていないので、情報が伝わりにくいです。
- ・「週いち貯筋体操」などの出前講座があることを最近知りました。もっとPR活動を大々的にやって知らせて欲しいです。積極的に動かない（自分から探しに行かない）人にも届く様に。

◆防災・災害対応に関するご意見（14件）

- ・街中に流れる市役所からののお知らせなどが大変聞きにくく、ほとんど内容が分かりません。災害時等も使うので、皆さんが聞ける様にして頂きたいと思います。
- ・災害時の避難所、教育環境として体育館へのエアコンの整備を急いでもらいたいです。災害時には停電が起こることも考えられるので、太陽光パネルと充電器の設置も合わせて実施してもらいたいです。
- ・ペットの同伴避難などにも力を入れて貰えると嬉しいです。

◆相談・窓口対応に関するご意見（11件）

- ・市内のスーパー（イトーヨーカドー、ヤオコー等）等に相談等のご意見・ご要望箱を設置して下さるとありがたいです。イトーヨーカドー等に出張サービスがあると良いと思います。市民の声を聞いて下さるとありがたいです
- ・市役所内の案内及び説明してくれている係の人の対応が冷たく感じます。もう少し温かい口調や態度は出来ませんか。役所関係は分からない事が多く、何度も教えて頂く事が多いと思いますが、温かく接して頂く事を望みます。
- ・市役所の土曜日開庁時の取り扱い業務を増やしてほしいです。転入転出、保育園の申請など。

◆障がい者支援に関するご意見（8件）

- ・障がい者が困った時はとりあえず、ここへ相談できるという、しっかりと一本化された相談できる所（しっかりと意見を言って下さる所）が是非欲しいです。
- ・障がい者を雇用してくれる企業や事務所を誘致して増やして欲しいです。
- ・四街道市では安心して通所できる支援施設や就職先が選べる程あるのでしょうか。四街道市には圧倒的に数が少なく、将来への不安が尽きません。

◆高齢者支援に関するご意見（8件）

- ・一人暮らしの高齢者の見回りの充実を望みます。
- ・後期高齢者がこの町で、健康で穏やかな心で過ごせるための取組がないと感じております。健康体操があると思い申し込んでも、少人数で参加出来たことはありません。高齢者が元気で一日でも長く在宅で過ごせる、体と心が持てるための施策をより多くして欲しいと思っています。

◆子ども・子育てに関するご意見（7件）

- ・子育て重視は大切と思いますが、無料ではなく、100円程の自己負担が必要ではないかと思っています。財源や医療費圧迫を考えると18歳まで延長されるかもしれませんが、将来のために「無料」が一部、無駄な支出に繋がっているのではないかと心配になります。
- ・長期休業中の学童保育が8時からでは困ります。学童が対応できないのであれば、地域や保護者が協力して、働きやすい環境を整えたいと思います。
- ・四街道市に住んでまだ半年ですが、子どもが生まれ、保育園探しが大変だと感じています。また、小学校までは大人の足で30分。道路がとても狭く交通量が多いため、まだ先ですが子どもひとりを通わせるのはとても不安です。歩道の整備やスクールバスなど期待しています。

◆民生委員に関するご意見（6件）

- ・民生委員はどの様にして選出されるのか全く分かりません。熱心に活動される方は非常に忙しいと聞きましたが、名ばかりの民生委員で全く活動していない方もおりました。民生委員が自治会で一人ではなく、数名いたら利用する側も気楽に声を掛けやすく、民生委員の方もお互いに仕事を分散する事が出来ると思います。
- ・一人暮らしをして3年になりますが、民生委員さんや福祉の方が訪ねて来られた事はありません。地区や班があるので、細かく一人暮らしの人の把握をしたら良いのにとお思います。困った時に連絡が出来るが良いですね。

◆全体的なまちづくりに関するご意見（5件）

- ・若い方々が活動出来る場の提供によって、町に、地域に活性化が生まれる施策を考えて欲しいです。住んでいて誇りを感じる生活を送りたいです。そのためになるなら参加したいと思います。空き商店街を若い方々に活用してもらおう事はできないか、など。
- ・美しが丘近隣公園が近年、荒れ放題です。四街道市として恥ずべき事と思います。
- ・公園や緑地の草刈りの頻度を増やして欲しいです。子ども達が遊べないだけでなく、見通しが悪く危険だなどと思う事が多々あります。

◆アンケートに関するご意見（5件）

- ・福祉について直面することもなく、生活してきました。アンケートの質問から、まだまだこれから改めて勉強し、考えていきたいと思っています。
- ・問題解決の手順、窓口や民生委員等へのアクセス方法を明示すべきと思います。単に知っているのかどうかの認知レベルのアンケートであり、今後の展開に不安があります。アンケートの設計段階で認識が不足しているように思います。

◆感謝・激励（4件）

- ・大変お世話になっております。本市のますますのご発展と、担当されている関係者の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。ありがとうございます。
- ・庭の手入れなど出来なくなり、安心して頼めるシルバー人材センターに依頼する事もあります。有難い事です。

◆その他（18件）

- ・年齢と共に将来への不安が増します。健康に年を取れるのが理想です。このまま暮らせますように。
- ・働ける人の活用を望みます（仕事、ボランティア等）。学校の部活の指導者をしたいと思っていますが、機会がありません。県に登録していますが全く進展しません。自分も60歳を過ぎるので、人がいないのであれば、素早く積極的に採用すれば、双方にとって良いことだと思うのですが。
- ・助け合い・支え合いの第一歩は「挨拶」だと思います。新興の住宅街では特に必要かと。大人も子どもも、人種も関係なく「挨拶」出来る様になれば、気持ち良く生活出来る様に思います。

第3章 団体アンケート調査結果

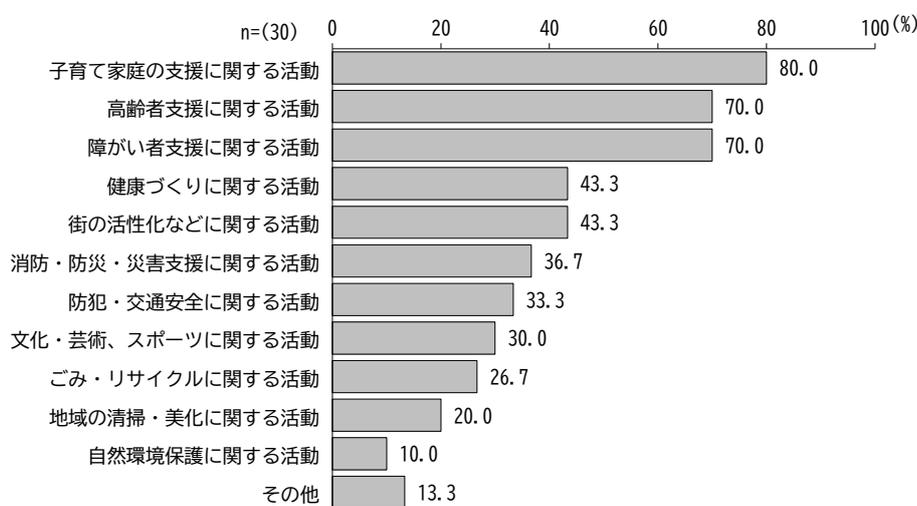
第3章 団体アンケート調査結果

1. 団体が行っている福祉に関する活動について

■主な活動分野

問3 ふだんの活動の中で、地域と一緒にやっていることや、地域に向けて行っている主な活動分野は、次のどれにあてはまりますか。(複数回答)

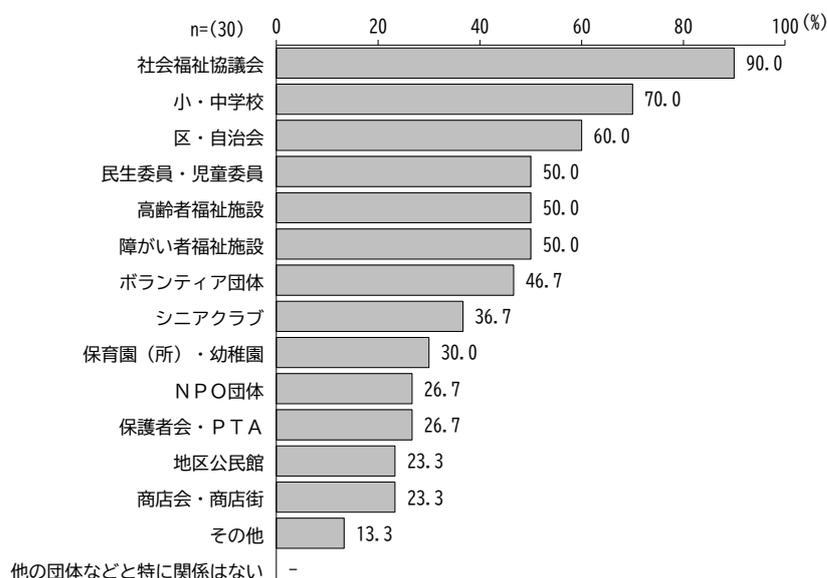
「子育て家庭の支援に関する活動」が80.0%と最も多く、次いで「高齢者支援に関する活動」と「障がい者支援に関する活動」がともに70.0%となっています。



■他団体との交流

問4 貴団体が活動を行う上で他のボランティア団体や公共団体などとの交流や協力関係がありますか。(複数回答)

「社会福祉協議会」が90.0%と最も多く、次いで「小・中学校」が70.0%となっています。

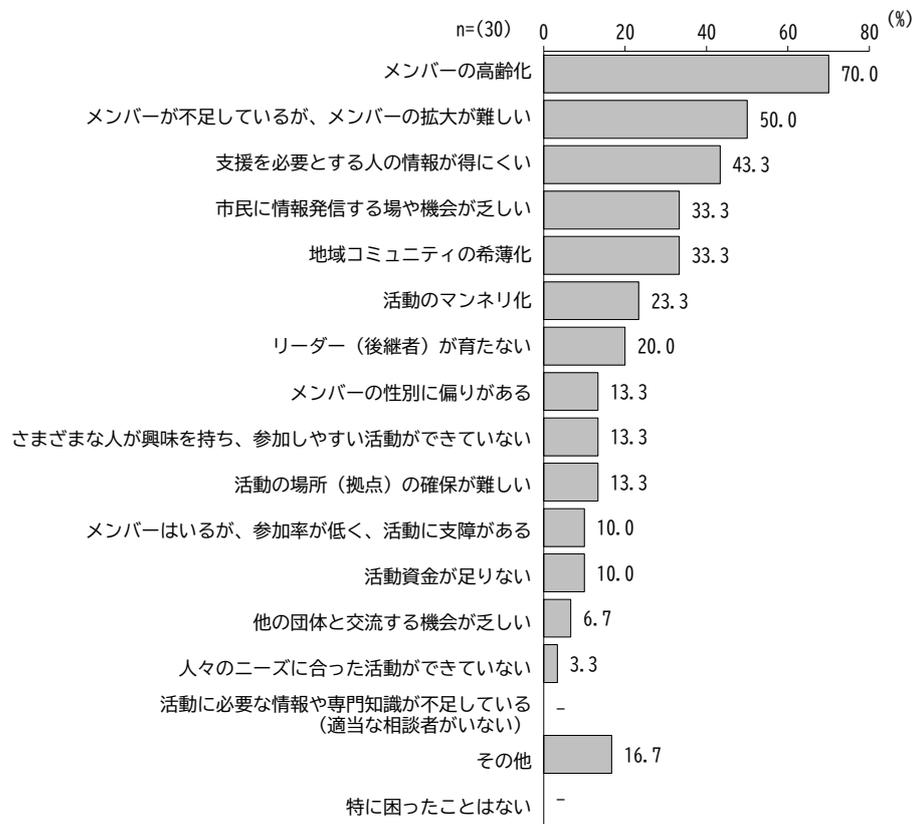


第3章 団体アンケート調査結果

■活動を行う上で困っていること

問5 現在、貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。(複数回答)

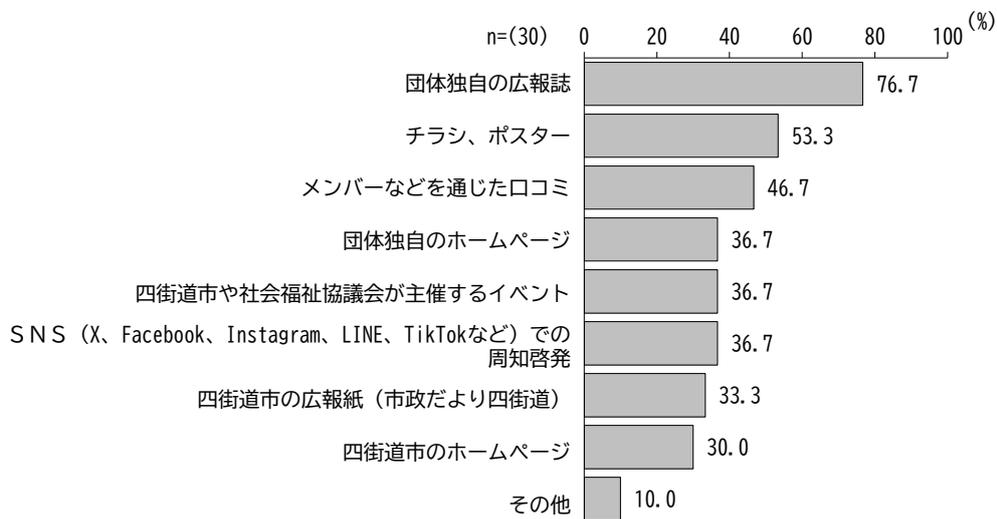
「メンバーの高齢化」が 70.0%と最も多く、次いで「メンバーが不足しているが、メンバーの拡大が難しい」が 50.0%となっています。



■活動情報の発信方法

問6 貴団体の活動情報は、どのようなものを通じて、発信されていますか。(複数回答)

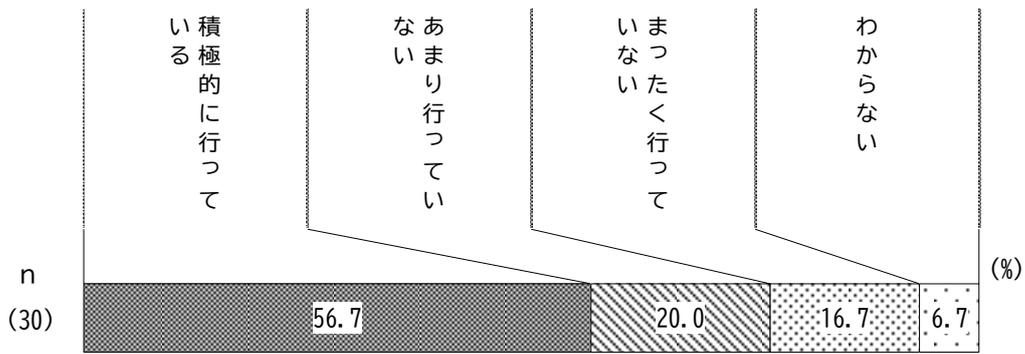
「団体独自の広報誌」が 76.7%と最も多く、次いで「チラシ・ポスター」が 53.3%となっています。



■新規メンバーの募集状況

問7 貴団体は、新規メンバーの募集は行っていますか。(単数回答)

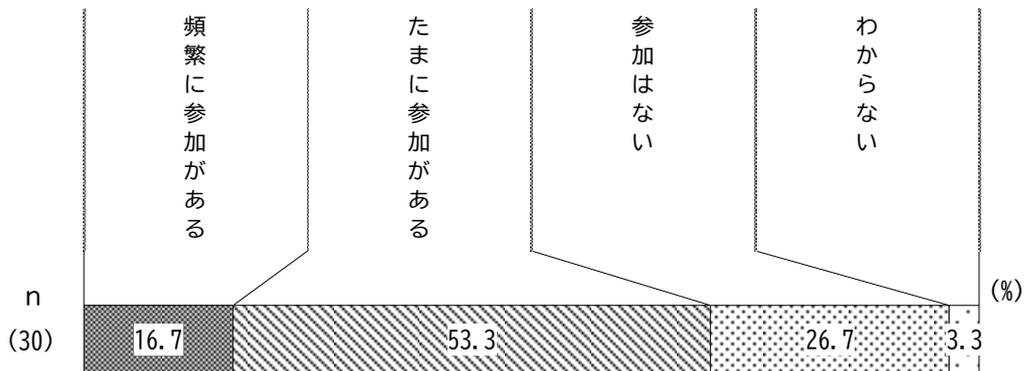
「積極的に行っている」が56.7%と最も多く、次いで「あまり行っていない」が20.0%となっています。



■市民の参加状況

問8 貴団体の活動に、市民の方が様子見として参加することはありますか。(単数回答)

「たまに参加がある」が53.3%と最も多く、次いで「参加はない」が26.7%となっています。

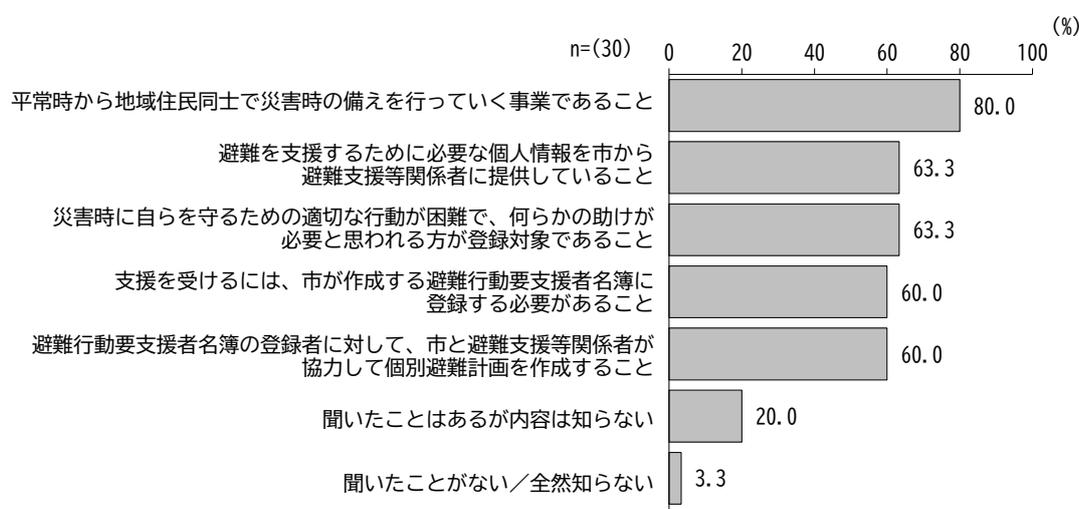


2. 災害時などの地域連携について

■「避難行動要支援者避難支援体制整備事業」の認知度

問9 「避難行動要支援者避難支援体制整備事業」について、知っていることはありますか。
(複数回答)

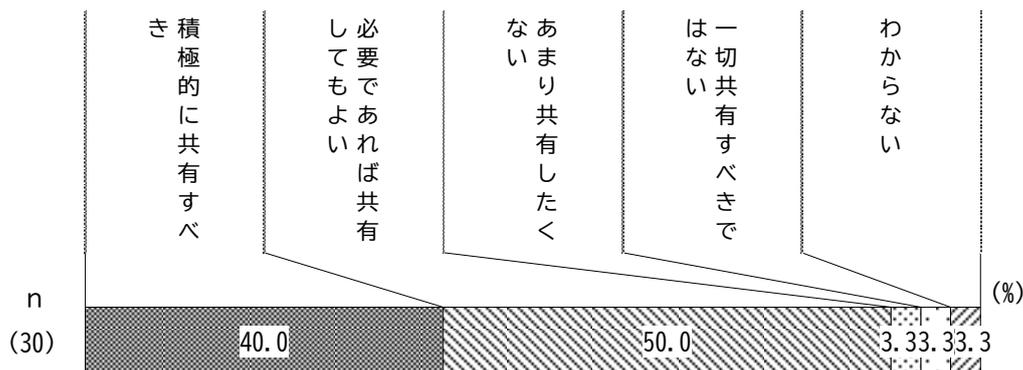
「平常時から地域住民同士で災害時の備えを行っていく事業であること」が 80.0%と最も多く、次いで「避難を支援するために必要な個人情報を市から避難支援等関係者に提供していること」と「災害時に自らを守るための適切な行動が困難で、何らかの助けが必要と思われる方が登録対象であること」がともに 63.3%となっています。「聞いたことはあるが内容は知らない」(20.0%)と「聞いたことがない／全然知らない」(3.3%)を合わせた“知らない”は 23.3%となっています。



■個人情報の共有についての考え

問10 貴団体では、災害時の支援や孤独死・孤立死の防止などのために、区・自治会などを単位として支援が必要な方の個人情報を共有することについて、どのように思いますか。(単数回答)

「必要であれば共有してもよい」が 50.0%と最も多く、次いで「積極的に共有すべき」が 40.0%となっています。

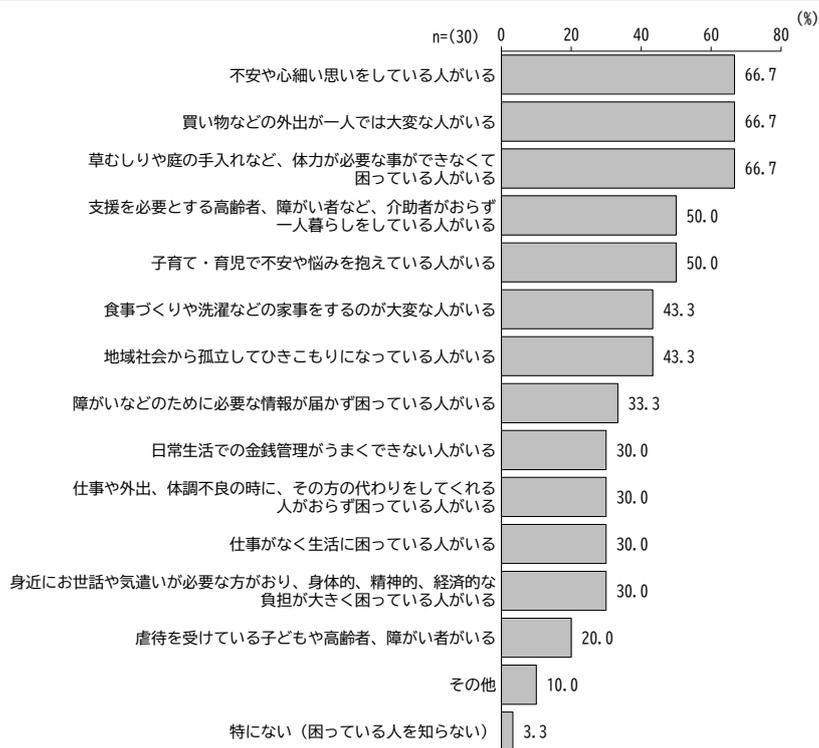


3. 団体が活動する地域について

■地域の人の日常生活の困りごと

問 11 地域の人が日常生活で困っていることには、どのようなことがありますか。(複数回答)

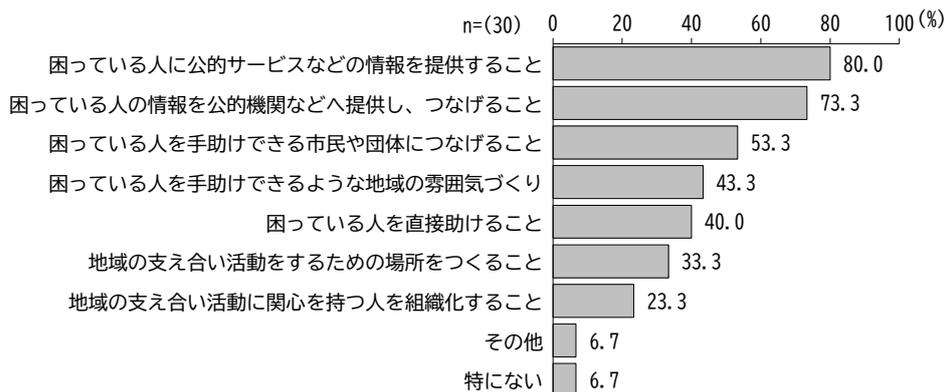
「不安や心細い思いをしている人がいる」、「買い物などの外出が一人では大変な人がいる」、「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている人がいる」がともに 66.7%と最も多くなっています。次いで「支援を必要とする高齢者、障がい者など、介助者がおらず一人暮らしをしている人がいる」、「子育て・育児で不安や悩みを抱えている人がいる」がともに 50.0%となっています。



■日常生活の困りごとに対する対応

問 12 日常生活で困っている人がいた場合、貴団体ではどのようなことをしていますか。また、貴団体の活動として対応できるものはありますか。(複数回答)

「困っている人に公的サービスなどの情報を提供すること」が 80.0%と最も多く、次いで「困っている人の情報を公的機関などへ提供し、つなげること」が 73.3%となっています。

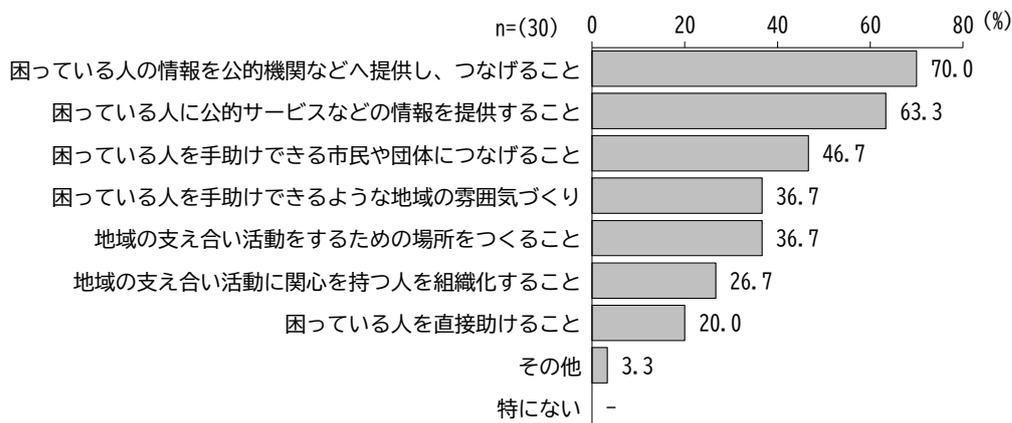


第3章 団体アンケート調査結果

■日常生活の困りごとについてできるようになれば良いと思うこと

問 13 日常生活で困っている人がいた場合、貴団体ではどのようなことができるようになればより良いと思いますか。(複数回答/主なもの3つまでに○)

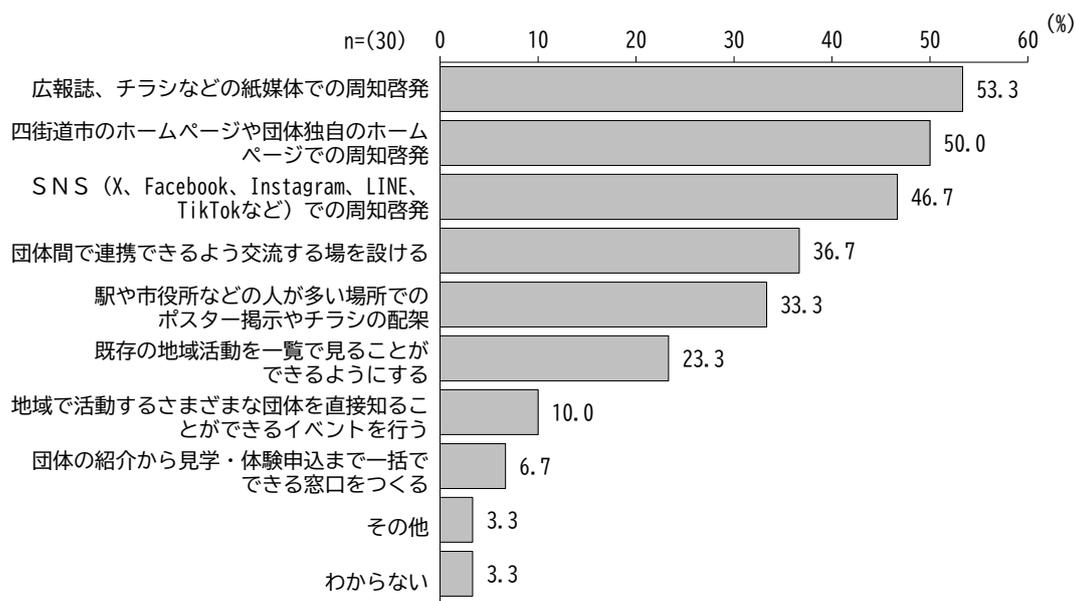
「困っている人の情報を公的機関などへ提供し、つなげること」が70.0%と最も多く、次いで「困っている人に公的サービスなどの情報を提供すること」が63.3%となっています。



■地域での活動が活性化するために必要だと思うこと

問 14 地域での活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。(複数回答/主なもの3つまでに○)

「広報誌、チラシなどの紙媒体での周知啓発」が53.3%と最も多く、次いで「四街道市のホームページや団体独自のホームページでの周知啓発」が50.0%となっています。



問 15 貴団体が活動するうえで、他の団体に協力してほしいことはありますか。ご自由にお書きください。(自由回答)

- ・ 民生委員・児童委員の高齢化に伴い退任者が多数おります。委員をやって頂く方には感謝しておりますが、現在の状況から後任者を探すのが非常に難しいところです。各自治体等をお願いしているところではありますが、地区により温度差が違いなかなか進捗しません。更なる行政や各団体の協力を願えればと思います。
- ・ 現状のままでまあまあ満足している。
- ・ 旭中地区は地区民児協、自治会、地区社協による三者協働のサロンを開催していますが、永く続けるため、又、マンネリ化しないために、いろいろな団体の方に関わっていただきたい。
- ・ 現在は「赤十字幼児安全法」講習会が年3回行われますがその時の子守りのお手伝いをしていただける方が欲しいです。
- ・ ボランティアスタッフの高齢化などによる減少に対する継続的確保の協力を求める。
- ・ 人材の協力。広報啓発。イベント、事業の協力。
- ・ 心身に障がいがある方で、家から外へ出れないでいる人を当法人に紹介してほしい。
- ・ 市内における当団体の直接的活動は、外国籍市民を対象とする「日本語学習支援」「多言語翻訳（教育委員会・クリーンセンター・みんなで課等）」を通しての「市の情報へのアクセス支援」であるが、更に日本人市民との間で「触媒的役割」をはたすことで、良い「交流・多文化共生」が育まれる様、願い活動している。そのために、区・自治会と連携できればと考えている。
- ・ 子育て支援として読み聞かせ活動を行うように県連盟から指示がきている。活動の場を探しているので、子どもへの支援活動をしている団体さんを知りたい。
- ・ 保護司は、法務大臣から委嘱を受け、犯罪や非行をした人たちと定期的に面接を行い、更生を図るための約束事（遵守事項）を守るよう指導するとともに、生活上の助言や就労の手助け等を行っているので、他の団体から協力を受けることはありません。

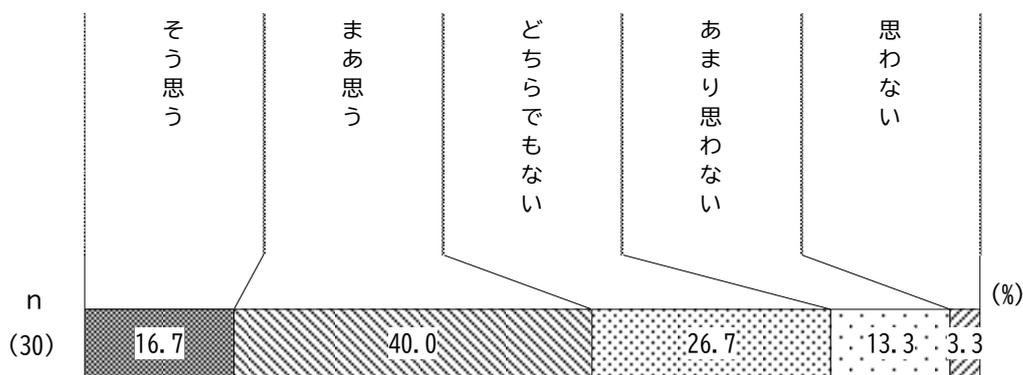
4. 四街道市の現状について

■地域での支え合いの現状についての考え

問 16 四街道市の地域での支え合いの現状についてどう思われますか。(単数回答)

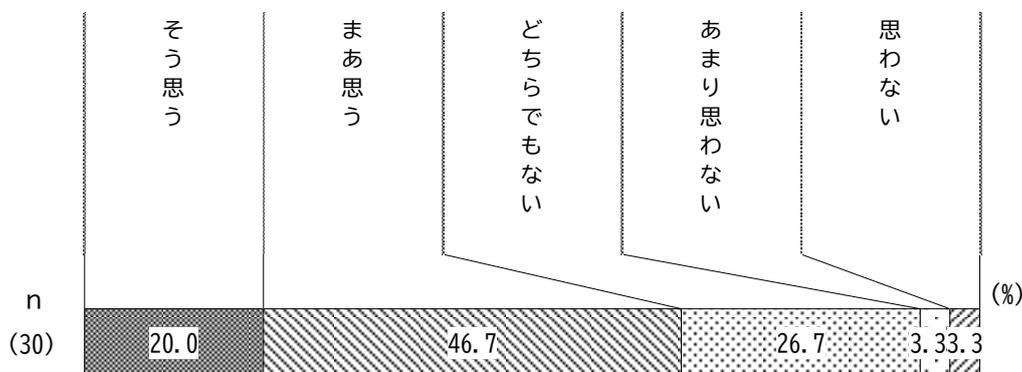
【ア 住民同士のつながり・支え合いがある】

「まあ思う」が40.0%と最も多く、「そう思う」(16.7%)を合わせた“つながり・支え合いがあると思う”は56.7%となっています。また、「どちらでもない」は26.7%で、「あまり思わない」(13.3%)と「思わない」(3.3%)を合わせた“つながり・支え合いがあると思わない”は16.6%となっています。



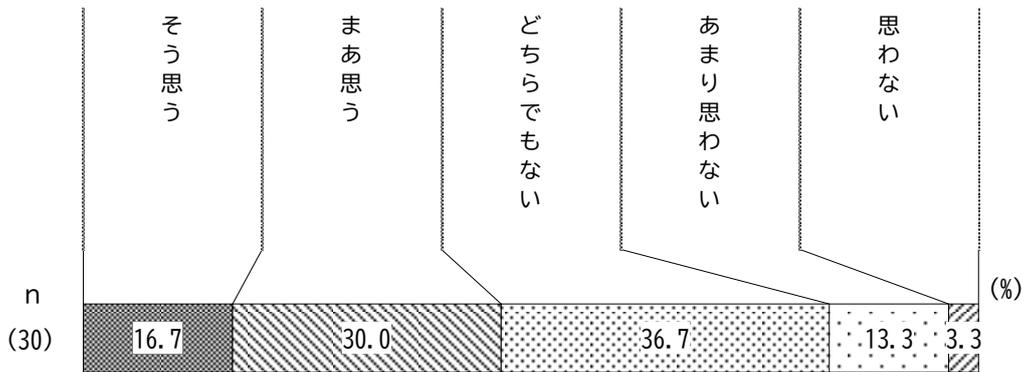
【イ 地域で暮らしやすくなるよう、いろいろ取り組んでいる人が多い】

「まあ思う」が46.7%と最も多く、「そう思う」(20.0%)を合わせた“取り組んでいる人が多いと思う”は66.7%となっています。また、「どちらでもない」は26.7%で、「あまり思わない」(3.3%)と「思わない」(3.3%)を合わせた“取り組んでいる人が多いと思わない”は6.6%となっています。



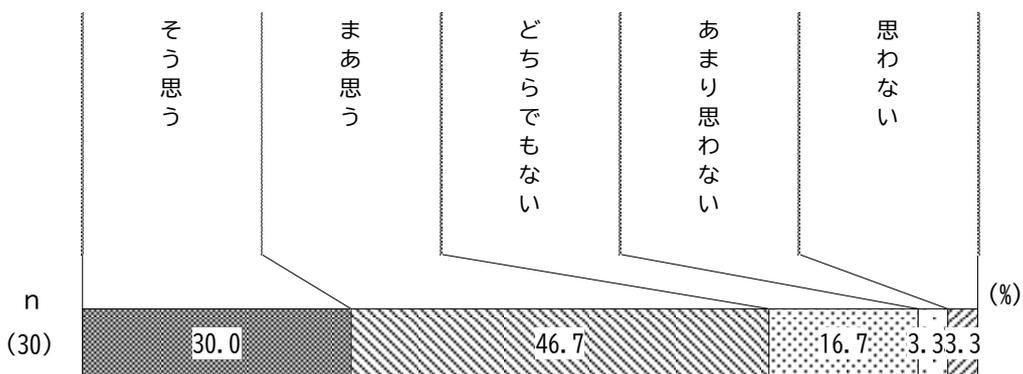
【ウ 困ったときには、解決できるよう相談できる／助けてもらえる安心感がある】

「どちらでもない」が36.7%と最も多く、「まあ思う」(30.0%)と「そう思う」(16.7%)を合わせた“安心感があると思う”は46.7%となっています。また、「あまり思わない」(13.3%)と「思わない」(3.3%)を合わせた“安心感があると思わない”は16.6%となっています。



【エ 暮らしている地域は安心・安全であると感じる】

「まあ思う」が46.7%と最も多く、「そう思う」(30.0%)を合わせた“安心・安全であると感じると思う”は76.7%となっています。また、「どちらでもない」は16.7%で、「あまり思わない」(3.3%)と「思わない」(3.3%)を合わせた“安心・安全であると感じると思わない”は6.6%となっています。



問 17 貴団体の活動に関することで、四街道市に対してご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください。(自由回答)

- ・日頃の活動や過去の実績をもとに、行政として偏らず様々な事を判断して欲しい。
- ・必要な人が団体と繋がりやすいよう、一つにまとめて団体紹介したらどうか。団体同士がつながる場の提供と取りまとめ。イベントの共有などをし、それぞれに良いと思うイベントは参加したりなどできたら嬉しい。ボランティア団体なので、市としても必要な活動と思ってくださるなら、困り事を解決するサポートをしてもらえたら嬉しいです。
- ・市との連携が難しい。対応してくれる人によって物事の進み方がだいぶちがう。公平性といいながら損得感情がでている人もいるので人によって良くも悪くもなる事業があることがなやみです。
- ・市は制度外の仕事（市民に対する福祉的支援）を広めようという意識があるのかという点が気になる。真剣に取り組む姿勢なのだとしたら、金銭的にもマンパワー的にも支援が足りないと思う。現在、たすけあい活動（制度外の在宅支援）を行っている中で苦勞してることは、とにかく担い手不足。需要（利用希望）はさまざまあるが、担い手がないため、ほとんどを引き受けることができていない。担い手を増やすための方策を考えているが、この時世、最低賃金以下の謝礼という名の活動費で活動に参加しようという人はもうほとんど（絶対とはいわないけど）現れないと感じる。従来少額の金銭、謝礼で住民同士がたすけあう仕組みは成立させるのは困難と思う。それでも、行政側（市）がたすけあいのしくみを盛り上げたい、活用したいということだったら、現在市内で活動している団体を集約、再編する形で市が新たな組織を立ち上げるしかないのでは？と思ったりする。（私個人の考えです。）在宅支援活動をしている中でサービスの依頼の内容で、どんどん増えていることを実感するのが、買い物支援（同行・代行）と通院同行。数々の依頼の問い合わせを受けているが、ヘルパー不足のためほとんど引き受けることができていない。このあたりのことで、たすけあいのしくみの活用とともに、行政と民間（食料品店・衣料品店・ショッピングセンター・ホームセンター等及び医療機関）とのなんらかの連携を積極的に検討してもらえたらと思う。買い物や通院の介助について必要な支援の要素を精査・分析して支援の内容を分業化したり、集約したりなどで支援の形として成立するといったと思う。
- ・6地区社会福祉協議会の中で西中A地区社会福祉協議会には拠点がありません。数年希望しておりますが、なかなか進みません。子どもとの交流を兼ねて四街道小学校内や四街道公民館に作っていただけたらと思っています。是非よろしく願いいたします。
- ・民生委員のなり手が無いと全国的な問題になっています。普段から市政だより等で民生委員の活動PRをお願いします。一斉改選時のかなり早い段階で他市では民生委員の特集を組んで広報誌の発行などを行っています。次期改選時には考慮願います。
- ・民生委員活動がスムーズに行えるよう、事務局の一層の協力をお願いします。
- ・困っている家庭（高齢者）には、ほとんどの方がヘルパーさんが入っています。私達よりも本人に対して知っていることが多いので3カ月に1回でも良いので情報を共有できたらいいなと思っています。（市に対してなのかわかりませんが）
- ・市民後見人養成講座の企画・開催。
- ・赤十字献血活動の場が市役所に欲しいです。
- ・①行政から地区社協に配分される補助金を広く使用したいので用途制限を緩和していただきたい。②市主催又は市からの講師派遣で、少人数対象でスマホ操作講座の開催を希望する。なぜ

なら、FacebookなどSNSを通じて情報提供しようとしても、これらに会員登録（アカウント登録）できない高齢者が多く、買物難民対策としてもネットスーパーなどの利用方法など、ある程度ネットが使えるように個人指導できるようにしたい。③わろうべの里においてWi-Fiを利用した事業活動を行う場合、2階の各部屋まで電波が届いていないため利用できません。今後5Gの普及が拡大すればさらにこの傾向が強くなると思いますので、各事業者に働きかけるなど対応をお願いします。

- ・メンバー不足が続いています。学区ごとの各地区からの区長推薦をしていますが人数が集まらない現状にあるので、緩和しつつ、学区ごとに規定人数が集まることを願っています。
- ・市内中学校5校はそれぞれ制服が違いますが、男子学生服は北中を除く4校が標準学生服（学ラン）、女子は四街道中、旭中、千代田中が同じスカートを使用しています。これはおゆずりやリユースをする機会を広くします。しかし、今年度は西中が変更し、次年度は旭中が変更予定、千代田中も検討していると聞いています。種類が増えることはおゆずりできる先が減り、リユースの機会が減り、処分しなくてはならない制服が増えるということです。また、在庫管理も煩雑になり、当団体も活動を制限せざるを得なくなり、支援できる家庭が減ります。ジェンダー対応で制服を変更するのは良いと思いますが、クールビズ対応でそもそも着る機会が減っている制服を学校ごとに違うデザインにする必要があるのでしょうか。現在、男子4校が同じ制服ですが、困っていることはありますか。制服が必要かどうかも含めた在り方もですが、市内統一の制服を取り入れている自治体が増えています。市立の中学校が制服を着ることを前提としているのであれば、学校やPTAに任せるだけでは無く、積極的に関わって欲しいと考えます。制服をリユースするだけの活動ですが、「子育て支援」、「廃棄物対策」、「生活困窮世帯の支援」とSDGsにも関連する市の政策に多岐にわたり関わっていることから、今後も市民の皆さまへの広報などにご協力頂ければ嬉しいです。
- ・補助金の見直し現在事業費の1/3⇒1/2にしてほしい。
- ・資金協力。
- ・心身に障がいがある人についての情報交換とその人に対する支援に関する連携。
- ・市内に住むアフガニスタン人数は約1,200名で、全外国籍者の30%になります。当団体が開催している「成人日本語教室」の2/3がアフガニスタン人、小中学校にボランティアを派遣しての日本語学習支援対象者の80%がアフガニスタン人であり、全外国籍の30%を大きく上回っています。非漢字圏であり、且つ36才をこえると英語が使えない人が多いことから、隣人であっても「アイサツ」どまりになることがほとんどです。そのため地域の日本人から見ると「どんな人達なのか？」という疑問から、漠然とした不安を感じている人もいます。当団体のボランティアは日々彼等彼女等と接していますので、そうした不安を感じている地域の方の所に出向いて、お話をすることが可能です。市の仲介でそうしたことができればと思います。
- ・今年の12月に民生委員・児童委員の一斉改選が行われます。3年ごとの改選であります。現状は高齢者を支える活動を民生委員自身が高齢化し「高齢者が高齢者を支える」現象が起きています。また、地区によっては民生委員候補者を推薦出来ず、民生委員空白地区が生じようとしています。年金受給年齢が65歳となり、また、夫婦共働き世代の増加や個人価値観の変化、高齢者の一人暮らし世帯の増加等、民生委員を取り巻く環境が変化しています。この様な環境から市役所として民生委員「なり手不足問題」を市行政として危機感を持ち、取り組んでいただきたい。佐倉市「こうほう佐倉」（A3版）7年4月15日号では表紙を含む1～2ページで今年の改選に向けてと思われませんが、民生委員の特集を掲載しております。四街道市の広報では中ページにわずか数行の改選にむけてのお知らせでした（民児協からもお願いをしているのですが）高齢者社会に向けて、民生委員制度に対する市の方向性を示していただきたい。

第3章 団体アンケート調査結果

- ・市社会福祉協議会を通じてあげている。
- ・民児協としては繋ぐ役割を果たすため地域包括支援センターを強化して、高齢者だけでなく子ども、障がい者のこと等ワンストップで相談できるような体制づくりを、行ってほしい。
- ・市みんなの課にご協力をいただいている。市民の方々に啓発活動をするために保護司会と3者の連携を深めていきたい。
- ・とても協力的でかつ市民を思いやってお仕事をされていると感じます。大変、ありがたく思っております。

問 18 貴団体の活動として、今後行政との協働でどのようなことに取り組めると思われますか。
ご自由にお書きください。(自由回答)

- ・ 取り組もうと思ってもらえるのであれば、何でも出来ると思っています。市役所にアートショップ（市役所の駅のような）があったり、市内のいたる所（駅の階段・電車・アーケイド・商店）にアートがあたりまえに展示されていたり、ふるさとまつりの実行委員として企画段階から参加したり、優先調達推進法があるから仕事を生み出さなければではなく、この仕事この団体に出来るか聞いてみようと思ってももらいたいです。障害福祉を専門としていますが、それに限らず協働で何かを行える機会があるなら嬉しいです。
- ・ イベントの周知、団体の紹介。
- ・ 外出困難な方の移動支援サービス
- ・ 様々な課題に対して、互いの強みを活かす関係の構築、市民の声や状況にあわせた臨機応変な対応、意見交換や振り返りで継続的な対話の機会。
- ・ 判断能力が不十分な方への法的な支援。
- ・ ①市社協が実施する「福祉まつり」など、積極的に行政が関わっていただく必要があります。また、地区社協が開催する事業を広く知っていただくため、年に1回以上の事業見学に参加していただく他、“市政だより”などに掲載していただき、担当課（社会福祉課）にも地域の福祉活動の実情を知っていただきたいと思います。②市民向けの情報発信ツールとして「よめーる」を活用していますが、社協等福祉関係者向けの情報を発信していただきたい。また、「よめーる」の登録者をさらに増やすことも必要です。
- ・ 生活保護世帯の方に入学時などに金銭的支援があることは存じていますが、すでに、くらしサポートセンターみらいと協力して生活困窮世帯に支援を行っているように、生活保護世帯にも支援できると思います。その分を部活動にかかる費用に使ってもらうなど、施策を広げる一役を担えるのではないかと考えます。
- ・ 市社会福祉協議会の事業とボランティアグループが連携しての福祉大会を活発化する。
- ・ 民生委員の成り手不足を解消するための色々な方策を検討して実行してもらいたい。
- ・ 社会を明るくする運動を市みんなで課とともに実施している。さらに連携を深めて運動を盛り上げたいと思う。
- ・ さまざまな事に取り組めると考えております。市民の為に、という想いは、私たちも同じですので、四街道市という地域、街を創っていきたいと考えております。街づくり(ふくしづくり)と一緒に協働できたら嬉しい限りです。

問 19 その他、地域福祉の推進についてご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください。
(自由回答)

- ・区・自治会の「脱落者」が、年々増えています。市の取組みの効果を考えますと今後、検討していただきたいと思います。(例)区、自治会の町内会別の全世帯数と入会世帯の把握など、実態調査がまず必要と思います。
- ・民生委員の活動のPR(テレビコマーシャル等)。日本全体の問題として国として取り組んでほしい。
- ・我孫子市の「送迎バスの空席を活用した高齢者等の外出支援」のしくみが交通移動支援の参考にならないかなと思っています。我孫子市では、市内の自動車教習所や病院、市の福祉施設への送迎のために運行しているバスの空席を活用して高齢者や障がいをもつひとが買い物先への移動のために利用できる外出支援事業をしていて、2,000名以上の利用者がいるそうです。「タクシーが捕まらない」問題の解決にも寄与しないでしょうか。
- ・旭中地区は広域で、高齢化が進んでいる。特に51号から南、吉岡、鷹の台地区は市役所へ行くにもバスも無く、とても不便です。福祉の中心を担う、包括支援センターや社協の入る地域館でも出来れば助かります。(例えば分校跡地などに)
- ・自治会に新規加入する方が少ない。また高齢の方が自治会を脱退する。自治会の加入世帯490が240と半減している。このままでは、自治会が消滅するのは時間の問題だと思います。良い解決策があればお話しして下さい。
- ・①市民の誰でもが興味・関心を持てるよう地域福祉活動を周知・徹底する必要があります。
- ・小・中・高校生、子どもたちに直接関わる場所の支援がまだまだ少ないと感じます。金銭的な支援だけでなく、取り組みが増えることを期待します。避難行動要支援者避難支援体制整備事業では、個人情報取り扱いに関する事が自治会で大きな足枷になっていると感じることがあります。地域の人がわかりやすい取り扱い方法を示してもらえると良いと感じます。
- ・市役所と社会福祉協議会との協力を深めてほしい。両者が同じことを行うのではなく同じことを両者が協力して行ってほしい。
- ・福祉関係予算拡充を希望します!ボランティア「グループ」への表彰制度創設。
- ・地域福祉のため行政として色々な窓口ができてはいるが、関係性がよくわからなくなっているのので、市民や団体にとってわかりやすい図解の説明書等をホームページで公開する等の対応をしてはどうか?
- ・市が抱える問題なども共有できる場や、機会がございましたら、良いかと存じます。これからも引き続き、ご指導のほど、よろしくお願い致します。

第4章 団体意見交換会まとめ

1. 地域福祉関連団体意見交換会（第1回分）

課題

(1) 高齢化と後継者不足

- ✓ ボランティア活動で高齢者の比率が増加し、辞退者が増えている。
- ✓ 新規参入者不足により、若い世代の担い手が確保できていない。
- ✓ 社会的にも人手不足の中、最低賃金以下の謝礼しか渡せないなか、社会貢献も目的とするような新たな担い手が見つからない。

(2) 8050問題

- ✓ 高齢化による親子の共倒れが増加し、家族全体への支援が必要。
- ✓ 地域住民の理解や本人の意向を尊重する難しさが課題。

(3) 外国籍住民への支援不足

- ✓ 日本語学習や生活情報伝達のためのリソースが不足。
- ✓ 子どもやボランティアの翻訳が買い物や手続きに必要なことが多く、通訳サービスが十分に整備されていない。

(4) 子どもの制服リユース問題

- ✓ 学校ごとのデザイン差異が障害となり、リユースの幅が狭まっている。

(5) 地域の希薄化したつながり

- ✓ 核家族化によって地域内の人間関係が弱まり、助け合いが減少。

(6) 高齢者支援の後見人不足

- ✓ 高齢者は増加しているが、後見人のメンバー数が逼迫している。社会貢献活動に割ける時間を確保しづらい現役世代が多い。

(7) 介護保険制度枠外のサービス不足

- ✓ 買い物代行や通院同行など制度外のサービスへの要望があるが、ヘルパーの不足により対応が困難。

解決策・要望

(1) 若い世代の担い手確保

- ✓ 新規参加者を増やすために、若い世代への積極的な働きかけを行う。

(2) 謝礼の改善

- ✓ 社会貢献活動の謝礼を商品券やポイントにし、謝礼金に付随する税金等の問題を解決する。

(3) 家族支援の強化

- ✓ 8050 問題に対応する包括的支援体制の構築。地域住民による見守りが大切であることから、地域への啓発活動を通じて理解を得る。

(4) 外国籍住民への支援充実

- ✓ 市役所の翻訳機器の導入や書類の多言語対応。

(5) 子どもの制服リユース促進

- ✓ 学校制服のデザイン統一を検討し、リユースの幅を広げる。

(6) 地域コミュニティの再構築

- ✓ 地域活動を活性化させ、世代間交流を促進する取り組みを実施。

(7) 後見人の増加と支援体型の充実

- ✓ 社会貢献活動への参加を促進する働きかけ。後見人養成に向けた広報活動や研修プログラムを整備。

“

(8) 制度枠外サービスの拡充

- ✓ 民間の事業者との連携を強化し、店舗へ要支援者を送り、付き添う等の対応ができるよう仕組みづくりを行う。

2. 地域福祉関連団体意見交換会（第2回分）

課題

- (1) アンケート調査対象の団体に偏りがある。
 - ✓ 支え合いチームなど重要な団体がアンケート対象から除外されている。
- (2) 地域活動の認知度不足。
 - ✓ 社会福祉協議会や地区社協の活動内容が一般市民に浸透していない。
 - ✓ 広報誌や広報手段が十分に活用されておらず、情報伝達が不十分。
- (3) 民生委員の担い手不足。
 - ✓ 高齢化や70歳以上での就労などの影響で、新たな担い手がいらない。
 - ✓ 民生委員不足は、全国的な問題。
- (4) PDCAサイクルの問題。
 - ✓ 第三次計画においてPDCAを回す想定がなく、進捗状況を十分に検証していない。
- (5) 市民後見人の活用の方向性が定まっていない。
 - ✓ 市として明確に位置づけられていないため、現状の課題が解決されていない。
- (6) 地域活動資金の情報不足。
 - ✓ 民間企業や助成金に関する情報がまとめられていない。
- (7) 買い物・病院への移動問題。
 - ✓ 高齢者による移送サービスが地元のボランティアに依存しているため支援が限られる。
- (8) 地域包括支援センターの対応範囲の狭さ。
 - ✓ 高齢者以外の対応が不足しており、子どもや障がい者への支援が限定的。
- (9) 自治会加入率の低下。
 - ✓ 会員数が減り続け、自治会を基軸とした活動が行いづらくなっている。
- (10) 市と社協の連携不足。
 - ✓ 市と社会福祉協議会の協力が希薄であり、より効果的な取り組みに結びついていない。

要望

- (1) 支え合いチームから意見収集の要望。
 - ✓ 共助で大きな役割を担っている支え合いチームからの意見収集。
- (2) 社協や民生委員の活動PRを強化。
 - ✓ テレビコマーシャルや独自イベントへの広報を推進。
 - ✓ 地域活動を一覧化し、市民への認識を深める工夫を行う。
- (3) 民生委員の担い手強化策。
 - ✓ 市による積極的な担い手候補者への働きかけ。
 - ✓ 市政だよりで特集を組み、担い手募集を促進する。
- (4) 第四次計画にPDCAサイクルの導入を徹底。
 - ✓ 過去の計画の進捗状況を検証し、課題の改善策を立案する。
- (5) 未対応計画の具体化。
 - ✓ 再犯防止や成年後見制度促進について計画を策定し、市としての役割を明示する。
- (6) 資金関連情報の集約と提供。
 - ✓ 民間助成金情報を集約し、申請サポート窓口を設置。
 - ✓ 地域ごとの支援可能な企業情報の共有と協定締結企業へのはたらきかけを実施。
- (7) 地域包括支援センターの体制強化。
 - ✓ 子どもや障がい者を含む包括的な支援体制を構築。
- (8) 自治会加入促進策強化。
 - ✓ 市主体の非会員への自治会加入促進策強化。
 - ✓ 定期的な自治会長等の会議開催。
- (9) 市と社協の連携深化。
 - ✓ 定期的な意見交換会や情報共有会を実施し、課題ごとに連携を強化する。

3. 地域福祉関連団体意見交換会（第3回分）

課題

- (1) 活動場所・環境の制約
 - ✓ 活動場所の制約が多く使用ができないことがある。
- (2) 担い手の不足
 - ✓ 活動の担い手や後継者不足、高齢化による負担増。
- (3) 活動の認知度・広報不足
 - ✓ 活動内容や団体の存在をPRできておらず、認知度が低い。
- (4) 子供・若い世代の制約
 - ✓ 子供の帰宅時間の関係で親世代の会員の活動時間が制限されている。
 - ✓ 学生や若い世代の社会参加を促進できていない。
- (5) 社会的孤立・弱者支援
 - ✓ 高齢者や片親家庭、ヤングケアラーなど、社会的弱者への支援が課題。
 - ✓ 外出に不安を感じる高齢者への交通支援が不足。

解決策・要望

(1) 活動場所・環境の充実

- ✓ 公共施設の営利目的使用や個人使用、食事の不可等について、利用条件の緩和。
- ✓ 継続的な団体の活動場所の提供。

(2) 担い手の育成・参加促進

- ✓ SNSや学校での活動紹介を進め、若い世代や学生の参加を促進。
- ✓ 定年後の社会貢献活動を広報し、働き世代や退職後の人を取り込む。
- ✓ 短時間参加型や負担の少ないボランティア活動を設計し、働き世代・家族層の参加を促す。

(3) 広報活動の強化

- ✓ 団体の活動実績や存在を可視化し、広報を充実させる。
- ✓ 活動内容を整理し、分かりやすい形で発信する。

(4) 子供・弱者への支援強化

- ✓ 帰宅時間や活動制約を自治体と調整し、子供たちの活動の幅を広げる。
- ✓ 高齢者や社会的弱者への支援を地域全体で進め、共助の仕組みを拡充する。
- ✓ 買い物代行や交通支援など、具体的な支援策を提案・実施。

(5) コロナ禍の対応

- ✓ 地域交流イベントやコミュニティ活動で、コロナ禍で減少した団体数を回復する。
- ✓ 少人数・オンラインで行えるボランティア活動を模索する。

第5章 資料編

①市民アンケート調査票

第4次四街道市地域福祉計画策定のための 市民アンケート調査へのご協力をお願い

日ごろより福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

四街道市では、令和3年3月に策定した「第3次四街道市地域福祉計画」にもとづき、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、関係団体などと連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを進めております。

このたび、次期計画策定にあたり、ご近所付き合いや地域活動への参加状況などの実態とともに、地域福祉などに対する住民の皆さんの考え方やご意見を広くお聞きするためのアンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、四街道市にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000人を選ばせていただきました。いただいた回答の結果は、統計的に処理し、この調査の目的以外に使用することはありません。つきましては、趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年6月

四街道市長 鈴木 陽介

ご記入にあたって

- 1 質問には、あて名のご本人がご回答ください。ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の考えをお聞きの上、代理でご記入ください。
- 2 回答は、**郵送**または**インターネット**で行うことができます。どちらかの方法をお選びください。**インターネットによる回答をされた場合、この調査票の記入、返送は不要**です。
- 3 郵送で回答された場合、同封の返信用封筒を使って返送してください。切手を貼る必要はありません。
- 4 回答は**2025年6月25日(水)**までに、投函または送信してください。

調査の内容、回答の方法などについて、わからないことがございましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

◆お問い合わせ先：

【調査の趣旨・内容について／市調査担当部署】

- ・四街道市役所 福祉サービス部 社会福祉課
- ・電話：043-421-6121（平日 8：30～17：15）

【調査票の記入・回答方法・締め切りなどについて／調査実施機関】

- ・株式会社サーベイリサーチセンター 世論・計画部
- ・電話：0120-934-901（平日 9：00～17：30） FAX：03-6826-4777
- ・メール：yotsukaido-survey-ml2@surece.co.jp

インターネットによる
回答方法は裏面を
お読みください➡



回答用二次元コード

インターネットによる回答方法

インターネットによる回答は、下記のように行ってください。

紙の調査票でご回答いただいた方は、インターネットでご回答いただく必要はございません。「紙の調査票によるご回答」と「インターネットによるご回答」の両方をしていただいた場合は、前者が優先されます。

1 回答用ページへアクセス

URL : <https://logoform.jp/f/d3yVI>

↑小文字のI(エル)



★タブレット、スマートフォンからは、右の二次元コードを読み取ってアクセスできます。

2 回答フォームにログイン

回答用ページでインターネット回答用「ID」を入力します。

あなたのインターネットによる回答用「ID」

ID :

※回答の重複を防ぐためにIDを付番しています。個人を特定することはありません。

3 インターネットによる回答を開始

質問が表示されます。表示された設問をお読みになって、あてはまる選択肢を選んでください。自由に記述する設問等は、枠内に文字を入力してください。

ご回答の際のご注意

- インターネットによる回答期限は、**6月25日(水) 23時59分**です。
- インターネットによる回答は、画面下部にある「入力内容を一時保存する」ボタンを押すことで、途中保存が可能です。中断のため画面を閉じた場合は、回答用ページへ再度アクセスすることで再開可能です。

1. あなたご自身についておたずねします。

問1 あなたの性別を選んでください。(1つだけ○)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

問2 あなたの年齢を選んでください。(1つだけ○)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 10 歳代 | 4. 40 歳代 | 6. 60 歳代 |
| 2. 20 歳代 | 5. 50 歳代 | 7. 70 歳代以上 |
| 3. 30 歳代 | | |

問3 あなたは四街道市内に何年住んでいますか。(1つだけ○)

- | | | |
|-------------|---------------|----------|
| 1. 生まれた時から | 4. 5年以上10年未満 | 7. 40年以上 |
| 2. 1年未満 | 5. 10年以上20年未満 | |
| 3. 1年以上5年未満 | 6. 20年以上40年未満 | |

問4 お住まいの地区はどこですか。該当する番号に、○をつけてください。(1つだけ○)

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 千代田中学校地区 | 3. 西中学校地区 | 5. 旭中学校地区 |
| 2. 北中学校地区 | 4. 四街道中学校地区 | |

②北中学校地区

内黒田の一部(栗山新町、内黒田鉄道団地) / 菅橋/栗山の一部(栗山嶺、馬洗、栗山半台、電電栗山、くりやま台、県営栗山団地) / さちが丘1・2丁目/鹿渡の一部(鹿渡一区、すみれ台) / 大日の一部(畔田台、富士見ヶ丘、桜ヶ丘、菅橋台、今宿) / 中央 / つくし座1~3丁目

③西中学校地区

さつきヶ丘/下志津新田/大日の一部(大作岡、大日中志津、大日ブルーミング自治会、緑ヶ丘、桜ヶ丘中央) / 鹿放ヶ丘/四街道 / 四街道1・3丁目

④四街道中学校地区

美しが丘1~3丁目 / 鹿渡の一部(向南台、第2グリーンタウン自治会、鹿渡二区) / みのり町/めいわ1~5丁目 / 四街道2丁目/和良比

①千代田中学校地区

池花1・2丁目 / 内黒田の一部(内黒田) / 亀崎/栗山の一部 / 千代田1~5丁目/長岡 / もねの里1~6丁目/物井

⑤旭中学校地区

旭ヶ丘1~5丁目/上野 / 小名木/たかおの杜 / 瀧の台1~4丁目/中台 / 中野/南波佐間/成山 / みそら1~4丁目/山梨 / 吉岡/和田

() 内は該当自治会名

問5 あなたのお住まいの形態を次の中から選んでください。(1つだけ○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 3. 賃貸住宅、公営住宅、社宅など |
| 2. 持ち家(マンション、テラスハウスなど) | 4. その他() |

問6 あなたの主な職業は何ですか。(1つだけ○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 農業・商工業・専門職などの自営業 | 6. 専業主婦・夫(年金生活の方は8を選択) |
| 2. 会社員(正規社員) | 7. 学生 |
| 3. 会社や団体などの法人役員 | 8. 年金生活者 |
| 4. 公務員・団体職員 | 9. 無職 |
| 5. パート・アルバイト・派遣などの非正規社員 | 10. その他() |

問7 あなたの家族(世帯)構成はどのようになっていますか。(1つだけ○)

- | | | |
|------------|----------------|--------|
| 1. 単身世帯 | 3. 親と子の2世代世帯 | 5. その他 |
| 2. 夫婦のみの世帯 | 4. 親と子と孫の3世代世帯 | () |

問8 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|--------------|-----------|
| 1. 小学校入学前の子ども | 4. 65歳以上の方 | 7. いずれもない |
| 2. 小学生の子ども | 5. 介護を必要とする方 | |
| 3. 中学生・高校生 | 6. 障がいのある方 | |

2. 「地域との関わり」についておたずねします。

問9 あなた、もしくはあなたの世帯は、自治会に加入していますか。(1つだけ○)

- | | | |
|-----------|------------|---------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない | 3. 居住地に自治会がない |
|-----------|------------|---------------|

問10 あなたは、現在、ご近所とどのようなお付き合いをされていますか。(1つだけ○)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 困った時に、助け合える関係 | 4. 会えばあいさつをする程度 |
| 2. 自治会などの行事の時だけ付き合う程度 | 5. ほとんど付き合いはない |
| 3. たまに立ち話をする程度 | 6. その他() |

問11 現在お住まいの地域との関わりについて、あなたは満足していますか。(1つだけ○)

- | | | |
|---------------|------------|---------------|
| 1. 満足している | 3. どちらでもない | 4. あまり満足していない |
| 2. まあまあ満足している | 5. 満足していない | |

問12 地域での問題とあなたの関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つだけ○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 地域での問題にはできるだけ主体的に関わっていききたい |
| 2. 地域での問題に熱心に取り組んでいる方のお手伝いはしたい |
| 3. 地域での問題に関わっていききたいが、実際に関わることは難しい |
| 4. 地域での問題には関わりたくない |

問 13 「地域福祉」とは、支援を必要としている人をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民が主役で進める取り組みのことです。あなたは「地域福祉」に関心をおもちですか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. まったく関心がない |

3. 「地域での活動」についておたずねします。

問 14-1 あなたは現在、地域で活動していますか。(1つだけ○)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 活動している
→ 問 14-2、問 14-3へ | 2. 活動していない
→ 問 14-4へ |
|-------------------------------|-------------------------|

問 14-1 で「1. 活動している」を選んだ人におたずねします。

問 14-2 あなたは地域で、どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 高齢者支援に関する活動 | 7. 防犯・交通安全に関する活動 |
| 2. 障がい者支援に関する活動 | 8. 消防・防災・災害支援に関する活動 |
| 3. 子育て家庭の支援に関する活動 | 9. 自然環境保護に関する活動 |
| 4. 健康づくりに関する活動 | 10. ごみ・リサイクルに関する活動 |
| 5. 地域の清掃・美化に関する活動 | 11. 文化・芸術、スポーツに関する活動 |
| 6. 街の活性化などに関する活動 | 12. その他 () |

問 14-1 で「1. 活動している」を選んだ人におたずねします。

問 14-3 活動に参加している理由として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つだけ○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 活動自体が楽しく興味のある内容だから |
| 2. 活動に参加すると自分や家族のためになるから |
| 3. 活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから |
| 4. 身近な地域のために役立ちたいから |
| 5. その他 () |
| 6. わからない |

問 14-1 で「2. 活動していない」を選んだ人におたずねします。

問 14-4 あなたが現在活動に参加していない主な理由として、あてはまるものはどれですか。(主なもの2つまでに○)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 楽しく興味のある活動内容がないから | 5. 体力的に自信がないから |
| 2. 身近な地域のことには関心がないから | 6. 人付き合いが面倒だから |
| 3. 仕事や学業などで忙しく時間がないから | 7. その他 () |
| 4. どのような活動があるのか知らないから | 8. わからない |

問 15 今後、地域での活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。

(主なもの3つまでに○)

- | |
|---|
| 1. SNS ^{※1} (X、Facebook、Instagram、LINE、TikTok など) での周知啓発 |
| 2. 四街道市のホームページや団体独自のホームページでの周知啓発 |
| 3. 広報誌、チラシなどの紙媒体での周知啓発 |
| 4. 駅や市役所などの人が多い場所でのポスター掲示やチラシの配架 |
| 5. 既存の地域活動を一覧で見ることができるようにする |
| 6. 団体の紹介から見学・体験申込まで一括でできる窓口をつくる |
| 7. 地域で活動するさまざまな団体を直接知ることができるイベントを行う |
| 8. 団体間で連携できるよう交流する場を設ける |
| 9. その他 () |
| 10. わからない |

※1 SNS：Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略称で、登録者同士が交流できるインターネットの会員制サービス。代表的なサービスは、X、Facebook、Instagram、LINE、TikTokなどが挙げられる。

問 16 あなたは、今後、地域での活動やボランティア活動に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(1つだけ○)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 積極的に取り組んでいきたい | 3. あまり取り組みたくない |
| 2. できるだけ取り組んでいきたい | 4. 取り組むことができない/取り組みたくない |

4. 「福祉の考え方」についておたずねします。

問 17-1 四街道市は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(1つだけ○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 暮らしやすいと思う | 3. あまり暮らしやすいとは思わない |
| 2. まあまあ暮らしやすいと思う | 4. 暮らしやすいとは思わない |
| | 5. わからない |

問 17-2 四街道市において暮らしにくいと感じる点がありますか。(主なもの3つまでに○)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 地域住民の理解や協力が少ない | 8. 身近に働く場所や就労相談ができる窓口が少ない |
| 2. 交通機関が不便・利用しにくい | 9. 防犯・防災対策が十分ではない |
| 3. 利用できる医療機関が少ない | 10. リハビリや療養のための施設が少ない |
| 4. 買い物などが不便 | 11. 親子で遊べる場所が少ない |
| 5. 生活の悩みを相談できる窓口が少ない | 12. 日常生活を支える福祉サービスが少ない |
| 6. 教育・進学相談ができる窓口が少ない | 13. その他 () |
| 7. 公民館など利用しやすい公共施設が少ない | 14. 特にない |

問18 現在、あなたご自身やご家族、地域の方で次のようなことでお困りの方はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 不安や心細い思いをしている
2. 必要な情報が届かない
3. 支援を必要とする高齢者、障がい者など、介助者がおらず一人暮らしをしている
4. 買い物などの外出が一人ではできない
5. 草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている
6. 食事づくりや洗濯などの家事をすることができない
7. 日常生活での金銭管理がうまくできない
8. 地域社会から孤立してひきこもりになっている
9. 子育て・育児で不安や悩みを抱えている
10. 仕事や外出、体調不良の時に、代わりをしてくれる人がいない
11. 虐待・DV
12. 仕事がない、経済的に生活が厳しい
13. 身近にお世話や気遣いが必要な方がおり、身体的、精神的、経済的な負担が大きい
14. その他 ()
15. 特にない (困っている人を知らない)

5. 「地域における支え合い」についておたずねします。

問19 民生委員・児童委員は社会福祉の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指して、さまざまな活動を行っています。あなたはお住まいの地区の担当民生委員・児童委員を知っていますか。(1つだけ○)

1. 顔と名前を知っている
2. 名前を知っている
3. 知らない

問20 民生委員・児童委員が行う活動として、知っているものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 日常生活の悩みや心配事の相談
2. 福祉に関する情報の提供
3. 高齢者など支援が必要な人への訪問
4. 子どもに関する相談
5. 関係行政機関の依頼による事実確認
6. いずれも知らない

問21 あなたは社会福祉協議会を知っていますか。(1つだけ○)

1. 名前も活動の内容もよく知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
3. 名前も活動の内容もよく知らない

問 24 罪を犯した人に対して社会の中での立ち直りを支援し、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ活動を行っている人々がいます。あなたは活動内容などについて知っていますか。

(ア～エの項目ごとに1つだけ○)

	名前も活動内容も知っている	名前は知っている、聞いたことがある	名前も活動内容も知らない
ア 保護司※5	1	2	3
イ 更生保護女性会※6	1	2	3
ウ 更生保護施設など※7	1	2	3
エ 協力雇用主※8	1	2	3

※5 保護司：生活上の助言や就労の援助、釈放後の住居や就業先などの調整をするなど、立ち直りを支える民間ボランティア。

※6 更生保護女性会：犯罪予防活動や青少年の健全育成活動、子育て支援活動、更生保護施設への支援などを行うボランティア団体。

※7 更生保護施設など：宿泊場所の提供や、就職指導、生活指導を行うなど、社会復帰に向けた支援などを行う民間施設。

※8 協力雇用主：社会復帰を支援するため、刑務所出所者などを雇用する民間の事業主。

問 25 高齢や障がい、疾病などにより援助が必要な親族、友人、その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する方を「ケアラー」といいます。次の言葉を知っていますか。(ア～エの項目ごとに1つだけ○)

	言葉も内容も知っている	言葉は知っている、聞いたことがある	言葉も内容も知らない
ア ケアラー	1	2	3
イ ヤングケアラー※9	1	2	3
ウ 若者ケアラー※10	1	2	3
エ ビジネスケアラー※11	1	2	3

※9 ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているケアラーのうち、おおむね18歳未満の方（高校生を含む）。

※10 若者ケアラー：ケアラーのうち、18歳からおおむね40歳未満の方。

※11 ビジネスケアラー：仕事をしながら家族の介護など援助を提供する方。

問 26 あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚	8. 社会福祉協議会
2. 近所の人、知人・友人など	9. 子育て支援センター
3. SNSやゲームなどオンライン上のコミュニティ	10. 地域包括支援センター
4. 自治会（町会）役員	11. 障がい者相談支援事業所
5. 民生委員・児童委員	12. 四街道市役所
6. NPOなどの民間団体	13. 相談したいが、相談先が分からない
7. 医療機関の医師や警察などの専門職	14. その他（ ）
	15. 相談するつもりはない

問 27 あなたやご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり、不満に思ったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 福祉サービスに関する情報が入手しづらかった
2. どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった
3. 相談窓口が自宅から遠く、不便だった(移動が面倒だった)
4. 相談窓口の開設時間が限られており、利用しづらかった
5. 利用を申し込んだが、窓口でたらいまわしにされた
6. 相談や利用手続きが複数の窓口にわたり、面倒だった
7. 利用手続きが煩雑だった
8. 窓口の対応が悪かった
9. どのサービスが良いのかわからず、選びにくかった
10. 利用したいサービスが利用できなかった
11. サービス内容に満足しなかった
12. その他 ()
13. 不都合や不満を感じたことはない
14. 現在のところ、福祉サービスを必要としていない

7. 「防災」についておたずねします。

問 28 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(1つだけ○)

1. 参加している
2. 以前参加したことはあるが、現在は参加していない
3. 参加したことはない

問 29 災害時についての不安や心配事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 避難場所・避難所がわからないこと
2. 避難場所・避難所が遠いこと
3. ご自身または同居家族が災害時に一人で避難することが困難なこと
4. 近所に一人で避難することが困難な人がいること
5. 乳幼児がいたり、障がいがあるなどのため、避難所で過ごすことが困難なこと
6. 災害時の情報がわかりづらいこと
7. 食料や日用品の備蓄が不十分なこと
8. 家具や家電の転倒対策が不十分なこと
9. 老朽化などお住い(家屋)のこと
10. その他 ()
11. 特にない

8. 「福祉全般」についておたずねします。

問 30 地域での支え合いの現状についてどう思いますか。(ア～エの項目ごとに1つだけ○)

	そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
ア 住民同士のつながり・支え合いがある	1	2	3	4	5
イ 地域で暮らしやすくなるよう、いろいろ取り組んでいる人が多い	1	2	3	4	5
ウ 困ったときには、解決できるよう相談できる／助けてもらえる安心感がある	1	2	3	4	5
エ 暮らしている地域は安心・安全であると感じる	1	2	3	4	5

問 31 福祉分野において、今後どのような取り組みに力を入れるべきと思いますか。
(主なものを5つまでに○)

1. 地域資源の活用（人的資源・公共施設・民間施設の活用）
2. ボランティア意識の養成（ボランティア講座・学校教育・生涯学習の充実）
3. 社会福祉協議会やボランティア団体、NPOなどへの支援の充実
4. 地域交流事業の促進（地域情報の発信、世代間交流の活発化、地域交流イベントの支援）
5. 生きがいの創造（生涯学習の推進、サークル活動の支援など）
6. 健康の保持・増進を図る健康づくり
7. 道路や交通環境・建物などのバリアフリー化
8. 一人暮らしの高齢者や障がいのある人に対する災害時の支援体制の整備
9. 高齢者が安心して暮らせる在宅福祉
10. 障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉
11. 子育てが安心してできる子育て支援
12. 急病でも対応できるなど医療体制の整備
13. 生活困窮者への経済的支援
14. 国民健康保険・介護保険など保険事業の安定的運営
15. 人権の擁護（プライバシーの確保、人権問題の早期発見体制の確立）
16. 福祉に関する広報活動

②団体アンケート調査票

第4次四街道市地域福祉計画策定のための 団体アンケート調査へのご協力をお願い

日ごろより福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

四街道市では、令和3年3月に策定した「第3次四街道市地域福祉計画」にもとづき、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、関係団体などと連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを進めております。

このたび、次期計画策定にあたり、地域福祉の中核を担う団体を対象に、各団体が実施している活動の状況や今後の方向性などをお聞きし、計画策定のための貴重な資料とさせていただくために本調査を実施することとなりました。後日、調査票をもとに直接お会いして、より詳細なご意見などをお聞きする場合がございます。詳細につきましては、別途、ご連絡させていただきます。つきましては、お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年6月

四街道市長 鈴木 陽介

ご記入にあたって

- 1 質問には、あて名のご本人、または団体に所属する方がご回答ください。
- 2 回答は、郵送またはインターネットで行うことができます。どちらかの方法をお選びください。
インターネットによる回答をされた場合、この調査票の記入、返送は不要です。
- 3 郵送で回答された場合、同封の返信用封筒を使って返送してください。
- 4 回答は2025年6月25日(水)までに、投函または送信してください。

調査の内容、回答の方法などについて、わからないことがございましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

◆お問い合わせ先：

- ・四街道市役所 福祉サービス部 社会福祉課
- ・電話：043-421-6121（平日 8：30～17：15）

インターネットによる
回答方法は裏面を
お読みください➡



回答用二次元コード

インターネットによる回答方法

インターネットによる回答は、下記のように行ってください。

紙の調査票でご回答いただいた方は、インターネットでご回答いただく必要はございません。「紙の調査票によるご回答」と「インターネットによるご回答」の両方をしていただいた場合は、前者が優先されます。

1 回答用ページへアクセス

URL : <https://logoform.jp/f/EQDEP>

↑小文字の「エル」



★タブレット、スマートフォンからは、右の二次元コードを読み取ってアクセスできます。



2 インターネットによる回答を開始

質問が表示されます。表示された設問をお読みになって、あてはまる選択肢を選んでください。自由に記述する設問等は、枠内に文字を入力してください。

ご回答の際のご注意

- インターネットによる回答期限は、6月25日(水) 23時59分です。
- インターネットによる回答は、画面下部にある「入力内容を一時保存する」ボタンを押すことで、途中保存が可能です。中断のため画面を閉じた場合は、回答用ページへ再度アクセスすることで再開可能です。

問4 貴団体が活動を行う上で他のボランティア団体や公共団体などとの交流や協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 区・自治会 | 9. NPO団体 |
| 2. 民生委員・児童委員 | 10. 商店会・商店街 |
| 3. 地区公民館 | 11. 保育園(所)・幼稚園 |
| 4. シニアクラブ | 12. 小・中学校 |
| 5. 高齢者福祉施設 | 13. 保護者会・PTA |
| 6. 障がい者福祉施設 | 14. その他() |
| 7. 社会福祉協議会 | 15. 他の団体などと特に関係はない |
| 8. ボランティア団体 | |

問5 現在、貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 活動のマナー化 |
| 2. 人々のニーズに合った活動ができていない |
| 3. 支援を必要とする人の情報が得にくい |
| 4. 市民に情報発信する場や機会が乏しい |
| 5. メンバーが不足しているが、メンバーの拡大が難しい |
| 6. メンバーの高齢化 |
| 7. メンバーの性別に偏りがある |
| 8. さまざまな人が興味を持ち、参加しやすい活動ができていない |
| 9. 地域コミュニティの希薄化 |
| 10. メンバーはいるが、参加率が低く、活動に支障がある |
| 11. リーダー(後継者)が育たない |
| 12. 他の団体と交流する機会が乏しい |
| 13. 活動の場所(拠点)の確保が難しい |
| 14. 活動資金が足りない |
| 15. 活動に必要な情報や専門知識が不足している(適当な相談者がいない) |
| 16. その他() |
| 17. 特に困ったことはない |

問6 貴団体の活動情報は、どのようなものを通じて、発信されていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 四街道市のホームページ | |
| 2. 団体独自のホームページ | |
| 3. 四街道市の広報紙（市政だより四街道） | |
| 4. 団体独自の広報誌 | |
| 5. チラシ、ポスター | |
| 6. 四街道市や社会福祉協議会が主催するイベント | |
| 7. メンバーなどを通じた口コミ | |
| 8. SNS ^{※1} （X、Facebook、Instagram、LINE、TikTok など）での周知啓発 | |
| 9. その他（ | ） |

※1 SNS：Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略称で、登録者同士が交流できるインターネットの会員制サービス。代表的なサービスは、X、Facebook、Instagram、LINE、TikTokなどが挙げられる。

問7 貴団体は、新規メンバーの募集は行っていますか。（1つだけ○）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 積極的に行っている | 3. まったく行っていない |
| 2. あまり行っていない | 4. わからない |

問8 貴団体の活動に、市民の方が様子見として参加することはありますか。（1つだけ○）

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 頻繁に参加がある | 3. 参加はない |
| 2. たまに参加がある | 4. わからない |

3. 災害時などの地域連携について、おたずねします。

問9 「避難行動要支援者避難支援体制整備事業」について、知っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 平常時から地域住民同士で災害時の備えを行っていく事業であること
2. 避難を支援するために必要な個人情報を市から避難支援等関係者^{※2}に提供していること
3. 災害時に自らを守るための適切な行動が困難で、何らかの助けが必要と思われる方が登録対象であること
4. 支援を受けるには、市が作成する避難行動要支援者名簿に登録する必要があること
5. 避難行動要支援者名簿の登録者に対して、市と避難支援等関係者が協力して個別避難計画^{※3}を作成すること
6. 聞いたことはあるが内容は知らない
7. 聞いたことがない／全然知らない

※2 避難支援等関係者：消防、警察、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、自主防災組織、その他の避難支援などの実施に携わる人。

※3 個別避難計画：実際に避難をする際に、支援が必要な方に対して、誰が、どこに、どのように支援するかをあらかじめ決める計画。

問10 貴団体では、災害時の支援や孤独死・孤立死の防止などのために、区・自治会などを単位として支援が必要な方の個人情報を共有することについて、どのように思いますか。
(1つだけ○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 積極的に共有すべき | 3. あまり共有したくない |
| 2. 必要であれば共有してもよい | 4. 一切共有すべきではない |
| | 5. わからない |

4. 貴団体が活動する地域について、おたずねします。

問11 地域の人が日常生活で困っていることには、どのようなことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 不安や心細い思いをしている人がいる
2. 障がいなどのために必要な情報が届かず困っている人がいる
3. 支援を必要とする高齢者、障がい者など、介助者がおらず一人暮らしをしている人がいる
4. 買い物などの外出が一人では大変な人がいる
5. 草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている人がいる
6. 食事づくりや洗濯などの家事をするのが大変な人がいる
7. 日常生活での金銭管理がうまくできない人がいる
8. 地域社会から孤立してひきこもりになっている人がいる
9. 子育て・育児で不安や悩みを抱えている人がいる
10. 仕事や外出、体調不良の時に、その方の代わりにしてくれる人がおらず困っている人がいる
11. 虐待を受けている子どもや高齢者、障がい者がいる
12. 仕事がなく生活に困っている人がいる
13. 身近にお世話や気遣いが必要な方がおり、身体的、精神的、経済的な負担が大きく困っている人がいる
14. その他 ()
15. 特にない (困っている人を知らない)

問12 日常生活で困っている人がいた場合、貴団体ではどのようなことをしていますか。また、貴団体の活動として対応できるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 困っている人を直接助けること
2. 困っている人に公的サービスなどの情報を提供すること
3. 困っている人の情報を公的機関などへ提供し、つなげること
4. 困っている人を手助けできる市民や団体につなげること
5. 困っている人を手助けできるような地域の雰囲気づくり
6. 地域の支え合い活動をするための場所をつくること
7. 地域の支え合い活動に関心を持つ人を組織化すること
8. その他 ()
9. 特にない

問 13 日常生活で困っている人がいた場合、貴団体ではどのようなことができるようになればより良いと思いますか。(主なものを3つまでに○)

1. 困っている人を直接助けること
2. 困っている人に公的サービスなどの情報を提供すること
3. 困っている人の情報を公的機関などへ提供し、つなげること
4. 困っている人を手助けできる市民や団体につなげること
5. 困っている人を手助けできるような地域の雰囲気づくり
6. 地域の支え合い活動をするための場所をつくること
7. 地域の支え合い活動に関心を持つ人を組織化すること
8. その他 ()
9. 特にない

問 14 地域での活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。(主なものを3つまでに○)

1. SNS (X、Facebook、Instagram、LINE、TikTok など) での周知啓発
2. 四街道市のホームページや団体独自のホームページでの周知啓発
3. 広報誌、チラシなどの紙媒体での周知啓発
4. 駅や市役所などの人が多い場所でのポスター掲示やチラシの配架
5. 既存の地域活動を一覧で見ることができるようにする
6. 団体の紹介から見学・体験申込まで一括でできる窓口をつくる
7. 地域で活動するさまざまな団体を直接知ることができるイベントを行う
8. 団体間で連携できるよう交流する場を設ける
9. その他 ()
10. わからない

問 15 貴団体が活動するうえで、他の団体に協力してほしいことはありますか。

ご自由にお書きください。

<hr/>

問 18 貴団体の活動として、今後行政との協働でどのようなことに取り組めると思われますか。
ご自由にお書きください。

問 19 その他、地域福祉の推進についてご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。

お忙しいところ調査にご協力いただきありがとうございました。
誠に恐縮ですが、この調査票は**2025年6月25日(水)までに**
返信用封筒に入れ返送していただきますようお願いいたします。

**第4次四街道市地域福祉計画策定に係る
市民アンケート調査報告書**

令和8年2月

発行：四街道市

編集：福祉サービス部社会福祉課

〒284-8555 千葉県四街道市鹿渡無番地

電話 043-421-6122
